

川口市人々のつながりに関するアンケート調査 報告書（案）

令和8年3月

川口市

目次

I 調査の概要

1 調査の目的

今後、本市の重層的支援体制整備事業における個々の状況に応じた必要なサービスや相談支援機関につなげるなどの事後的な支援について、より効果的な施策や事業を推進していくにあたり、生きづらさを抱える様々な方に対する適切な支援のあり方を検討するための基礎データを得ることを目的に実施しました。

2 調査対象

令和7年9月1日時点で川口市在住の15歳以上64歳以下の市民を無作為抽出

3 調査期間

令和7年10月8日～10月27日

4 調査方法

郵送による配布、回収（インターネットによる回答を併用）

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
4,000件	1,597件	39.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果の概要（つながりの状況）

1 孤独の状況

孤独という主観的な感情をよりの確に把握するため、本調査では、以下の設問それぞれへの回答について、「決してない」を1点、「ほとんどない」を2点、「時々ある」を3点、「常にある」を4点としてスコア化し、その合計スコアについて、便宜的に「10～12点」（常にある）、「7～9点」（時々ある）、「4～6点」（ほとんどない）、「3点」（決してない）の4区分に整理しました。

問12 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。（○は1つ）

1. 決してない 2. ほとんどない 3. 時々ある 4. 常にある

問13 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。（○は1つ）

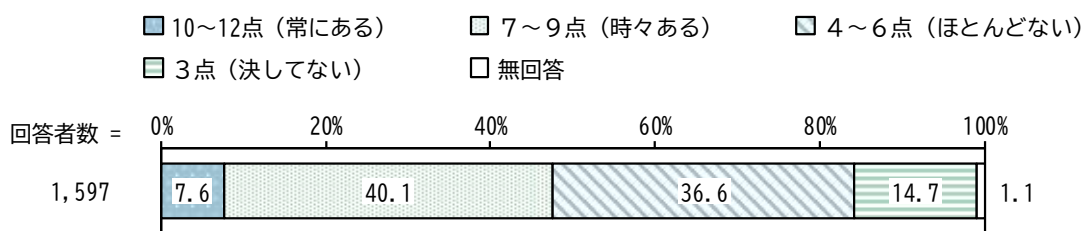
1. 決してない 2. ほとんどない 3. 時々ある 4. 常にある

問14 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。（○は1つ）

1. 決してない 2. ほとんどない 3. 時々ある 4. 常にある

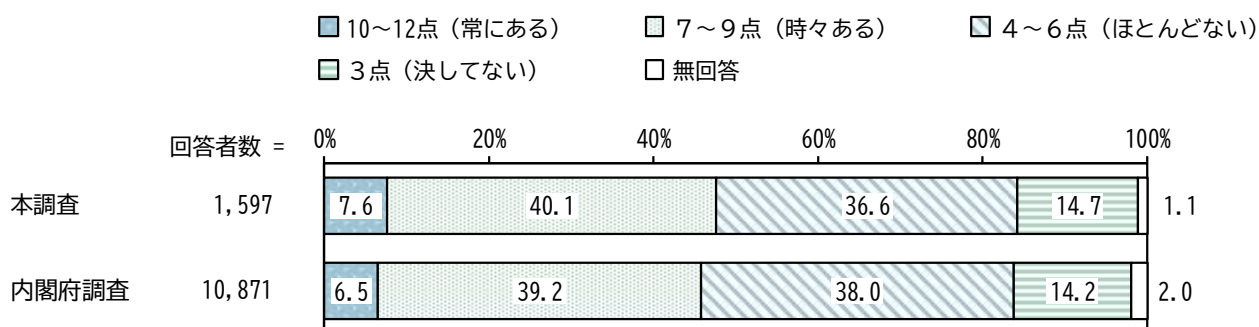
【全体】

「7～9点（時々ある）」の割合が40.1%と最も高く、次いで「4～6点（ほとんどない）」の割合が36.6%、「3点（決してない）」の割合が14.7%となっています。



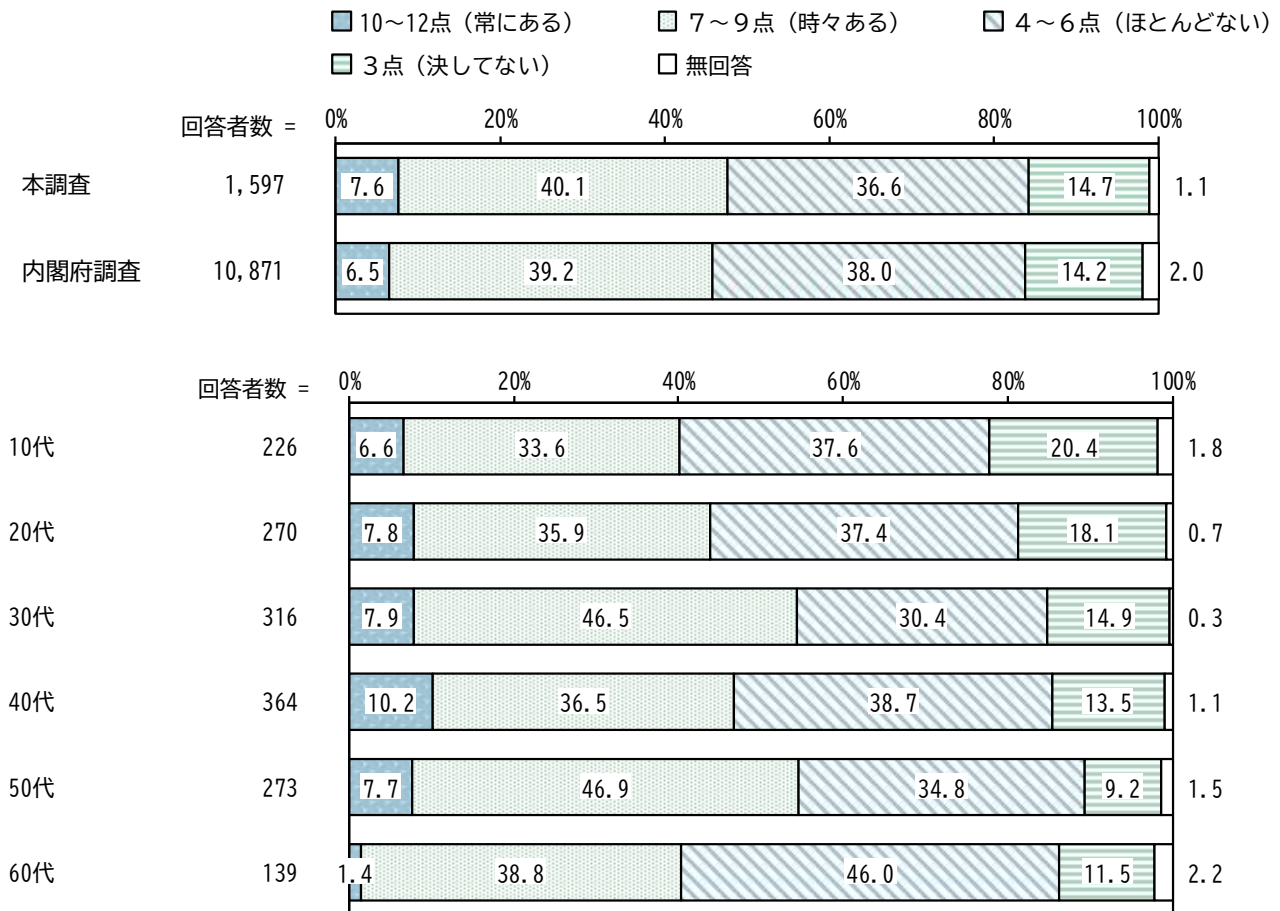
【令和6年度内閣府調査との比較】

令和6年度内閣府調査と比較すると、大きな差はないものの「10～12点（常にある）」の割合が1.1ポイント高くなっています。



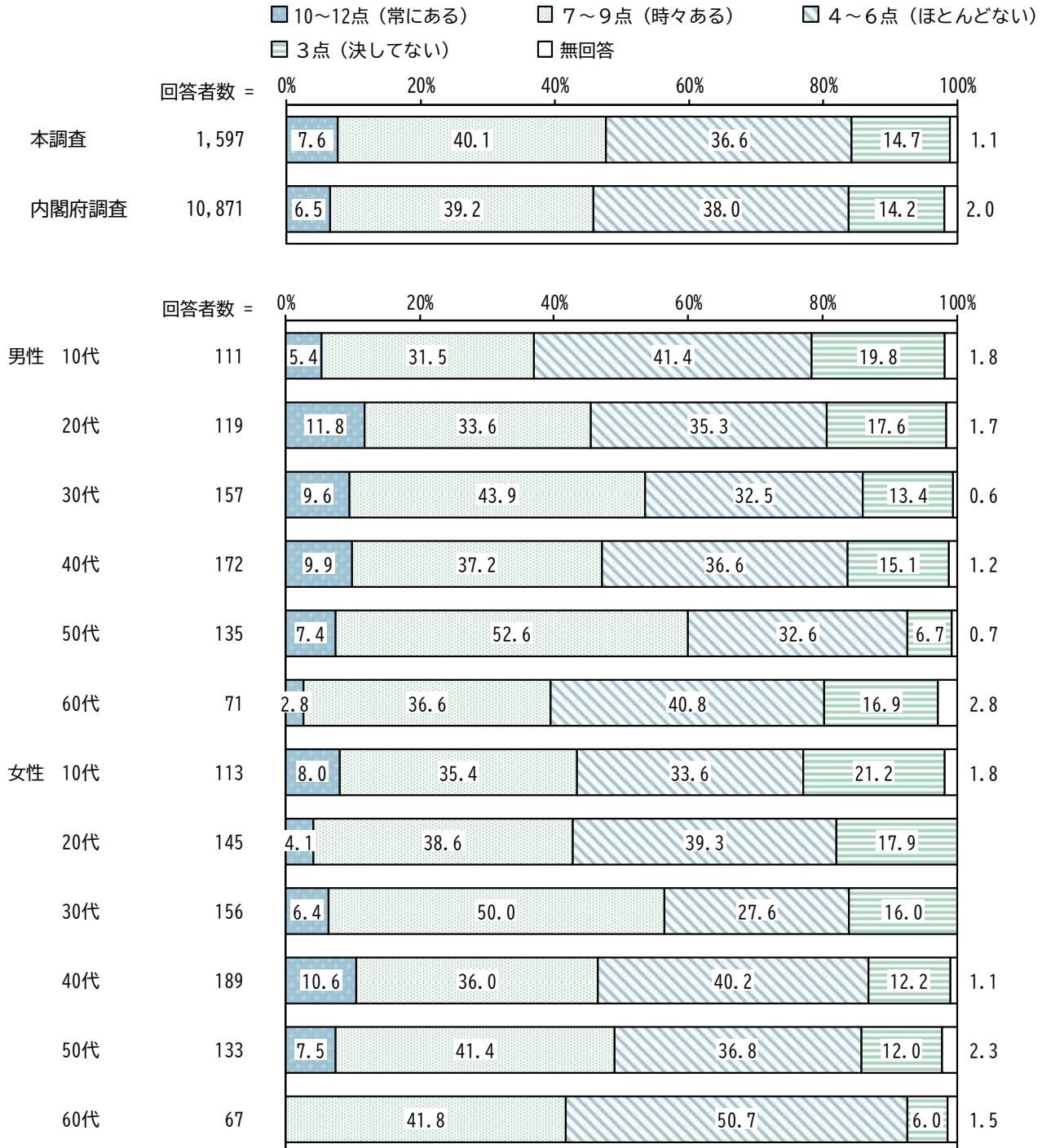
【年齢別】

年齢別にみると、50代から10代まで年齢が下がるほど「3点（決してない）」の割合が高くなっていきます。



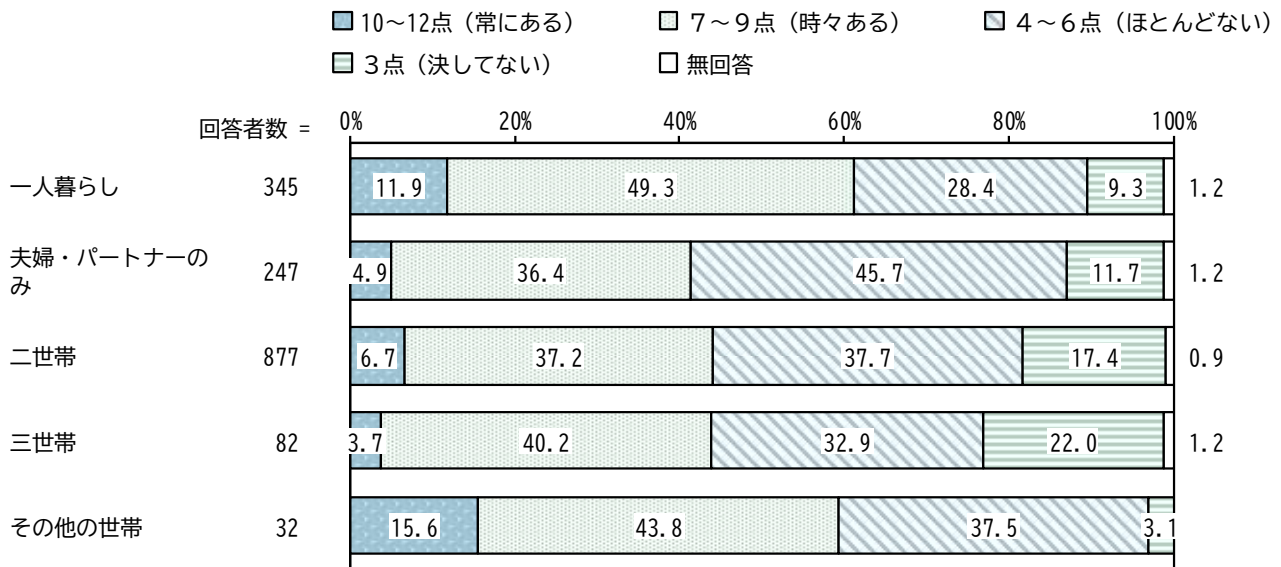
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では60代から20代まで年齢が下がるほど「10～12点（常にある）」の割合が高い傾向にあり、女性では年齢が下がるほど「3点（決してない）」の割合が高くなっています。また、男性50代で「7～9点（時々ある）」、女性60代で「4～6点（ほとんどない）」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

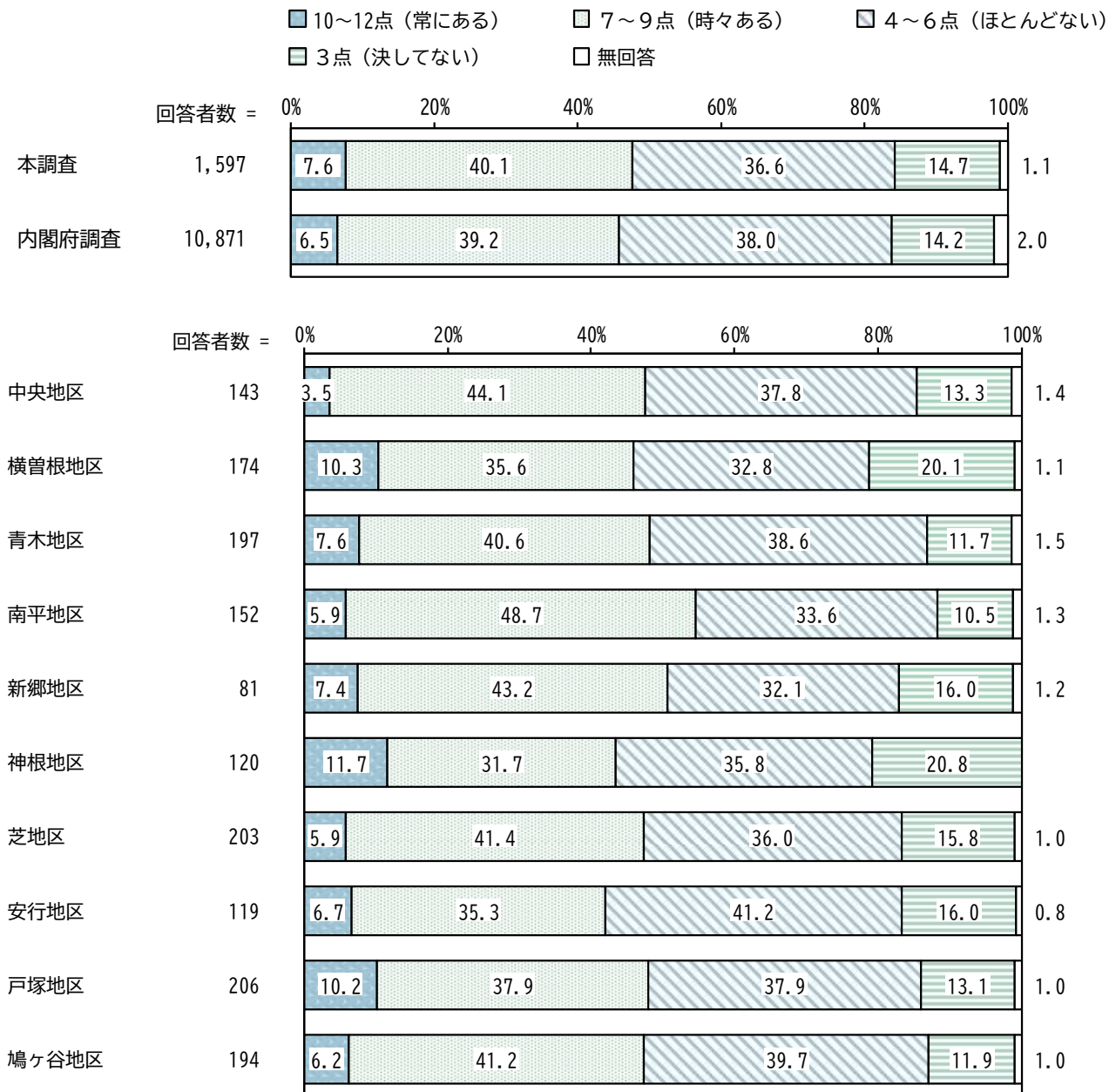
家族構成別にみると、その他の世帯で「10～12点（常にある）」、一人暮らしで「7～9点（時々ある）」、夫婦・パートナーのみで「4～6点（ほとんどない）」、三世帯で「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



※「その他の世帯」は、全体から「一人暮らし」～「三世帯」及び無回答を除いた数です。

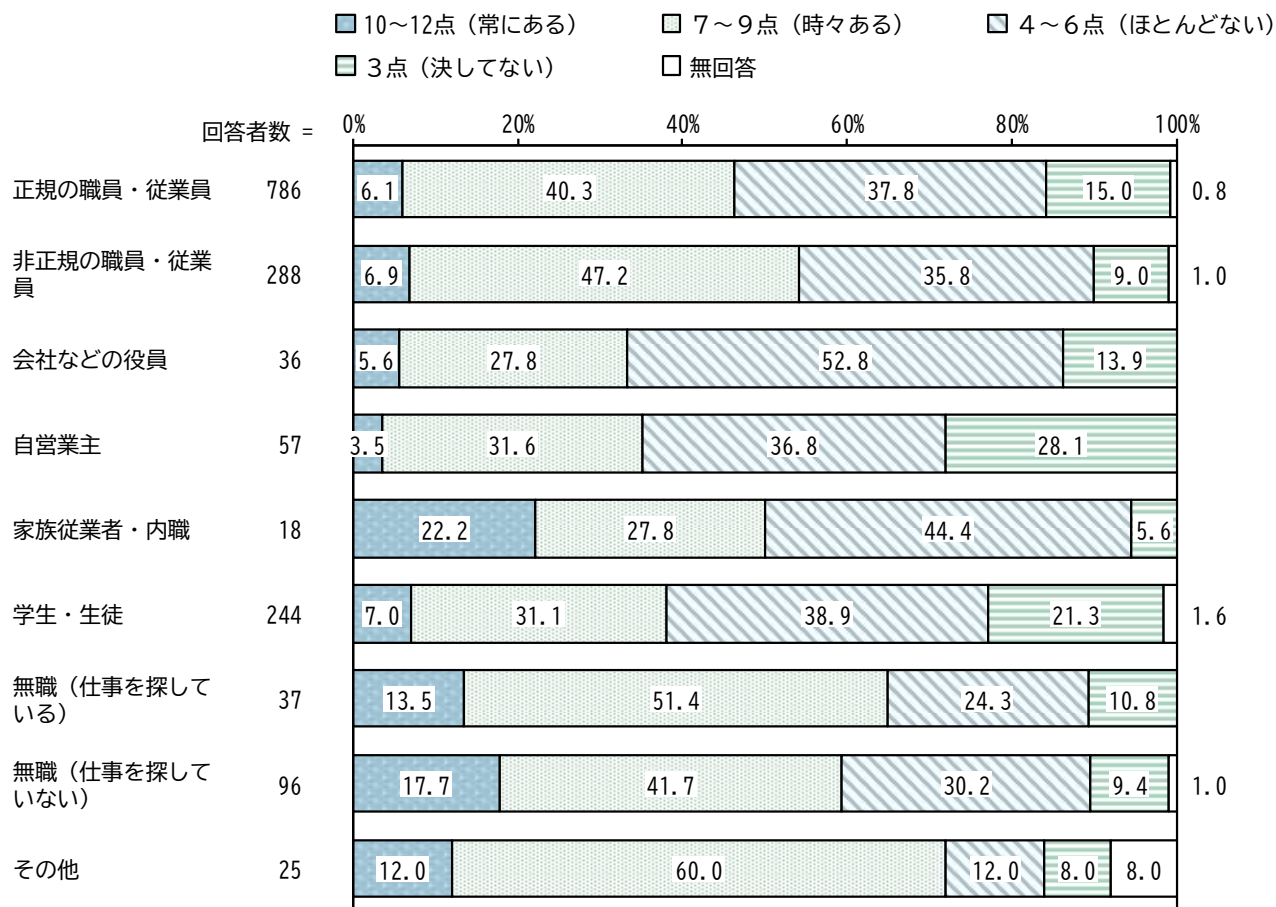
【地区別】

地区別にみると、南平地区で「7～9点（時々ある）」、横曽根地区、神根地区で「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



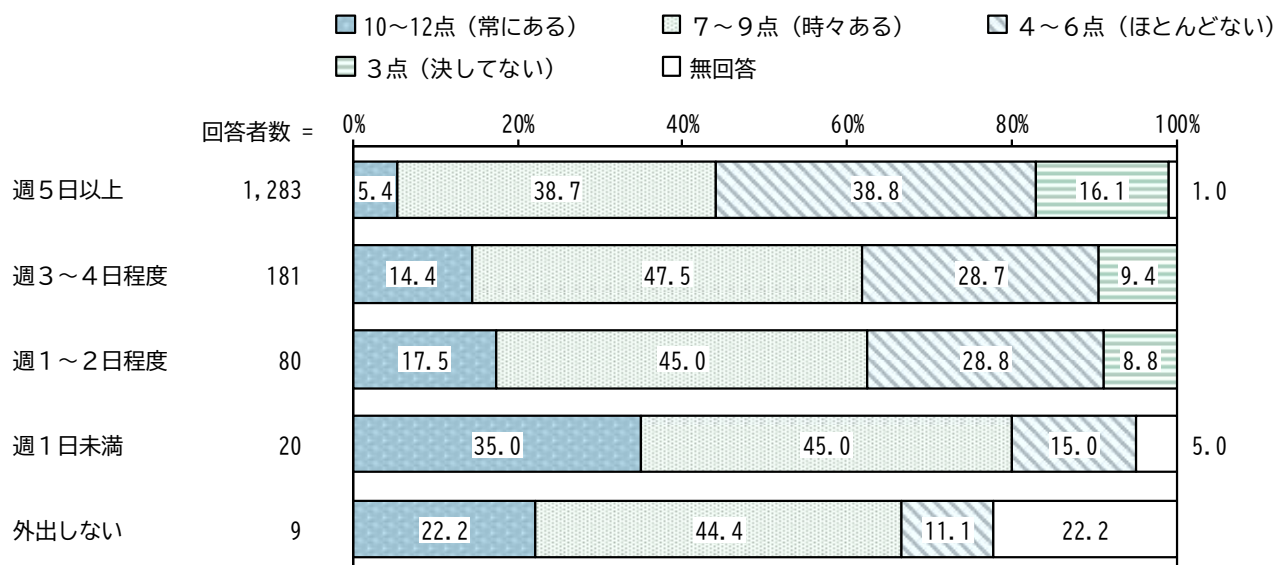
【職業別】

職業別にみると、家族従業者・内職で「10～12点（常にある）」、無職（仕事を探している）で「7～9点（時々ある）」、会社などの役員で「4～6点（ほとんどない）」、自営業主で「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



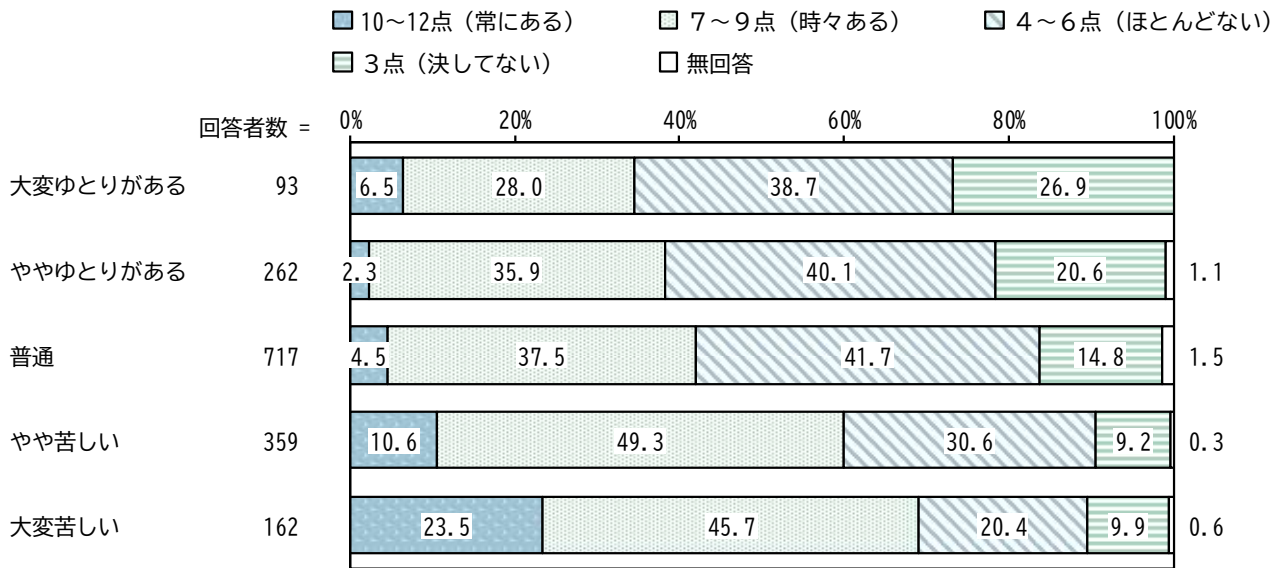
【外出頻度別】

外出頻度別にみると、頻度が多いほど「4～6点（ほとんどない）」「3点（決してない）」の割合が高い傾向にあり、『週1日未満』から『週5日以上』まで頻度が少ないほど「10～12点（常にある）」の割合が高くなっています。



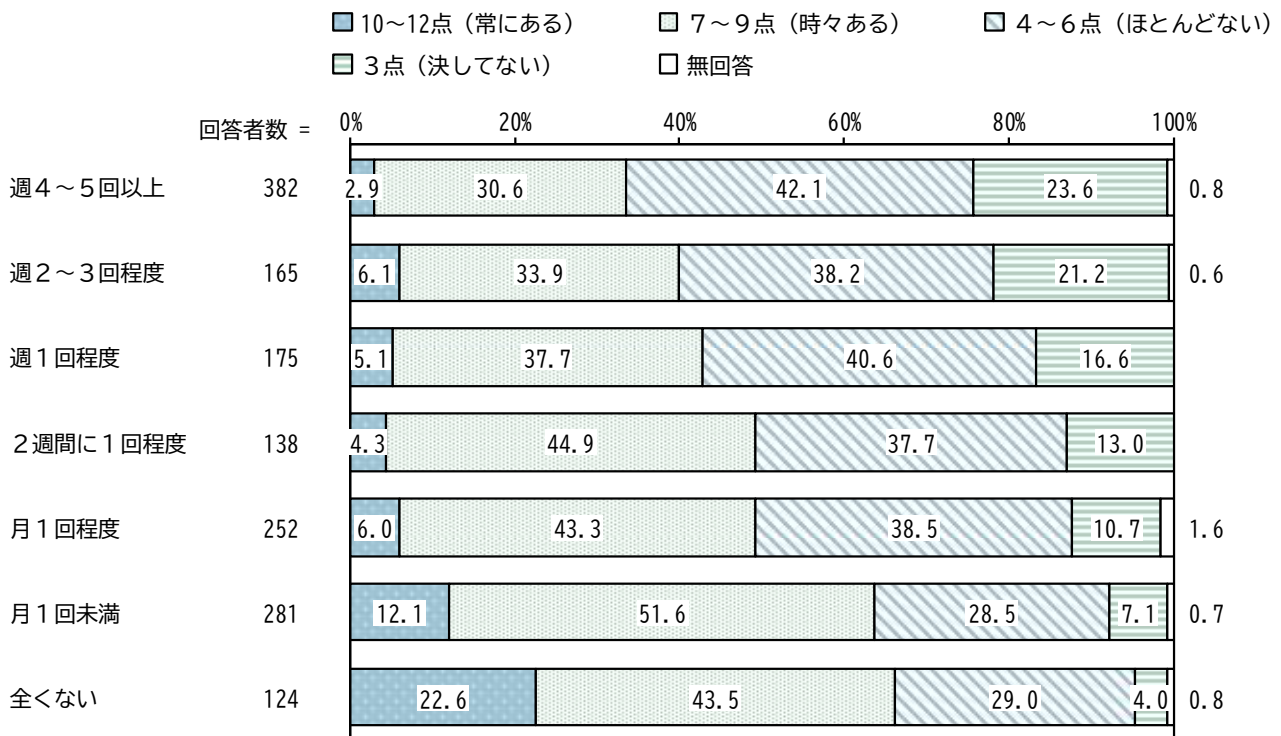
【経済的な暮らし向き別】

経済的な暮らし向き別にみると、『大変苦しい』で「10～12点（常にある）」、『大変ゆとりがある』で「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



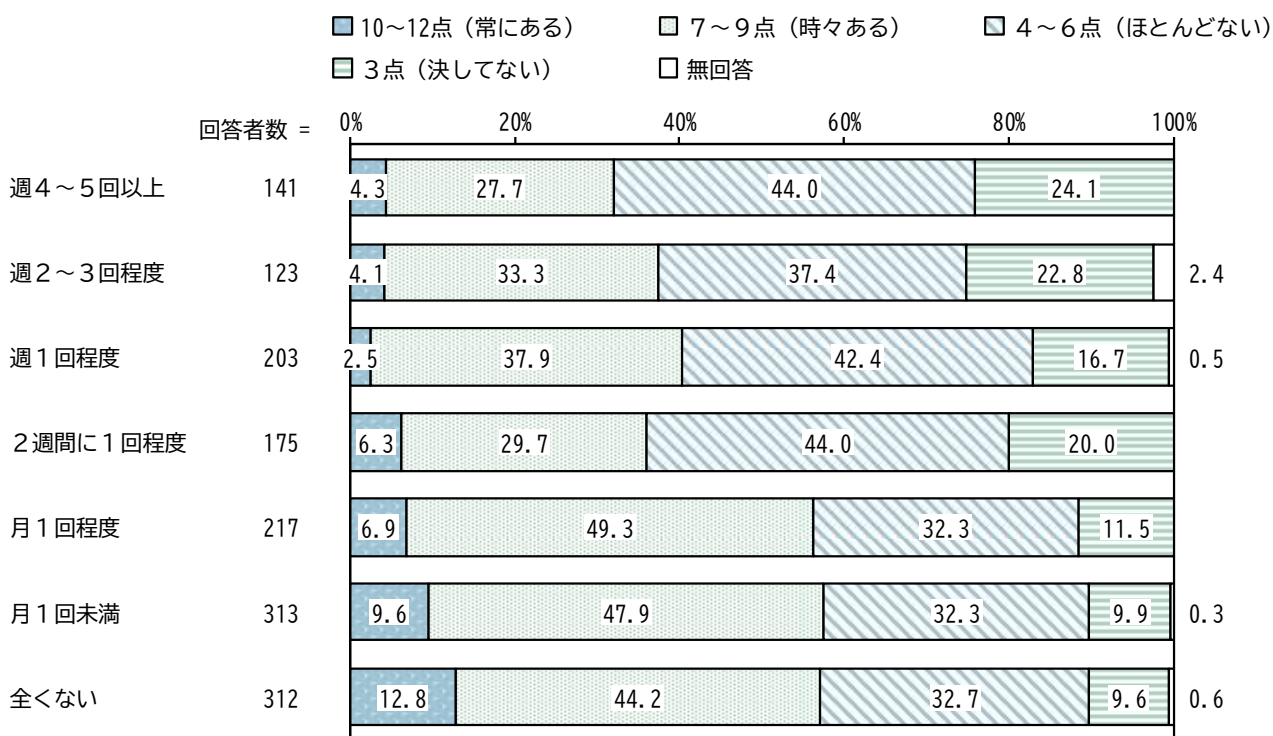
【交流頻度別（直接会って話す）】

交流頻度別（直接会って話す）にみると、頻度が多いほど「3点（決してない）」の割合が高く、『月1回未満』から『週4～5回以上』まで頻度が少ないほど「7～9点（時々ある）」の割合が高い傾向にあります。



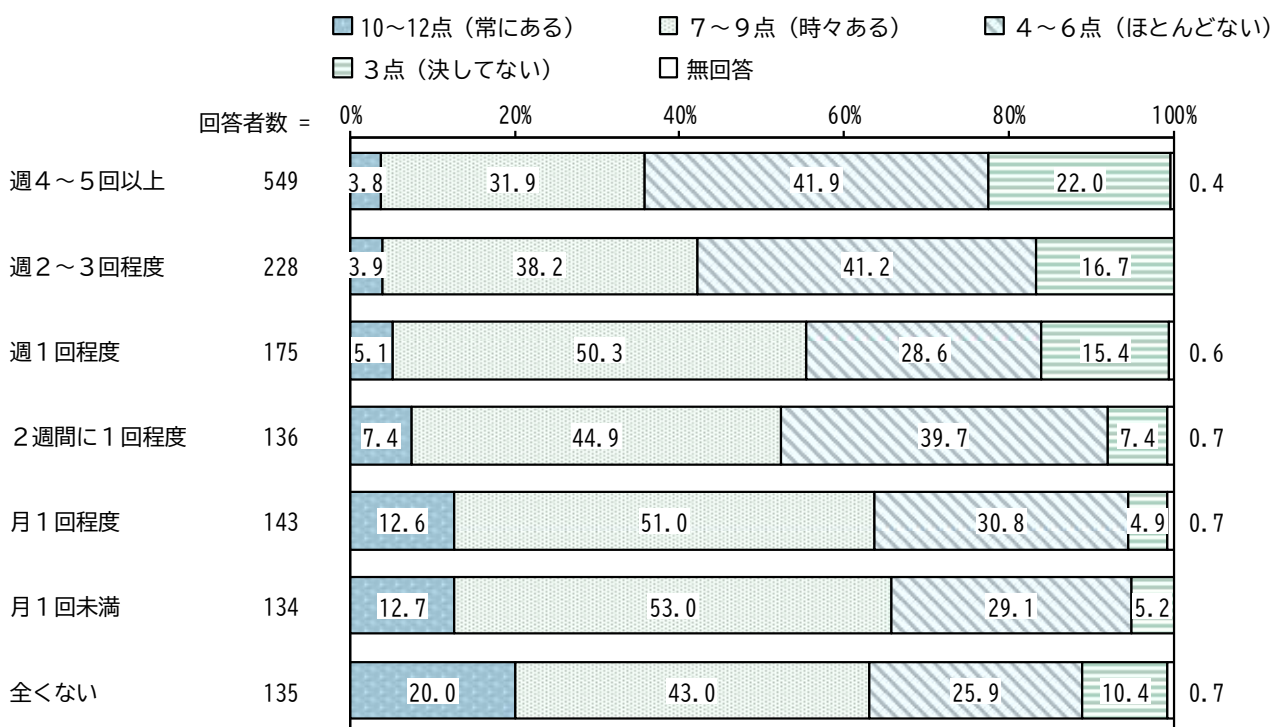
【交流頻度別（電話・ビデオ通話）】

交流頻度別（電話・ビデオ通話）にみると、『全くない』から『週1回程度』まで頻度が少ないほど「10～12点（常にある）」の割合が高くなっていきます。また、『週4～5回以上』、『2週間に1回程度』で「7～9点（時々ある）」の割合が低くなっていきます。



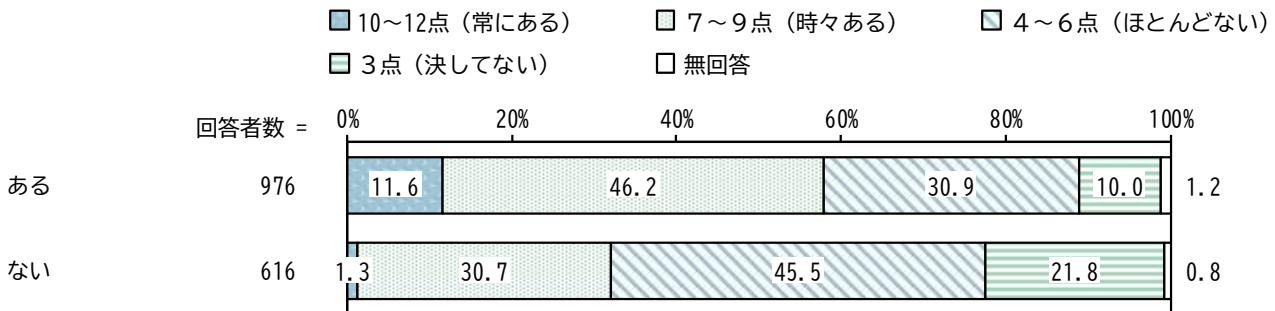
【交流頻度別（SNSや電子メールなど）】

交流頻度別（SNSや電子メールなど）にみると、頻度が少ないほど「10～12点（常にある）」の割合が高く、『週4～5回以上』から『月1回程度』まで頻度が多いほど「3点（決してない）」の割合が高くなっていきます。また、『週1回程度』、『月1回程度』、『月1回未満』で「7～9点（時々ある）」の割合が高く、『全くない』で「4～6点（ほとんどない）」の割合が低くなっていきます。



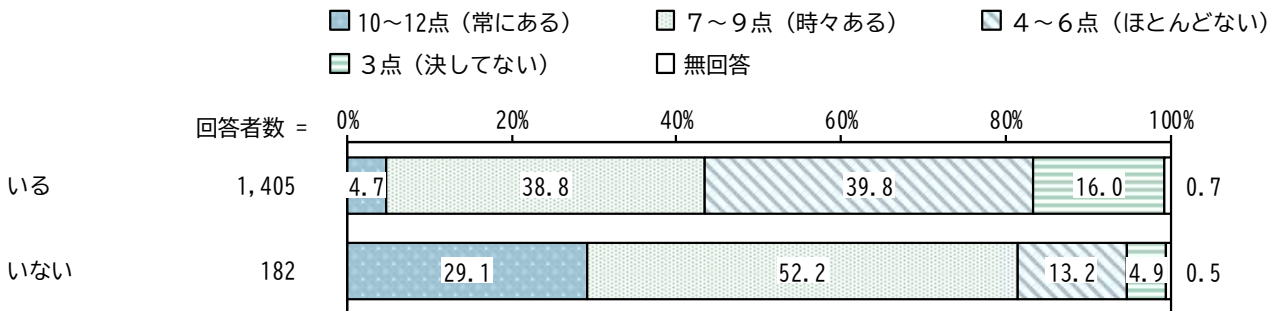
【悩みの有無別】

悩みの有無別にみると、『ある』で「10～12点（常にある）」「7～9点（時々ある）」の割合が高く、『ない』で「4～6点（ほとんどない）」「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



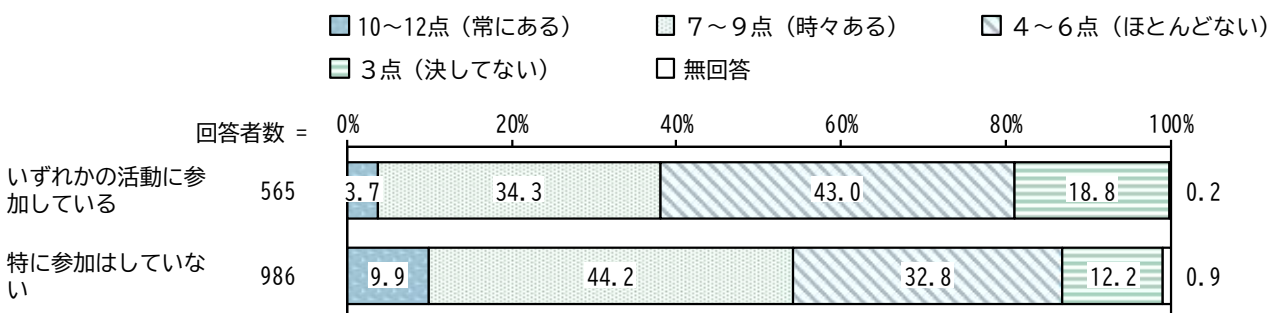
【相談相手の有無別】

相談相手の有無別にみると、『いる』で「4～6点（ほとんどない）」「3点（決してない）」の割合が高く、『いない』で「10～12点（常にある）」「7～9点（時々ある）」の割合が高くなっています。



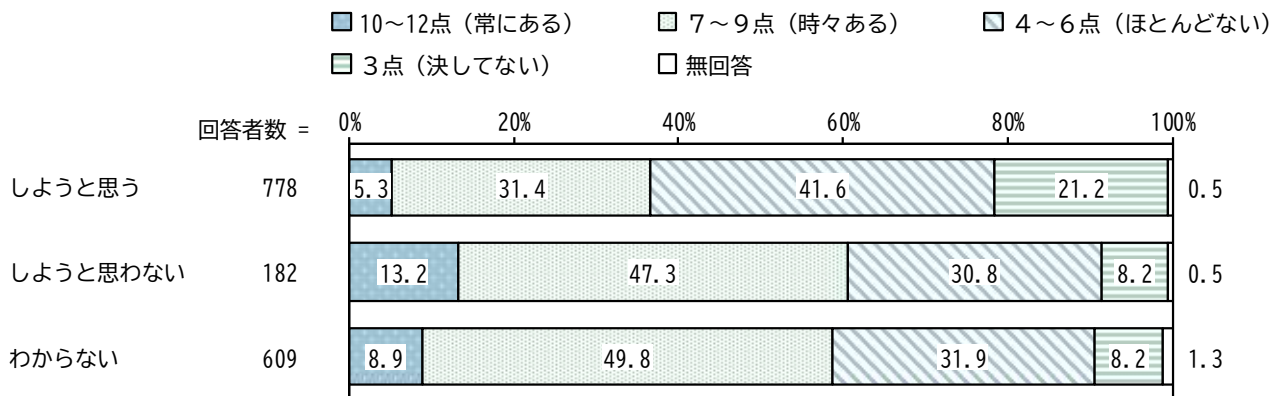
【社会活動への参加状況別】

社会活動への参加状況別にみると、『いずれかの活動に参加している』で「4～6点（ほとんどない）」の割合が高く、「7～9点（時々ある）」の割合が低くなっています。



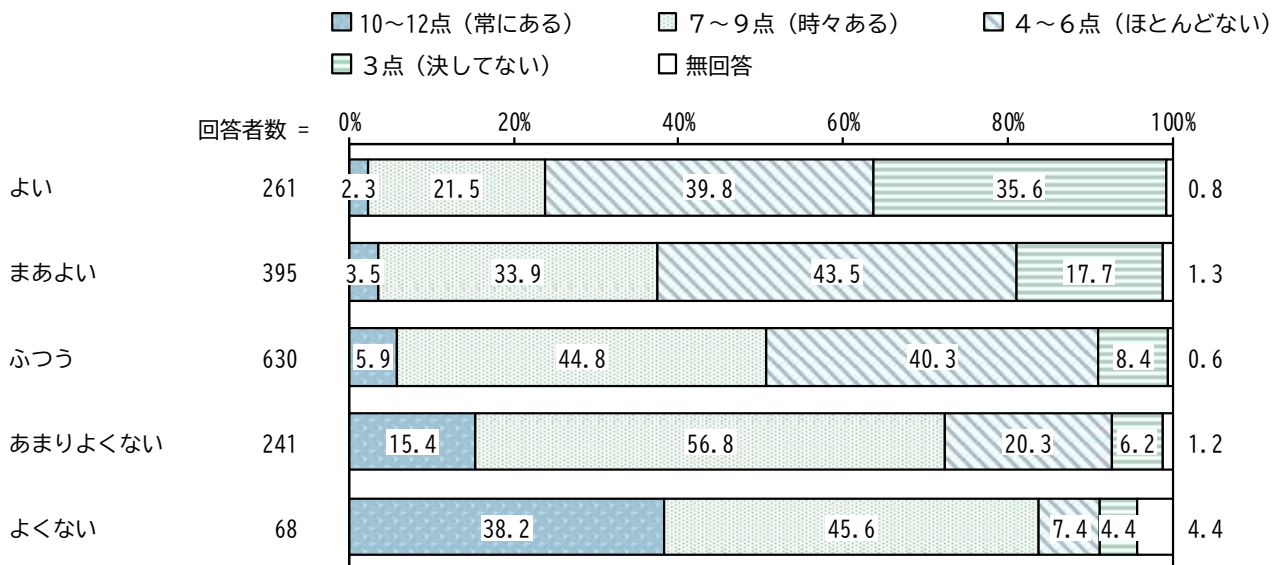
【他者へのサポート意識別】

他者へのサポート意識別にみると、『しようと思う』で「4～6点（ほとんどない）」「3点（決してない）」の割合が高く、『しようと思わない』で「10～12点（常にある）」「7～9点（時々ある）」の割合が高くなっています。



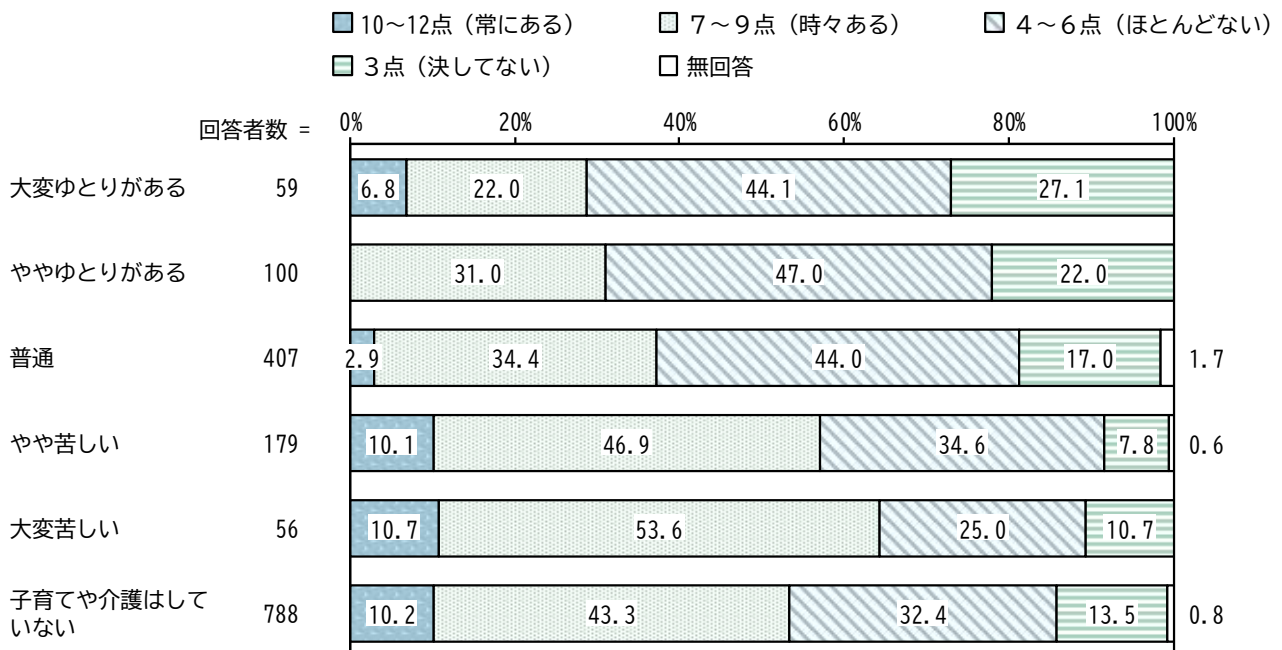
【心身の健康状態別】

心身の健康状態別にみると、『よくない』で「10～12点（常にある）」、『あまりよくない』で「7～9点（時々ある）」、『よい』で「3点（決してない）」の割合が高くなっています。



【子育てや介護の負担感別】

子育てや介護の負担感別にみると、『大変苦しい』で「7～9点（時々ある）」、『ややゆとりがある』で「4～6点（ほとんどない）」の割合が高くなっています。



2 ひきこもりの状況

本格的にひきこもり状態ではないものの、ひきこもることに肯定的・友好的な態度を示したり、その傾向（親和性）を持つ感情をよりの確に把握するため、この調査では以下の設問について、4項目すべて「はい」又は1項目のみ「どちらかといえばはい」と回答した方はひきこもり親和群、該当しない方は一般群として整理しました。

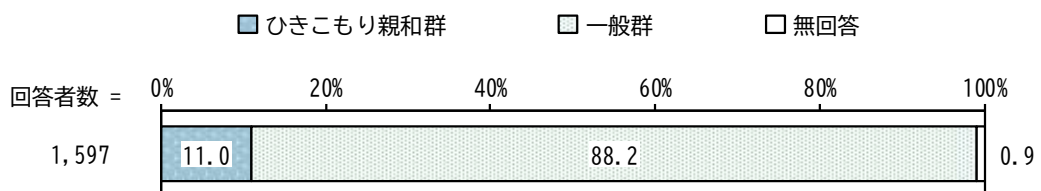
問 20 次にあげられたことについて、あなた自身に当てはまる数字に○をつけてください。
(①～④について、それぞれ○は1つ)

- ①家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる
- ②自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある
- ③嫌な出来事があると、外に出たくなくなる
- ④理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

1. はい 2. どちらかといえばはい 3. どちらかといえばいいえ 4. いいえ

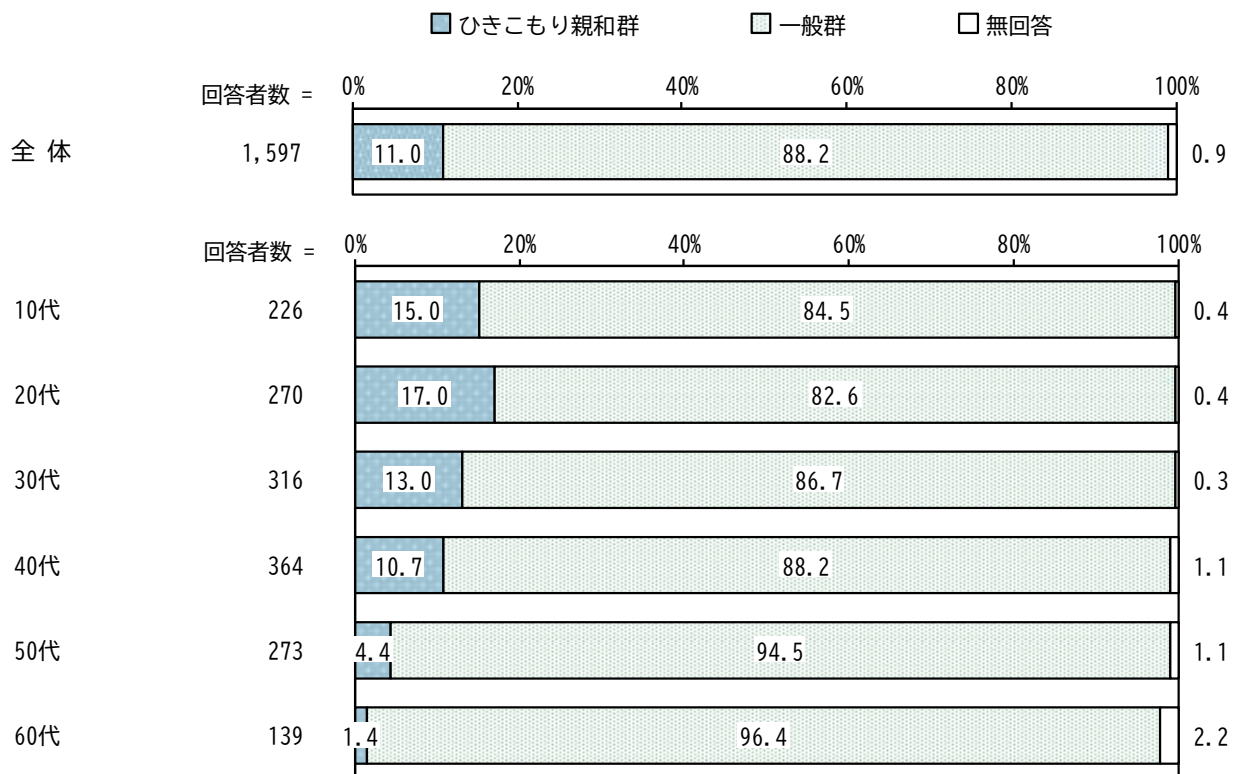
【全体】

「ひきこもり親和群」の割合が 11.0%、「一般群」の割合が 88.2%となっています。



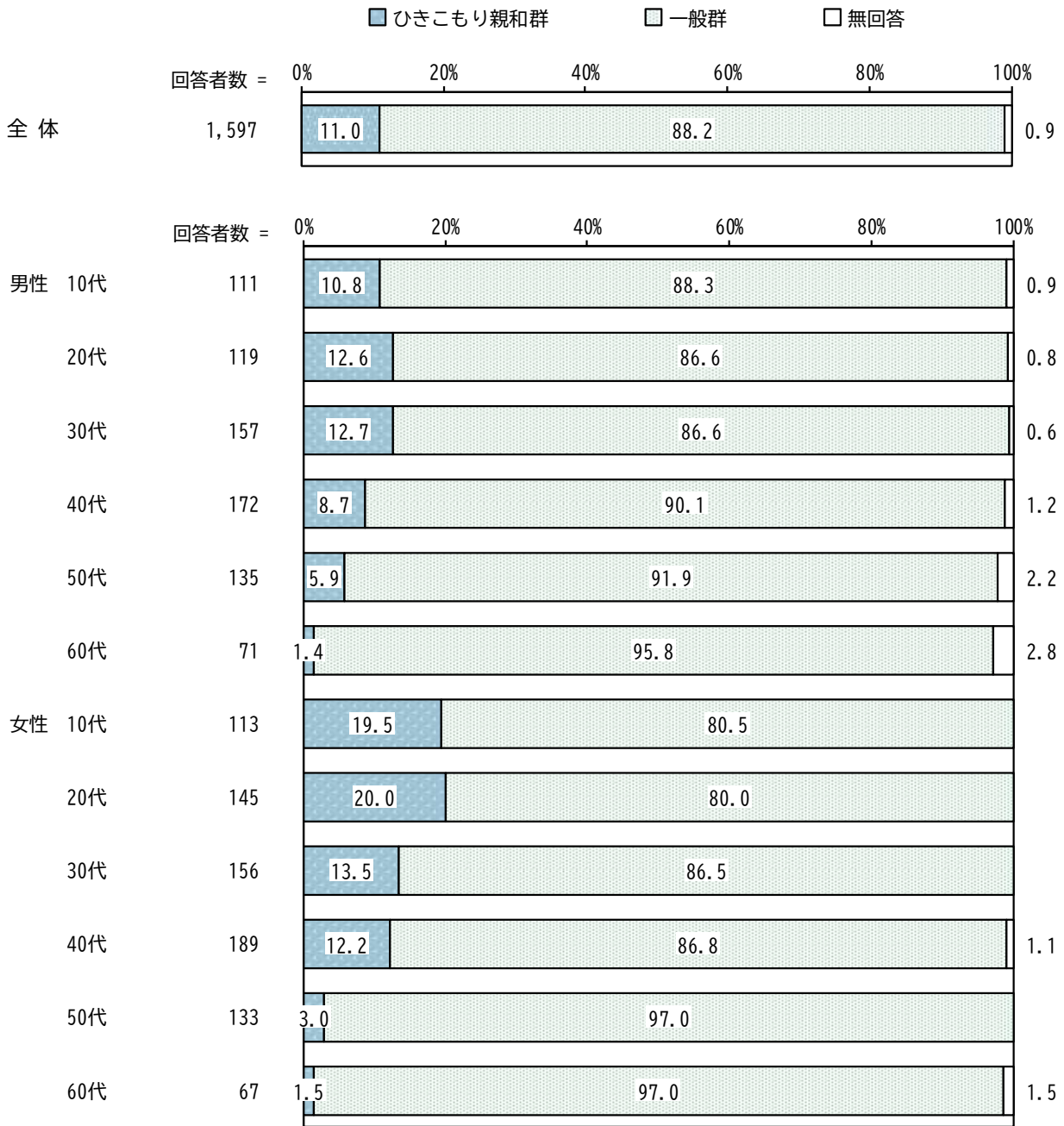
【年齢別】

年齢別にみると、20代から60代まで年齢が上がるほど「一般群」の割合が高くなっています。



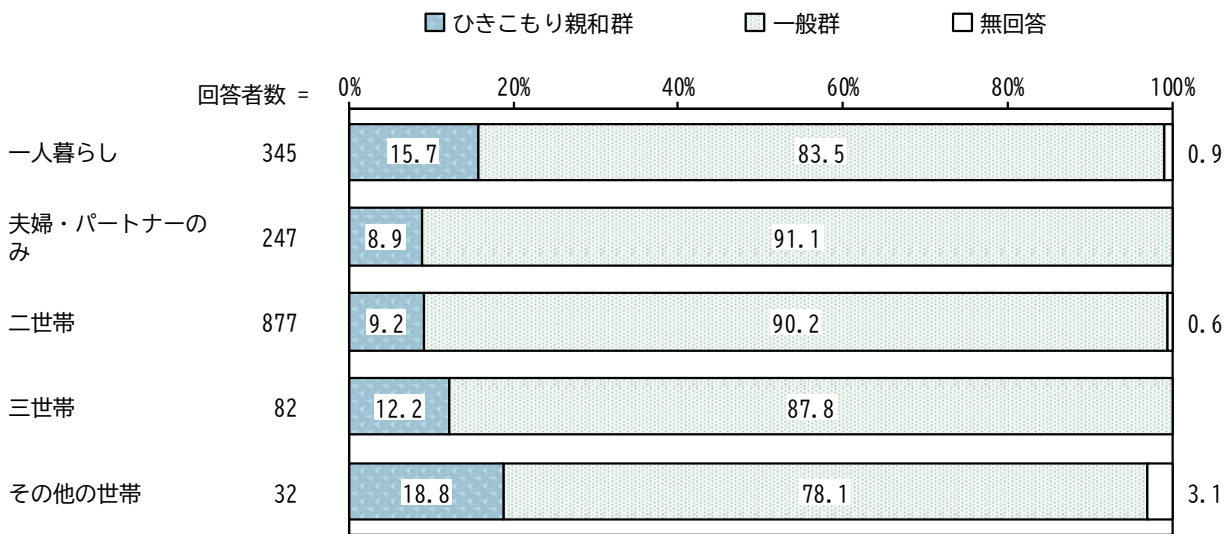
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに20代から60代まで年齢が上がるほど「一般群」の割合が高い傾向にあります。



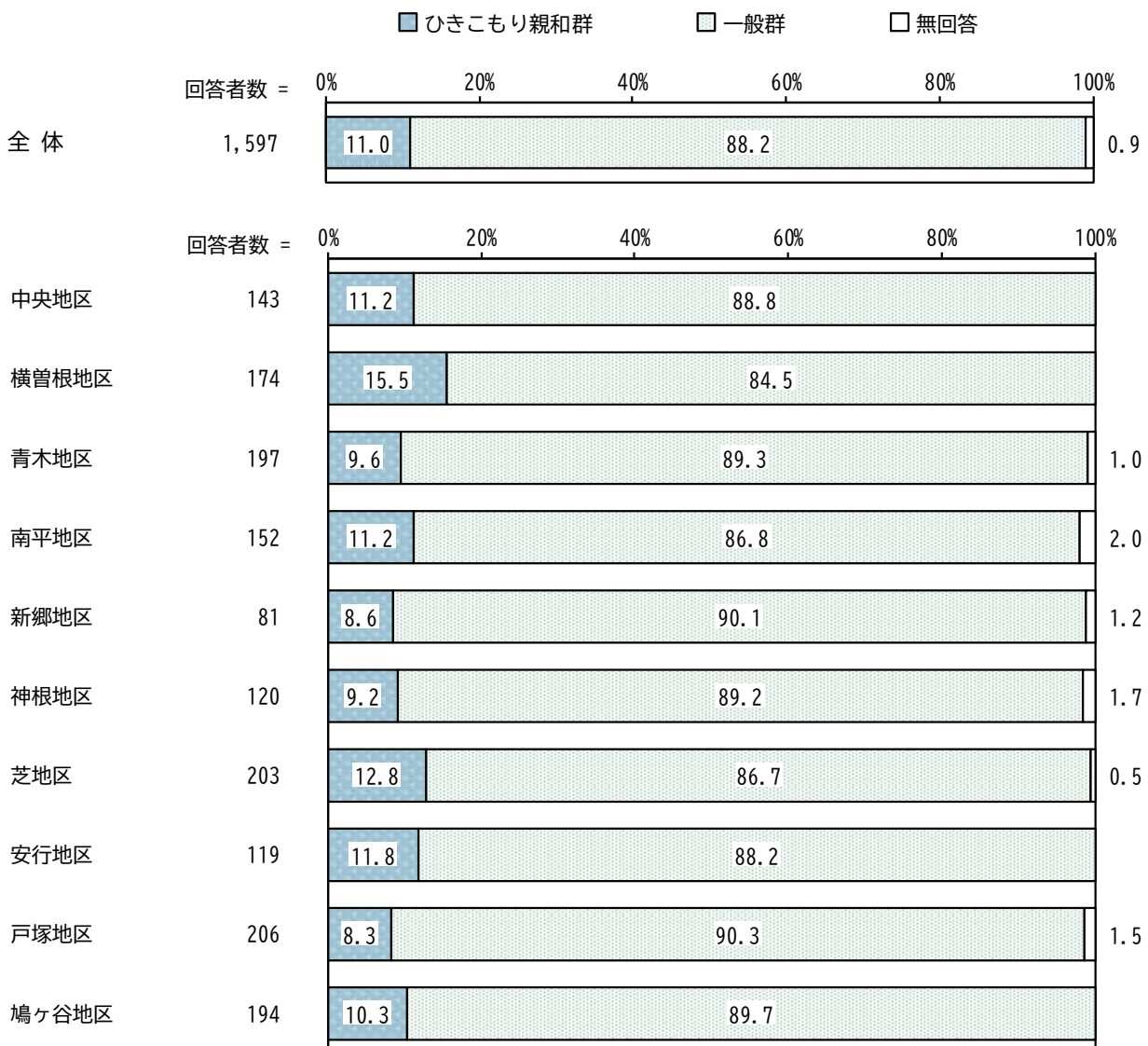
【家族構成別】

家族構成別にみると、その他の世帯で「一般群」の割合が低くなっています。



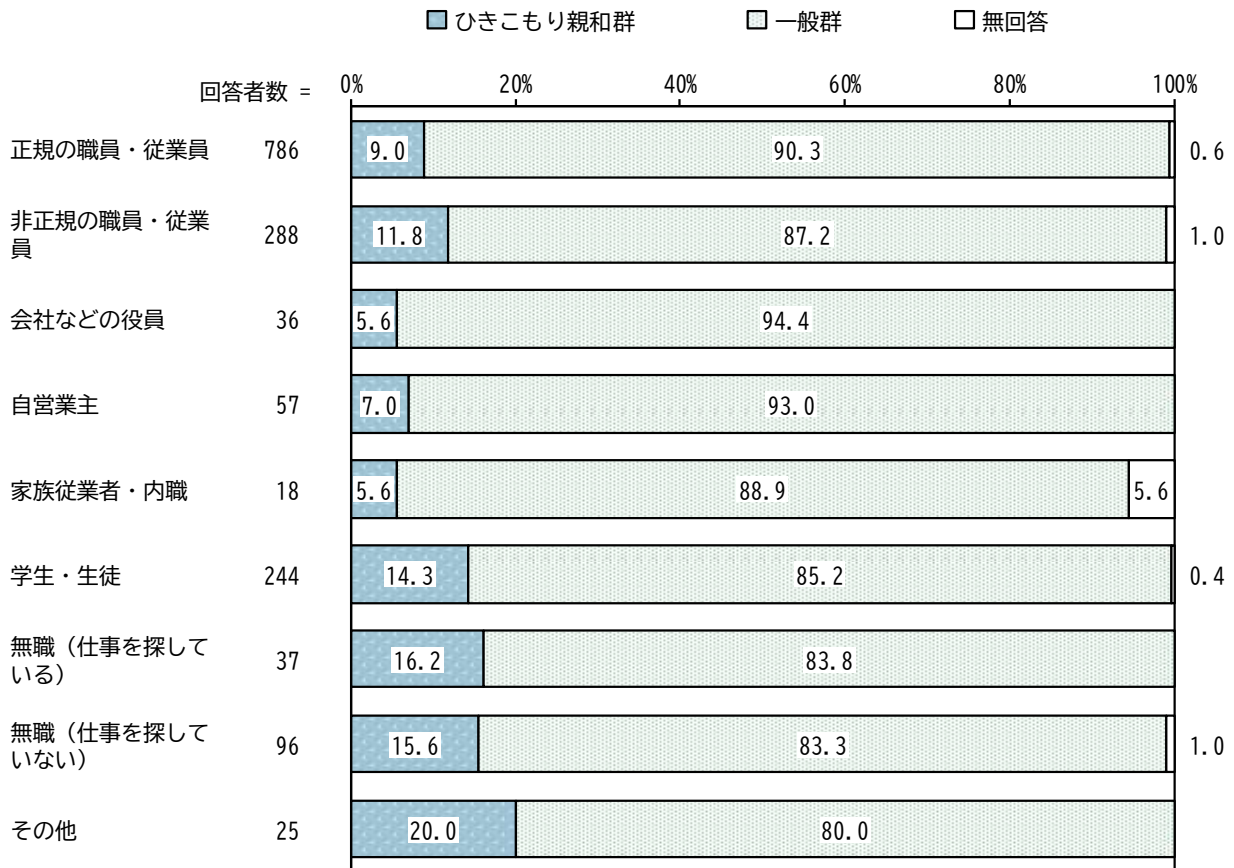
【地区別】

地区別にみると、大きな差はみられません。



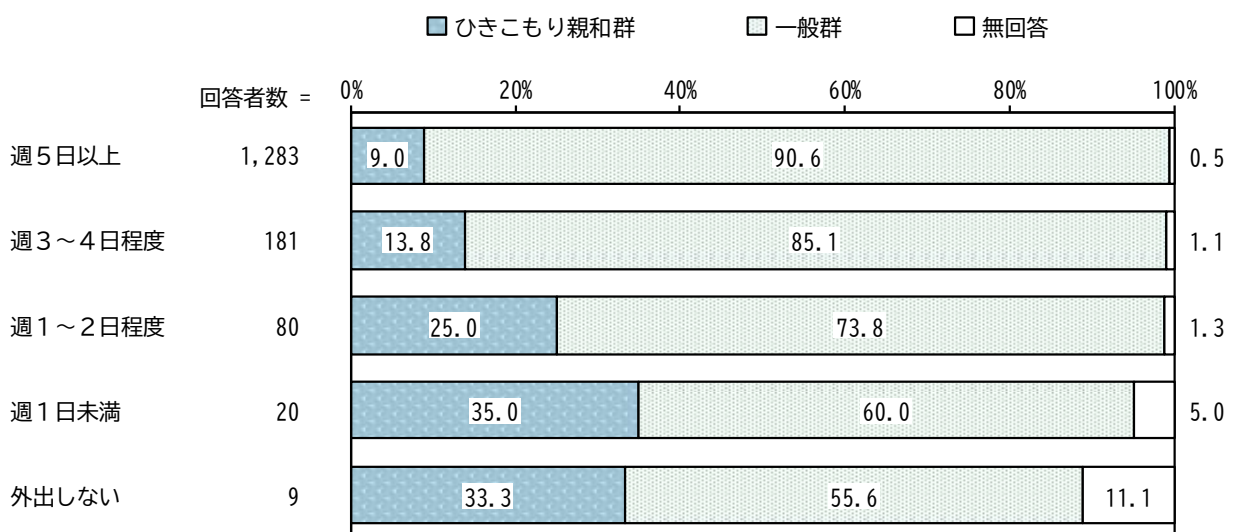
【職業別】

職業別にみると、無職（仕事を探している）で「ひきこもり親和群」、会社などの役員で「一般群」の割合が高くなっています。



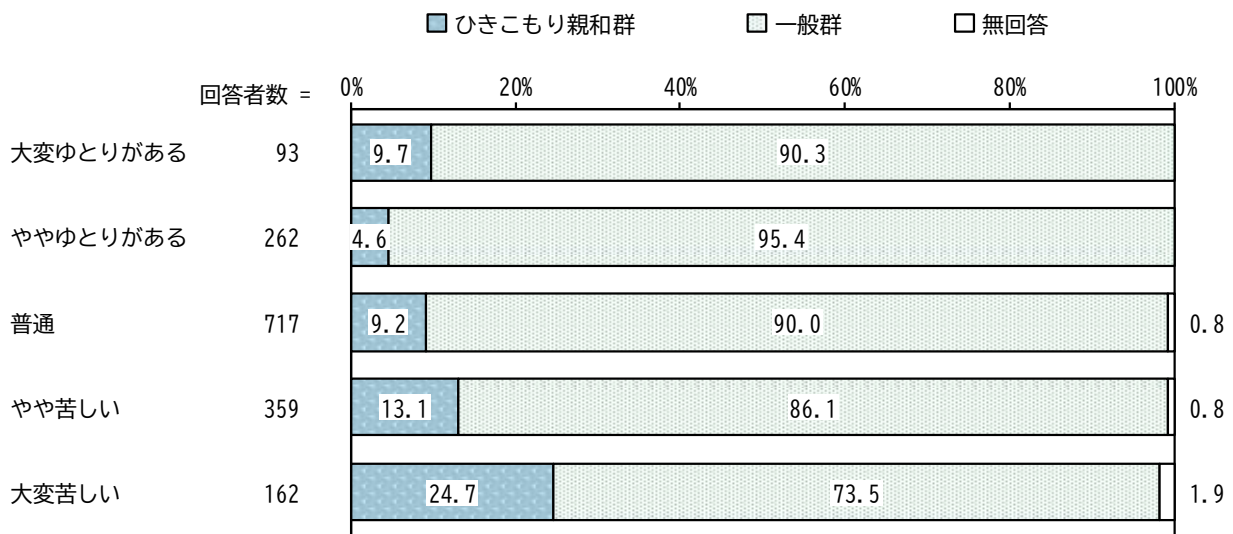
【外出頻度別】

外出頻度別にみると、頻度が多いほど「一般群」の割合が高くなっています。



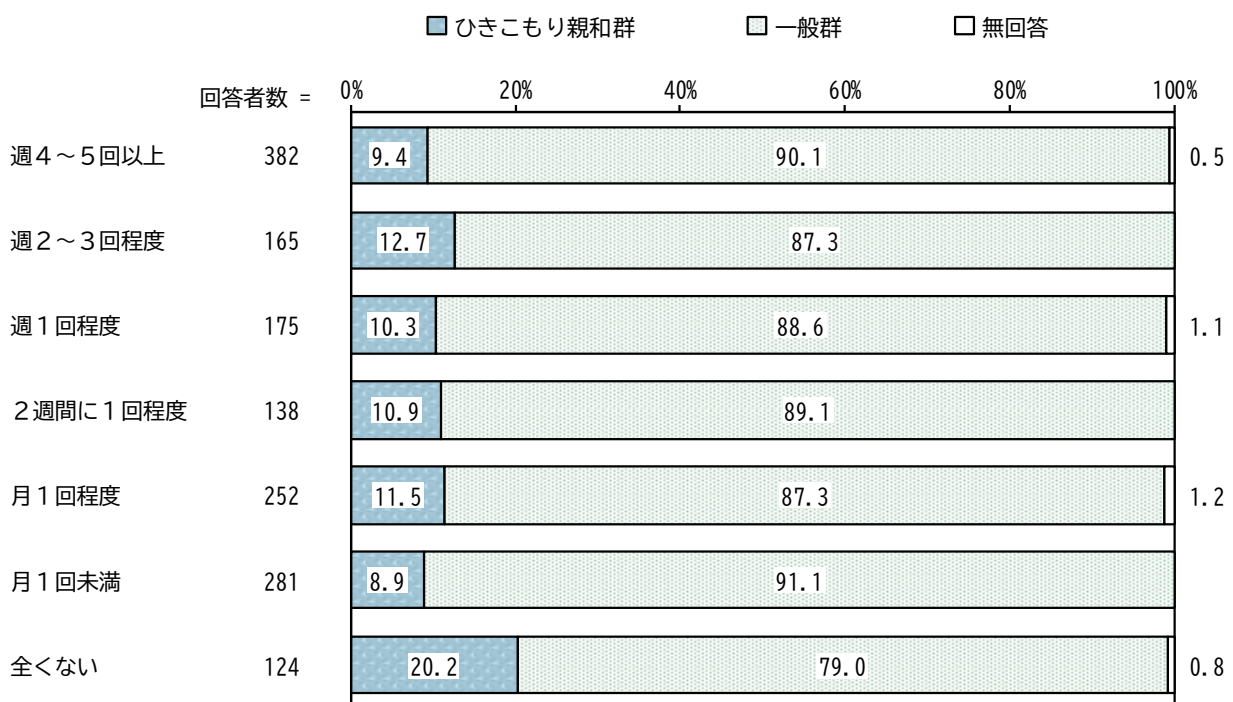
【経済的な暮らし向き別】

経済的な暮らし向き別にみると、『大変苦しい』で「ひきこもり親和群」の割合が高くなっています。



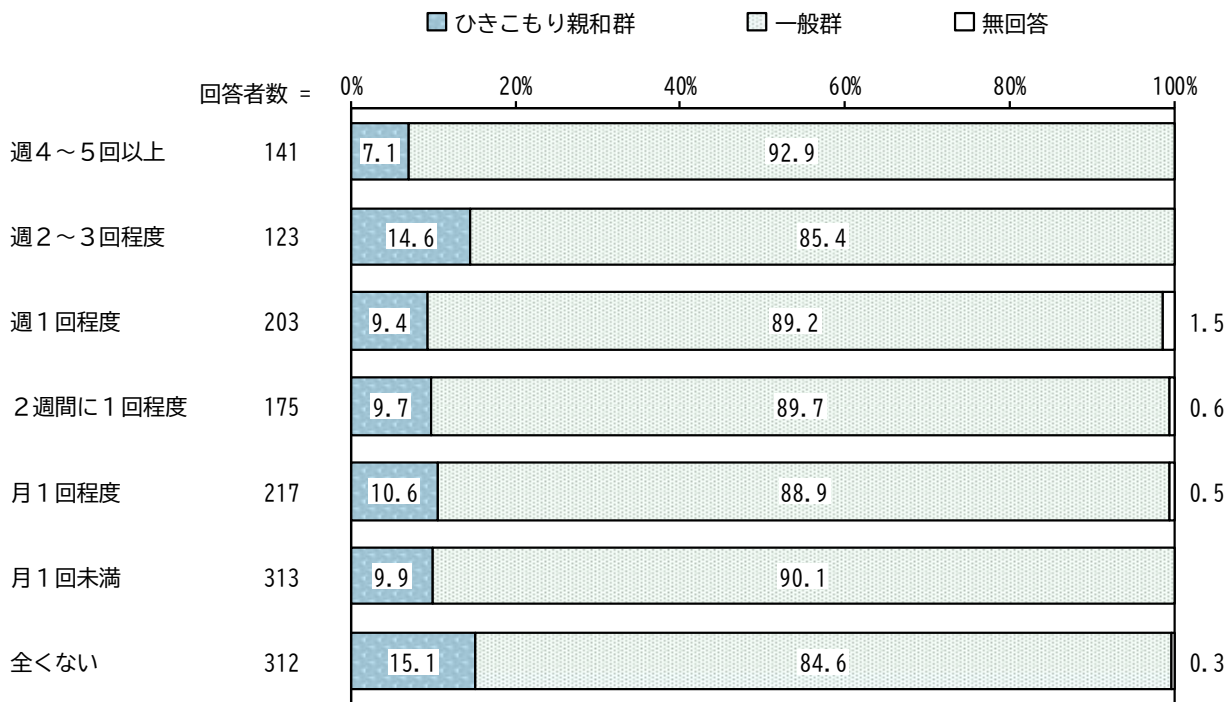
【交流頻度別（直接会って話す）】

交流頻度別（直接会って話す）にみると、『全くない』で「ひきこもり親和群」の割合が高くなっています。



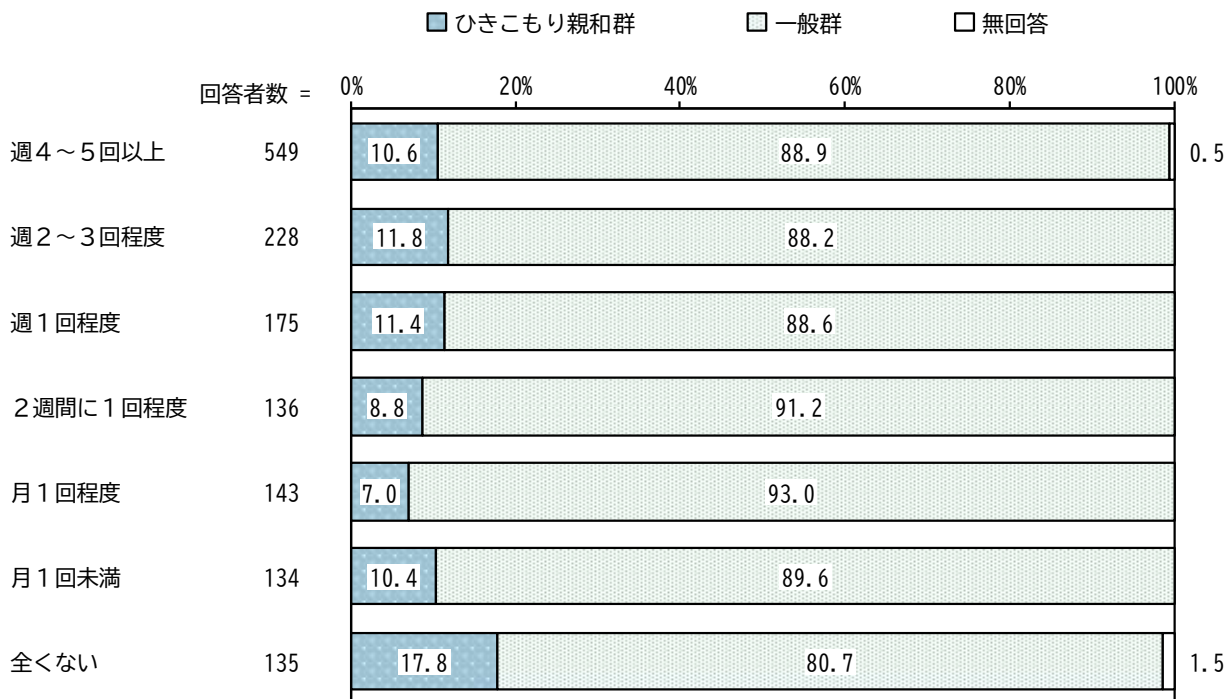
【交流頻度別（電話・ビデオ通話）】

交流頻度別（電話・ビデオ通話）にみると、大きな差はみられません。



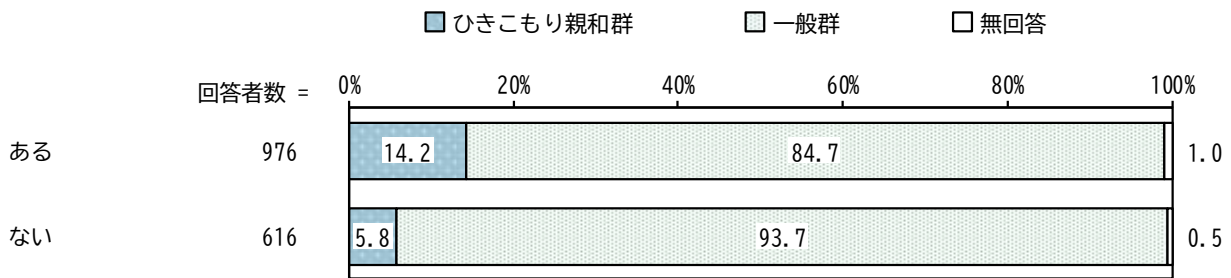
【交流頻度別（SNSや電子メールなど）】

交流頻度別（SNSや電子メールなど）にみると、『全くない』で「ひきこもり親和群」の割合が高くなっています。



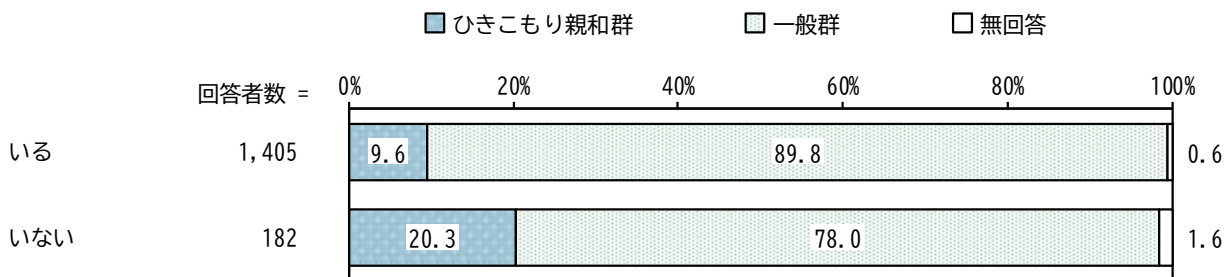
【悩みの有無別】

悩みの有無別にみると、『ない』で「一般群」の割合が高くなっています。



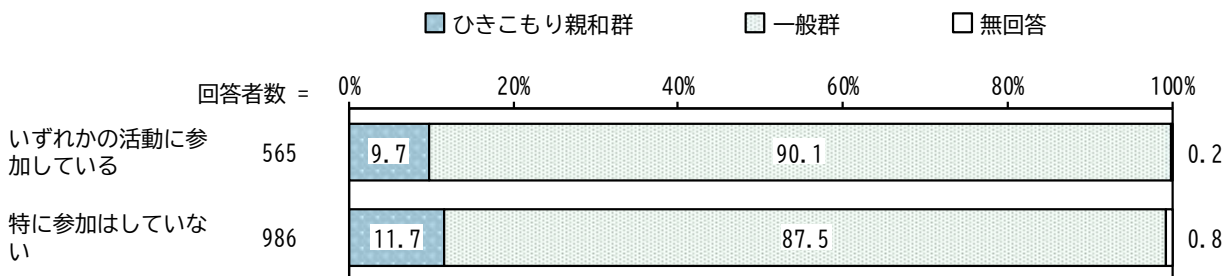
【相談相手の有無別】

相談相手の有無別にみると、『いる』で「一般群」の割合が高くなっています。



【社会活動への参加状況別】

社会活動への参加状況別にみると、大きな差はみられません。

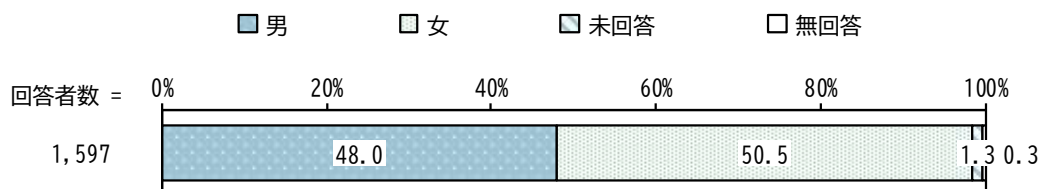


Ⅲ 調査結果

1 回答者属性

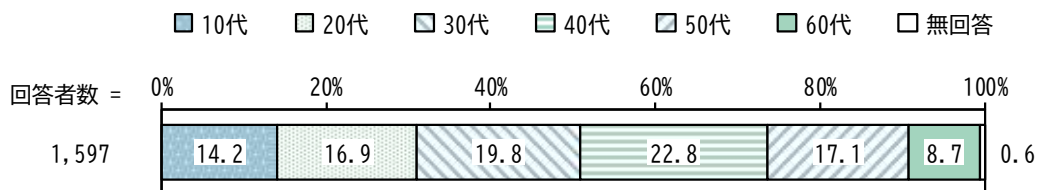
問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

「男」の割合が48.0%、「女」の割合が50.5%、「未回答」の割合が1.3%となっています。



問2 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

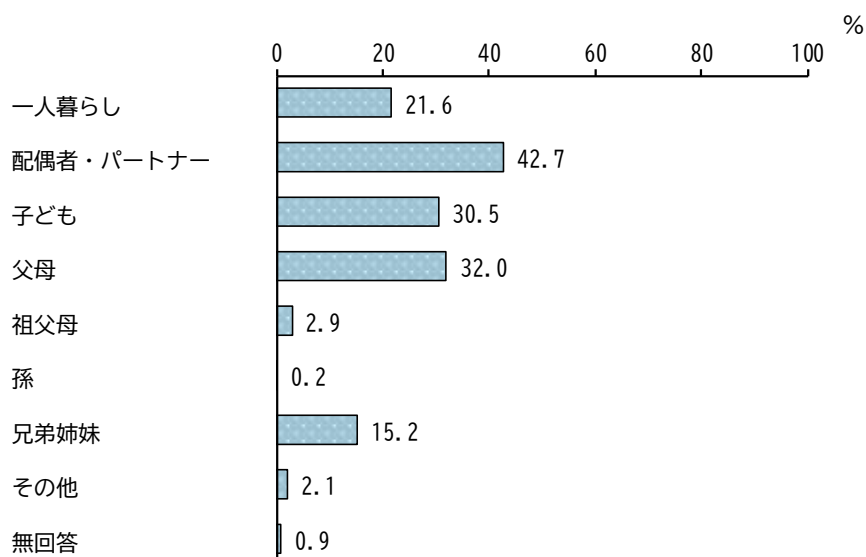
「40代」の割合が22.8%と最も高く、次いで「30代」の割合が19.8%、「50代」の割合が17.1%となっています。



問3 あなたは現在どなたと住んでいますか。(○はいくつでも)

「配偶者・パートナー」の割合が42.7%と最も高く、次いで「父母」の割合が32.0%、「子ども」の割合が30.5%となっています。

回答者数 = 1,597

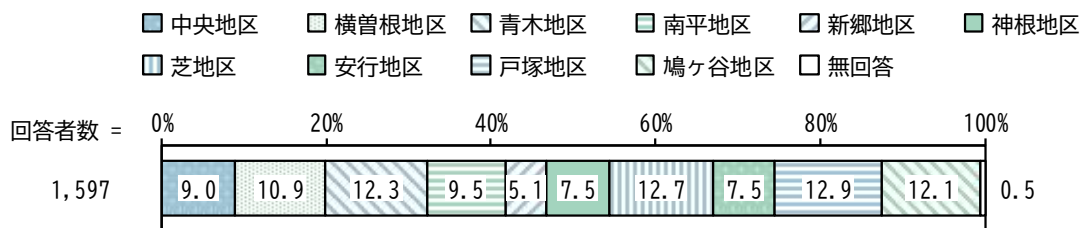


【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・母 ・兄 ・姉 ・弟 ・子 ・甥 ・姪 ・伯父 ・義父母 ・義父 ・配偶者の父母 ・母のパートナー ・友人 ・入所施設 ・有料高齢者施設入居

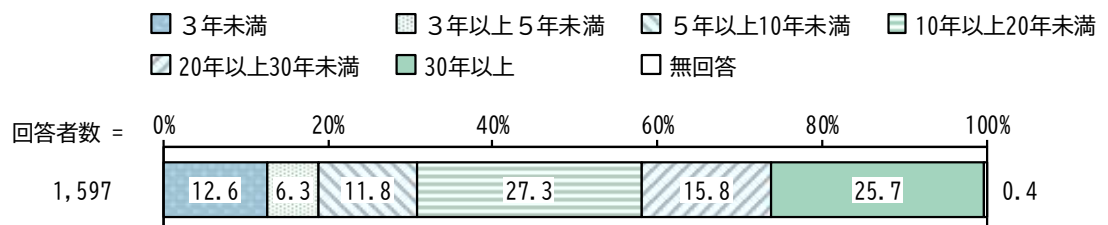
問4 あなたの住んでいる地区は川口市内のどちらですか。(○は1つ)

「戸塚地区」の割合が12.9%と最も高く、次いで「芝地区」の割合が12.7%、「青木地区」の割合が12.3%となっています。



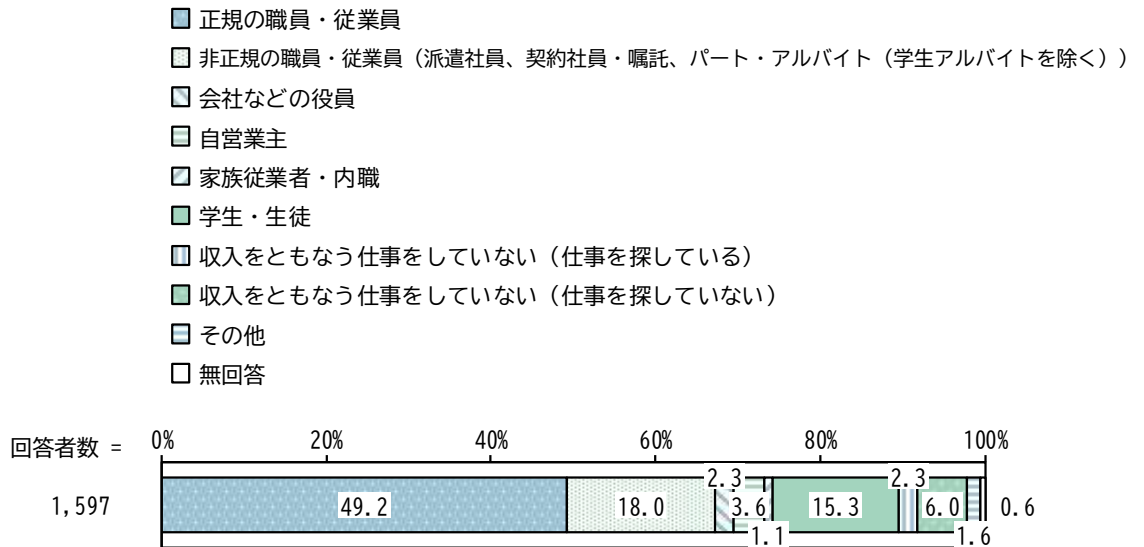
問5 あなたは、川口市に何年住んでいますか。(○は1つ)

「10年以上20年未満」の割合が27.3%と最も高く、次いで「30年以上」の割合が25.7%、「20年以上30年未満」の割合が15.8%となっています。



問6 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事についてお答えください。(○は1つ)
 ※「主な仕事」とは一番長い時間した仕事を指します。

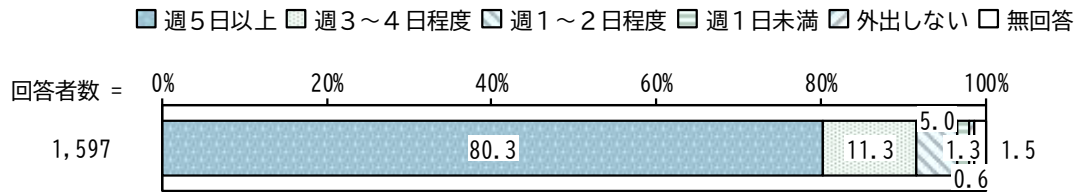
「正規の職員・従業員」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「非正規の職員・従業員（派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト（学生アルバイトを除く）」の割合が 18.0%、「学生・生徒」の割合が 15.3%となっています。



2 地域とのつながりについて

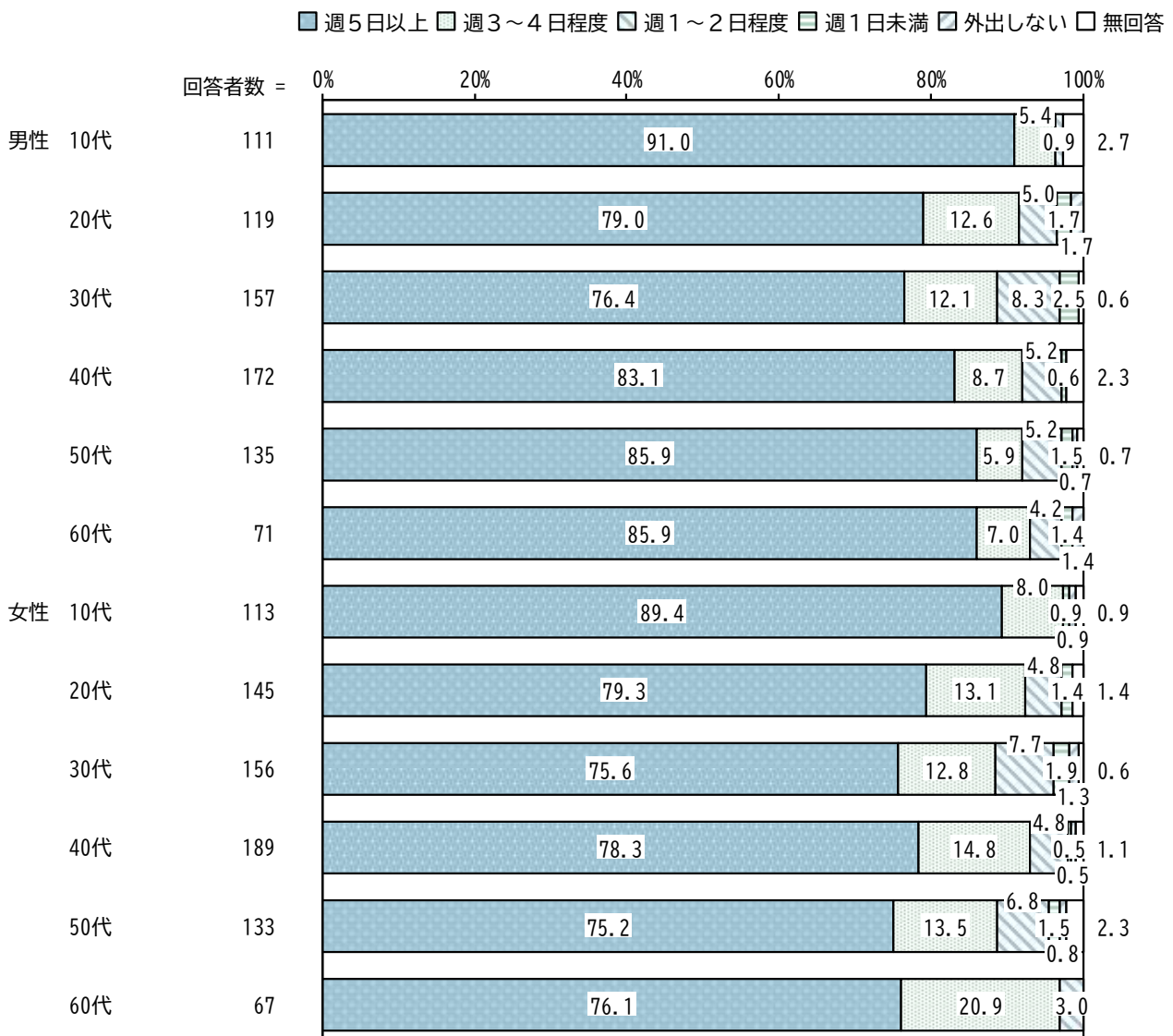
問7 あなたは日頃どの程度、外出していますか。(○は1つ)

「週5日以上」の割合が80.3%と最も高く、次いで「週3～4日程度」の割合が11.3%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では50代から20代まで年齢が下がるほど「週3～4日程度」の割合が高くなっています。

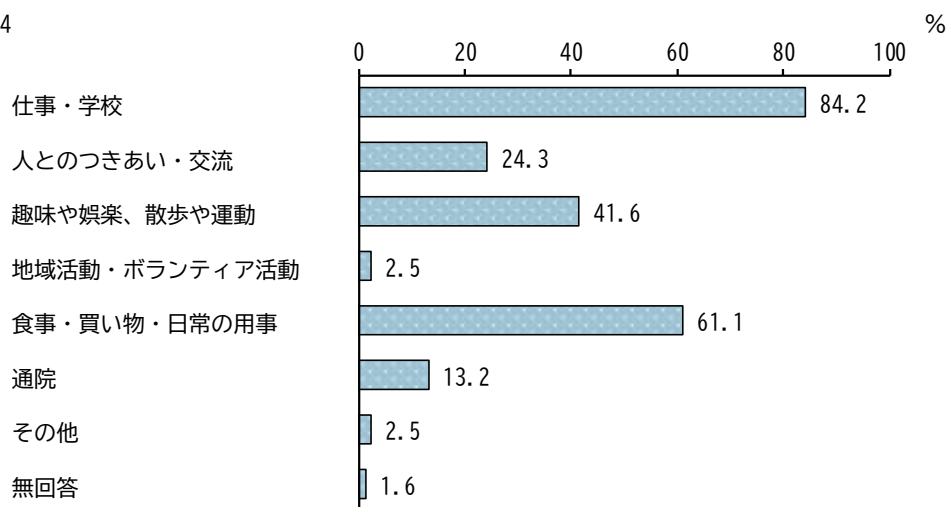


問7で「週5日以上」～「週1～2日程度」（週1日以上）と答えた方にうかがいます。

問7-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。（○はいくつでも）

「仕事・学校」の割合が84.2%と最も高く、次いで「食事・買い物・日常の用事」の割合が61.1%、「趣味や娯楽、散歩や運動」の割合が41.6%となっています。

回答者数 = 1,544



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「仕事・学校」「人とのつきあい・交流」の割合が高い傾向にあり、女性では年齢が上がるほど「食事・買い物・日常の用事」の割合が高い傾向にあり、「仕事・学校」の割合が低い傾向にあります。また、男性30代で「趣味や娯楽、散歩や運動」、女性60代で「通院」の割合が高くなっています。

単位：%

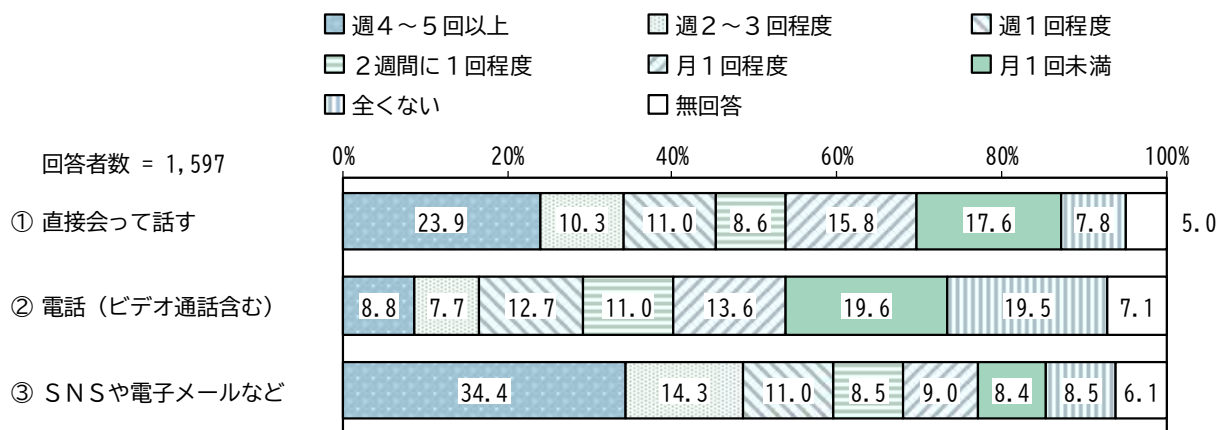
区分	回答者数(件)	仕事・学校	人とのつきあい・交流	趣味や娯楽、散歩や運動	地域活動・ボランティア活動	食事・買い物・日常の用事	通院	その他	無回答
全体	1,544	84.2	24.3	41.6	2.5	61.1	13.2	2.5	1.6
男性 10代	108	99.1	34.3	44.4	2.8	39.8	3.7	0.9	0.0
20代	115	92.2	26.1	34.8	0.0	40.0	0.9	2.6	1.7
30代	152	87.5	21.7	57.9	3.3	68.4	7.9	0.0	1.3
40代	167	90.4	24.0	47.3	4.2	59.3	11.4	2.4	2.4
50代	131	86.3	10.7	34.4	3.8	55.0	9.2	0.0	2.3
60代	69	82.6	7.2	27.5	2.9	56.5	30.4	2.9	1.4
女性 10代	110	97.3	32.7	38.2	2.7	44.5	10.0	4.5	0.0
20代	141	87.2	31.2	39.0	0.7	54.6	9.2	0.0	2.8
30代	150	76.0	30.7	45.3	1.3	72.7	12.7	2.7	1.3
40代	185	73.5	21.6	34.6	3.2	75.7	18.9	7.6	1.6
50代	127	74.8	23.6	40.2	3.1	75.6	18.9	2.4	1.6
60代	67	62.7	23.9	53.7	1.5	83.6	38.8	3.0	3.0

【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・塾 ・保育園の送り迎え ・子どもの習い事の送迎 ・子どもの散歩 ・スポーツ少年団の保護者としての活動 ・親の介護 ・B型事業所・リワーク・デイケアへの通所 ・転職活動 ・仕事さがし

問8 あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～③ごとにそれぞれお答えください。(①～③について、それぞれ〇は1つ)

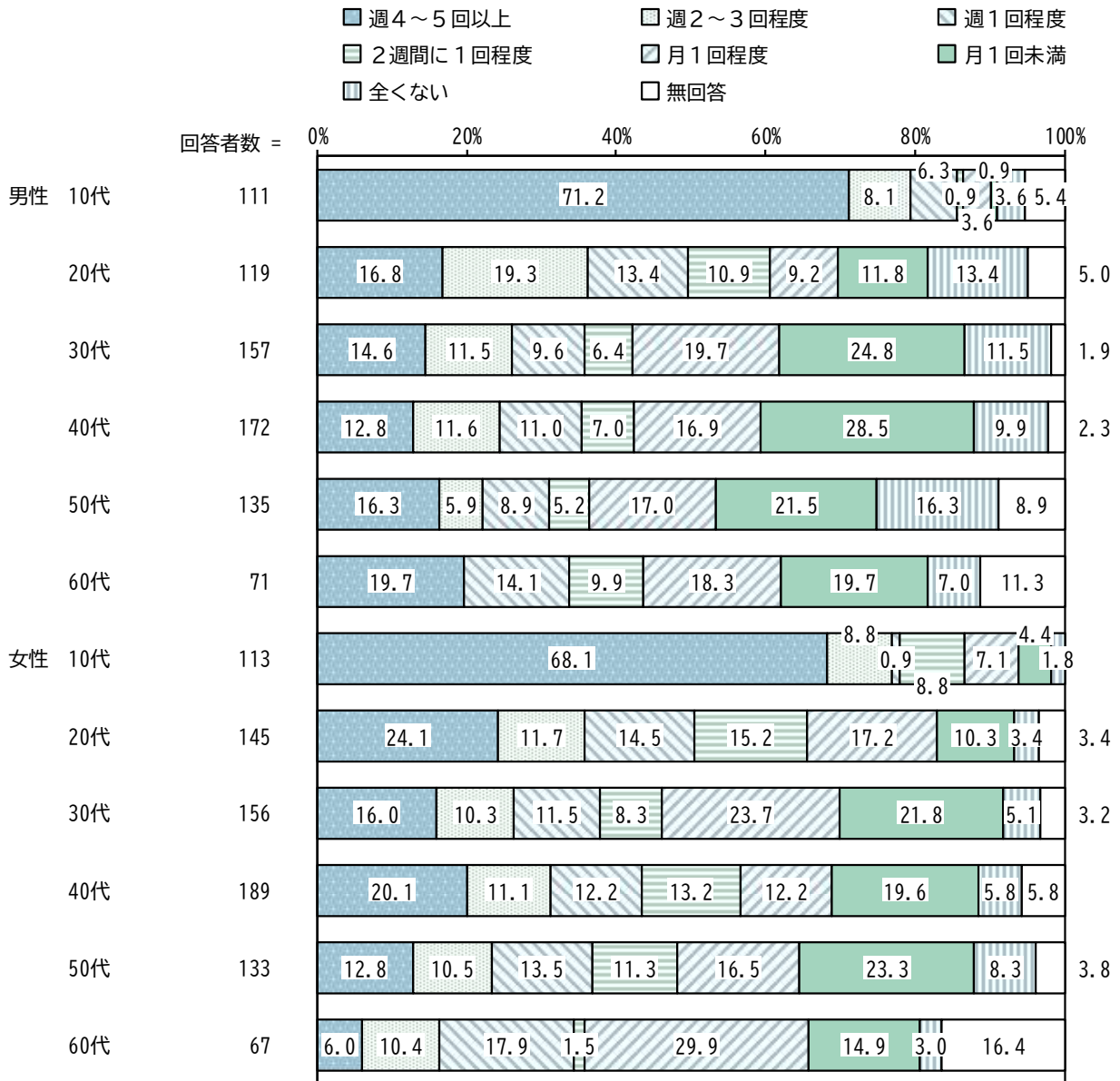
『③SNSや電子メールなど』で「週4～5回以上」「週2～3回程度」が、『②電話（ビデオ通話含む）』で「週1回程度」「2週間に1回程度」「月1回未満」「全くない」が、『①直接会って話す』で「月1回程度」が高くなっています。



【性・年齢別】

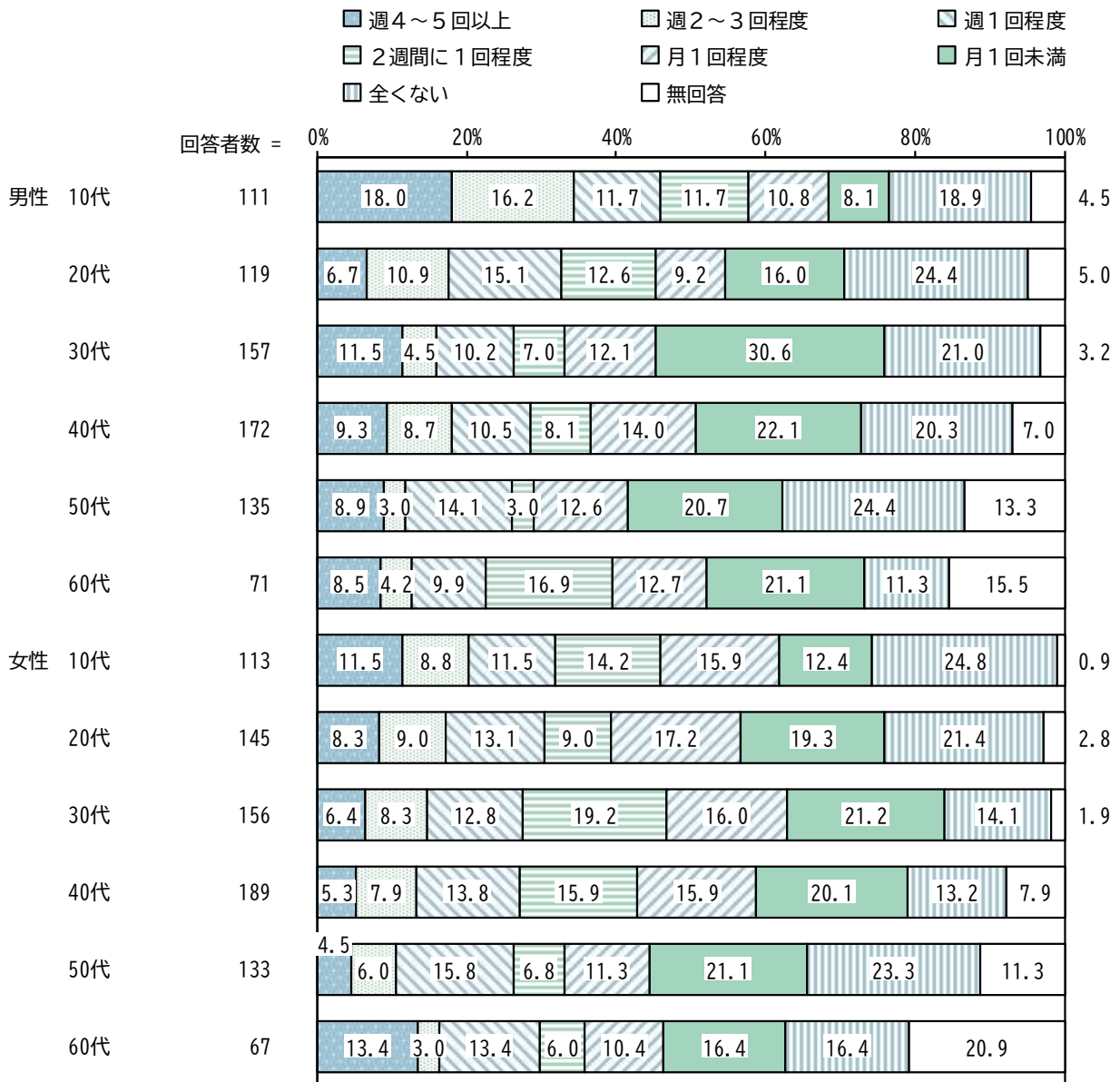
①直接会って話す

性・年齢別にみると、男性では50代から10代まで年齢が下がるほど「週1日以上」の割合が高く、女性では10代から50代まで年齢が上がるほど「月1回未満」の割合が高い傾向にあります。また、男性10代で「週4～5回以上」、女性60代で「月1回程度」、男性40代で「月1回未満」の割合が高くなっています。



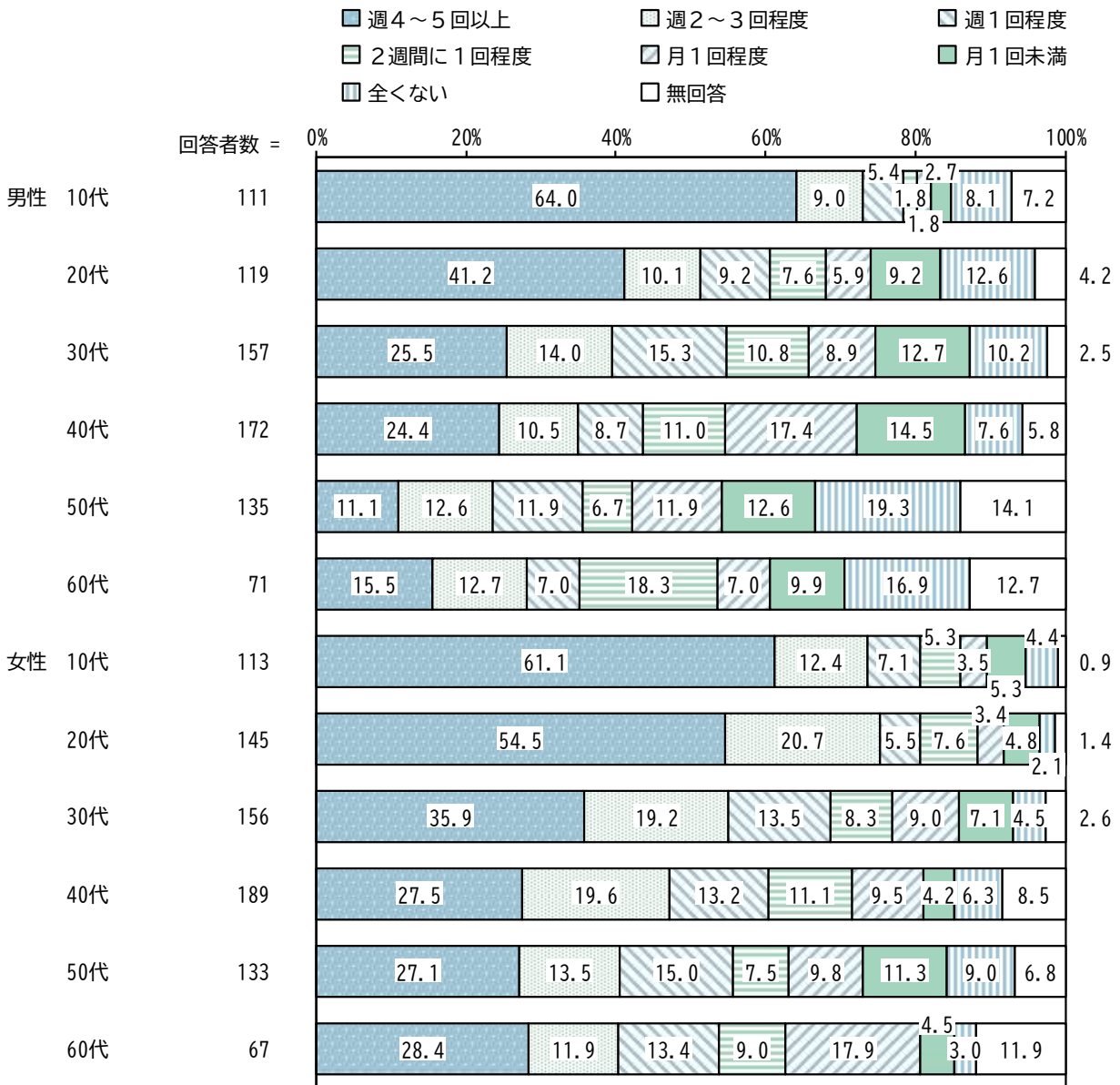
②電話（ビデオ通話含む）

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど“週1日以上”の割合が高い傾向にあり、女性では40代から10代まで年齢が下がるほど「全くない」の割合が高くなっています。また、男性30代で「月1回未満」の割合が高くなっています。



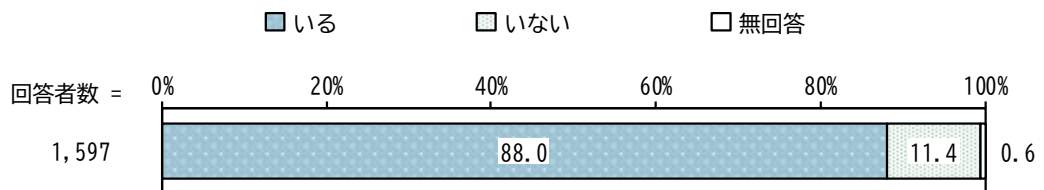
③ SNSや電子メールなど

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど、女性では60代から20代まで年齢が下がるほど“週1日以上”の割合が高くなっています。また、男性10代、女性10代で「週4～5回以上」の割合が高くなっています。



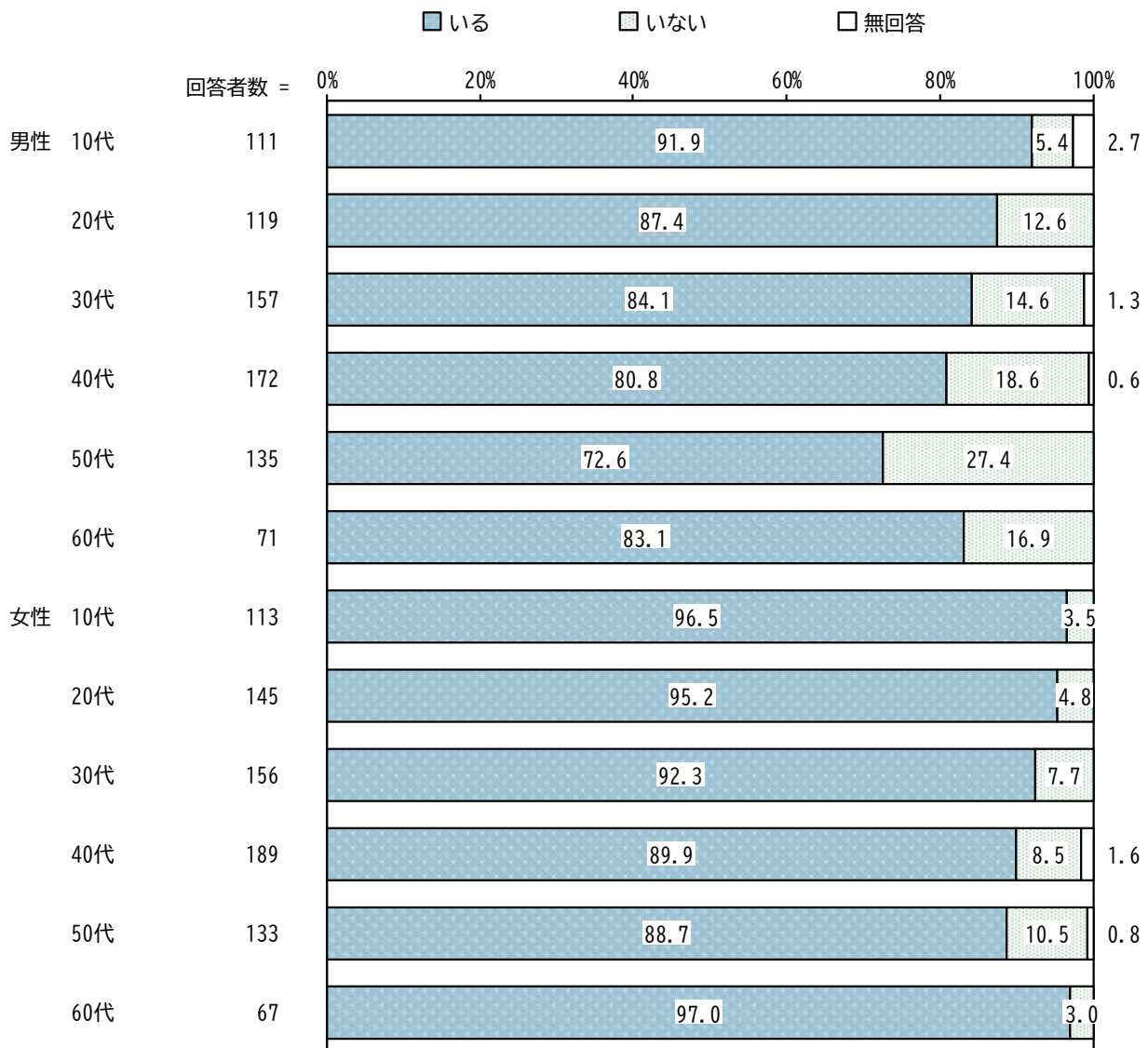
問9 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(○は1つ)

「いる」の割合が88.0%、「いない」の割合が11.4%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では10代から50代まで年齢が上がるほど「いない」の割合が高く、女性では50代から20代まで年齢が下がるほど「いる」の割合が高くなっています。また、男性50代で「いない」の割合が高くなっています。

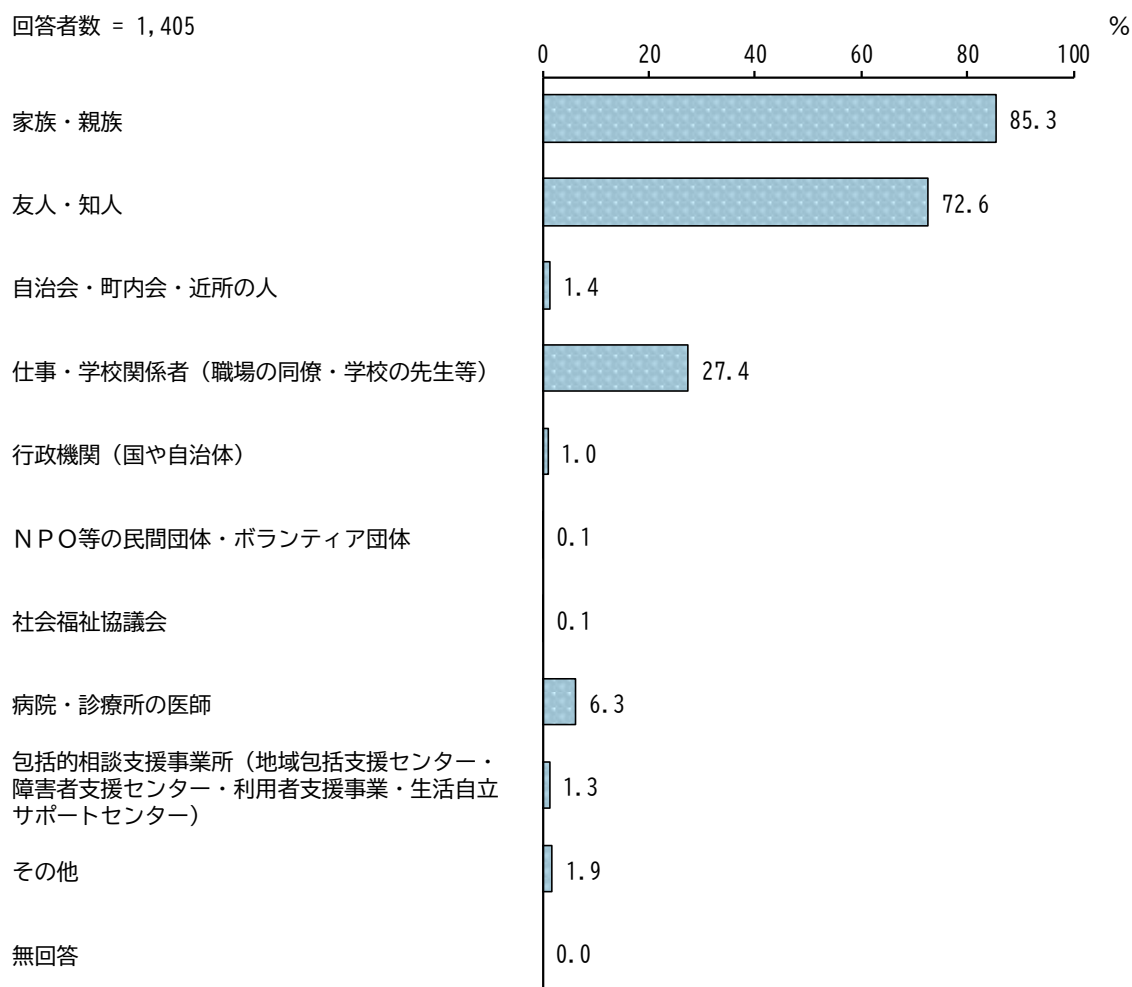


問9で「いる」と答えた方にうかがいます。

問9-1 あなたは誰に相談をしますか。(〇はいくつでも)

「家族・親族」の割合が85.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が72.6%、「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が27.4%となっています。

回答者数 = 1,405



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「友人・知人」の割合が高くなっています。また、男性40代で「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）	行政機関（国や自治体）	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	包括的相談支援事業所	その他	無回答
全体	1,405	85.3	72.6	1.4	27.4	1.0	0.1	0.1	6.3	1.3	1.9	0.0
男性 10代	102	80.4	87.3	1.0	29.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0
20代	104	78.8	76.9	1.0	35.6	0.0	0.0	0.0	2.9	2.9	3.8	0.0
30代	132	90.2	69.7	0.0	34.8	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0
40代	139	87.8	61.9	1.4	40.3	2.2	0.0	0.0	7.2	1.4	1.4	0.0
50代	98	82.7	57.1	2.0	25.5	1.0	0.0	0.0	6.1	0.0	0.0	0.0
60代	59	89.8	54.2	0.0	18.6	1.7	0.0	1.7	8.5	3.4	1.7	0.0
女性 10代	109	81.7	86.2	0.9	22.9	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0
20代	138	82.6	79.7	0.7	24.6	0.7	0.0	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0
30代	144	86.8	77.8	3.5	24.3	0.7	0.0	0.0	5.6	0.7	2.8	0.0
40代	170	88.8	75.9	1.8	28.2	1.8	0.0	0.0	7.1	1.2	2.4	0.0
50代	118	81.4	66.9	2.5	19.5	1.7	0.0	0.0	7.6	1.7	1.7	0.0
60代	65	93.8	66.2	0.0	18.5	1.5	0.0	0.0	13.8	7.7	3.1	0.0

【地区別】

地区別にみると、神根地区で「友人・知人」、芝地区、安行地区で「仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	自治会・町内会・近所の人	仕事・学校関係者（職場の同僚・学校の先生等）	行政機関（国や自治体）	NPO等の民間団体・ボランティア団体	社会福祉協議会	病院・診療所の医師	包括的相談支援事業所	その他	無回答
全体	1,405	85.3	72.6	1.4	27.4	1.0	0.1	0.1	6.3	1.3	1.9	0.0
中央地区	121	86.8	68.6	1.7	27.3	1.7	0.0	0.0	4.1	1.7	2.5	0.0
横曽根地区	149	87.9	74.5	3.4	20.1	1.3	0.0	0.0	6.7	0.7	2.0	0.0
青木地区	173	86.1	72.3	1.2	28.3	1.2	0.0	0.0	9.2	2.9	1.7	0.0
南平地区	133	82.7	70.7	0.0	24.8	0.0	0.0	0.0	3.0	0.8	0.8	0.0
新郷地区	71	80.3	66.2	0.0	32.4	1.4	0.0	0.0	8.5	0.0	4.2	0.0
神根地区	111	83.8	80.2	2.7	23.4	1.8	0.0	0.0	5.4	2.7	1.8	0.0
芝地区	183	84.2	69.9	0.5	33.3	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0
安行地区	107	86.0	72.9	2.8	35.5	2.8	0.0	0.0	8.4	0.9	5.6	0.0
戸塚地区	183	84.7	72.1	0.5	29.0	1.1	0.0	0.5	7.7	1.1	1.1	0.0
鳩ヶ谷地区	169	87.6	76.9	1.8	23.1	0.0	0.0	0.0	4.7	1.8	2.4	0.0

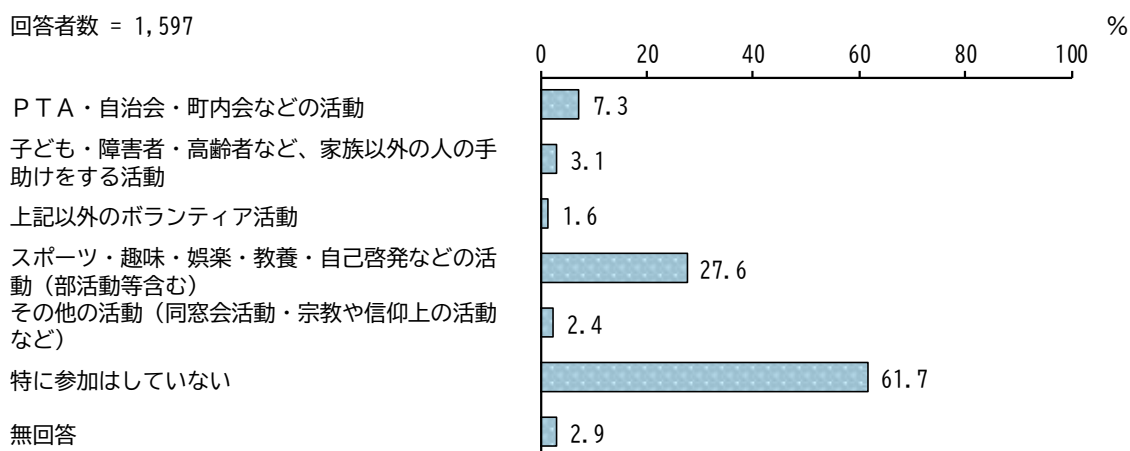
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・施設関係者、成年後見人 ・民間のカウンセリング（有料） ・お寺 ・保育園の先生 ・インターネット上の友人 ・SNS ・AI

問10 あなたは現在、どのような活動に参加をしていますか。人と交流する活動についてお答えください。（〇はいくつでも）

「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）」の割合が27.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,597



【性・年齢別】

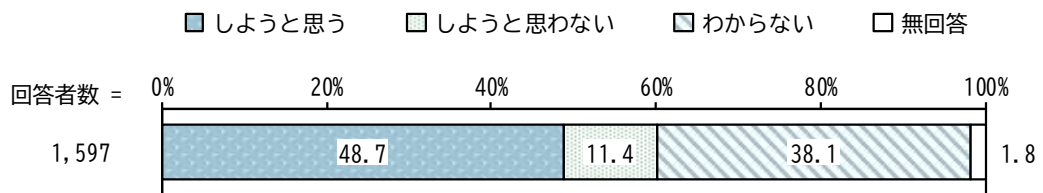
性・年齢別にみると、女性 40 代で「PTA・自治会・町内会などの活動」、男性 10 代、女性 10 代で「スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）」、女性 60 代で「その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	PTA・自治会・町内会などの活動	子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動	上記以外のボランティア活動	スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動（部活動等含む）	その他の活動（同窓会活動・宗教や信仰上の活動など）	特に参加はしていない	無回答
全体	1,597	7.3	3.1	1.6	27.6	2.4	61.7	2.9
男性 10代	111	2.7	1.8	2.7	47.7	0.0	44.1	4.5
20代	119	2.5	2.5	0.8	23.5	1.7	68.9	2.5
30代	157	4.5	3.8	1.3	28.7	0.6	62.4	3.2
40代	172	8.7	2.9	0.6	26.7	1.7	61.6	3.5
50代	135	5.9	2.2	2.2	18.5	3.7	72.6	3.7
60代	71	9.9	1.4	1.4	22.5	7.0	57.7	7.0
女性 10代	113	0.0	5.3	3.5	47.8	1.8	46.9	1.8
20代	145	0.0	2.1	0.7	22.8	0.7	73.8	1.4
30代	156	7.1	1.9	0.0	22.4	3.2	69.2	1.3
40代	189	22.2	6.3	2.1	28.0	1.6	52.4	1.6
50代	133	10.5	3.0	1.5	19.5	4.5	63.9	4.5
60代	67	7.5	1.5	3.0	35.8	9.0	53.7	1.5

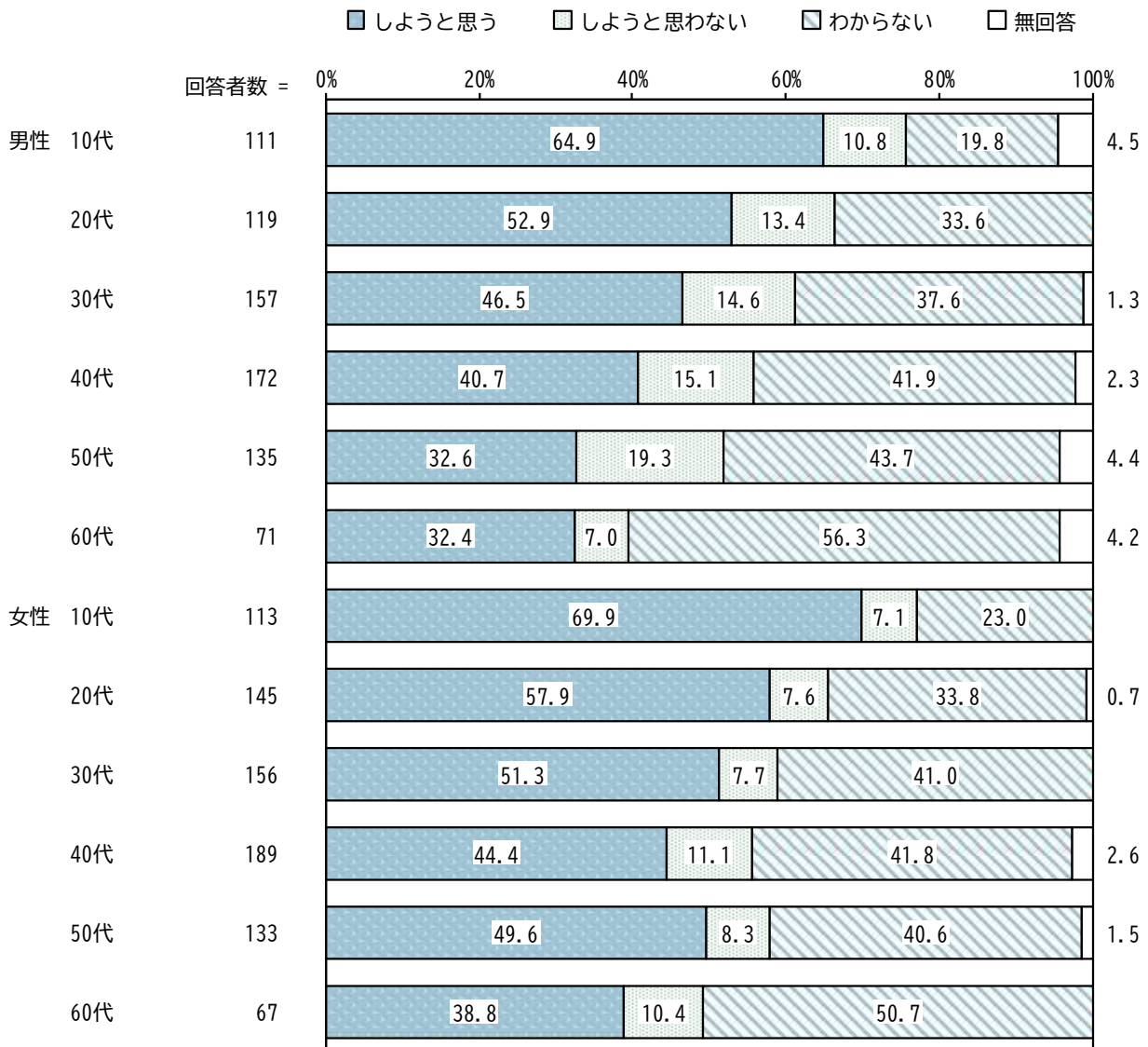
問 11 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。（○は1つ）

「しようと思う」の割合が 48.7%、「しようと思わない」の割合が 11.4%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が上がるほど「わからない」の割合が高い傾向にあり、男性では「しようと思う」の割合が低くなっています。また、女性 10代で「しようと思う」、男性 60代で「わからない」の割合が高くなっています。

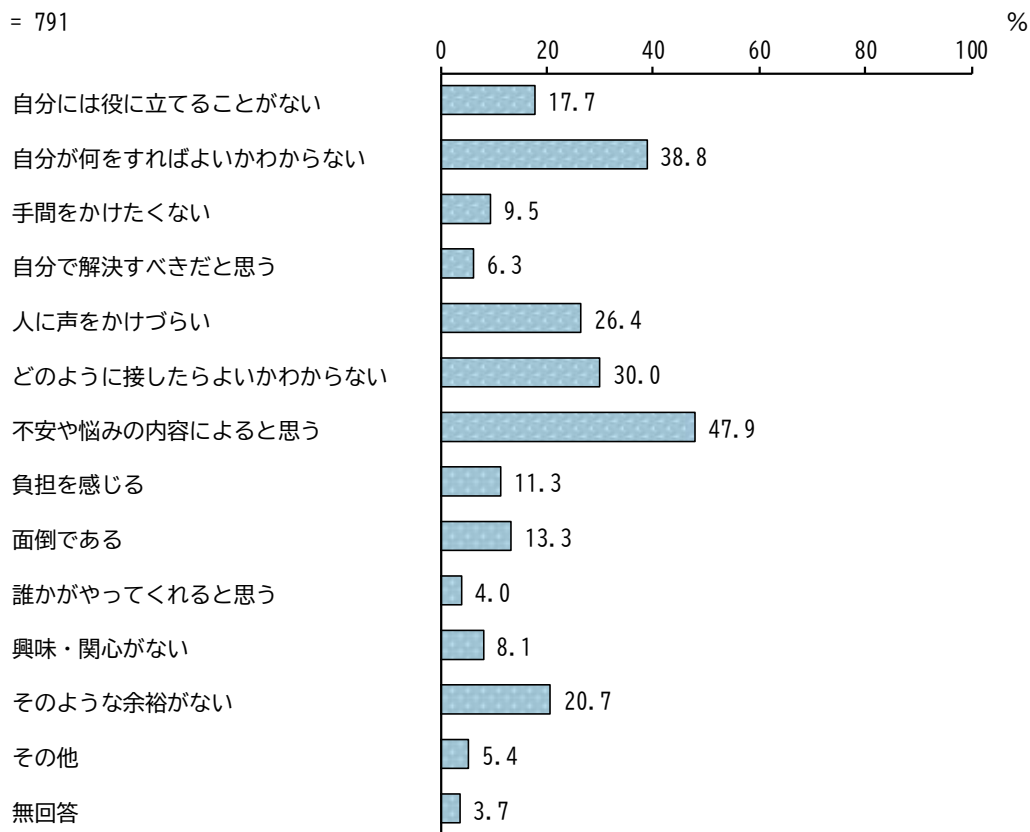


問 11 で「しようと思わない」「わからない」と答えた方にうかがいます。

問 11-1 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

「不安や悩みの内容によると思う」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「自分が何をすればよいかわからない」の割合が 38.8%、「どのように接したらよいかわからない」の割合が 30.0%となっています。

回答者数 = 791



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では60代から20代まで年齢が下がるほど「興味・関心がない」の割合が高い傾向にあり、女性では年齢が下がるほど「自分が何をすればよいかわからない」の割合が高い傾向にあります。また、男性10代、女性10代で「人に声をかけづらい」、女性10代で「どのように接したらよいかわからない」、女性20代、女性60代で「不安や悩みの内容によると思う」、男性50代で「そのような余裕がない」の割合が高くなっています。

単位：％

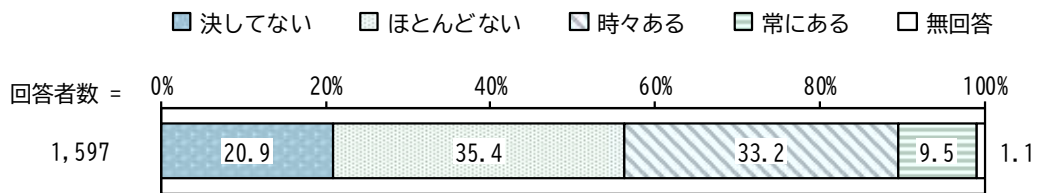
区分	回答者数(件)	自分には役に立てることがない	自分が何をすればよいかわからない	手間をかけたくない	自分で解決すべきだと思う	人に声をかけづらい	どのように接したらよいかわからない	不安や悩みの内容によると思う	負担を感じる	面倒である	誰かがやってくれると思う	興味・関心がない	そのような余裕がない	その他	無回答
全体	791	17.7	38.8	9.5	6.3	26.4	30.0	47.9	11.3	13.3	4.0	8.1	20.7	5.4	3.7
男性 10代	34	26.5	44.1	17.6	0.0	38.2	38.2	26.5	8.8	20.6	2.9	11.8	2.9	14.7	2.9
20代	56	23.2	39.3	12.5	10.7	25.0	26.8	30.4	3.6	14.3	5.4	17.9	21.4	5.4	7.1
30代	82	22.0	35.4	8.5	11.0	28.0	29.3	40.2	13.4	18.3	7.3	8.5	17.1	8.5	4.9
40代	98	11.2	39.8	17.3	8.2	31.6	36.7	42.9	15.3	19.4	5.1	10.2	20.4	5.1	5.1
50代	85	27.1	37.6	10.6	12.9	17.6	20.0	32.9	7.1	11.8	5.9	5.9	31.8	4.7	2.4
60代	45	11.1	40.0	13.3	6.7	6.7	15.6	46.7	8.9	13.3	4.4	2.2	28.9	2.2	2.2
女性 10代	34	20.6	55.9	14.7	5.9	41.2	50.0	50.0	14.7	8.8	2.9	11.8	11.8	2.9	0.0
20代	60	10.0	41.7	8.3	1.7	30.0	26.7	66.7	15.0	20.0	1.7	11.7	15.0	1.7	1.7
30代	76	15.8	39.5	5.3	3.9	26.3	26.3	59.2	10.5	7.9	1.3	6.6	23.7	6.6	3.9
40代	100	20.0	38.0	5.0	4.0	31.0	32.0	58.0	15.0	10.0	3.0	5.0	23.0	5.0	5.0
50代	65	18.5	38.5	1.5	1.5	21.5	30.8	55.4	7.7	6.2	1.5	4.6	15.4	1.5	3.1
60代	41	7.3	29.3	4.9	2.4	24.4	41.5	68.3	14.6	9.8	4.9	4.9	22.0	7.3	0.0

【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の事で精いっぱい、余裕がない ・思いを言語化出来ない(相手の言っている事は理解できる) ・アドバイスが適当か分からない ・自分の発言が更に傷つける要因になるかもしれない ・どう接するか分からない ・大人なので、口出さない ・プライバシー、プライベートな事にはあまり関与しない方が良いと思うから ・相手からアプローチがあれば相談に乗る ・家族、友人であれば手助けするが、それ以外はしない ・子どもが小さくなかなか自由に動けないため ・障害児のため ・不審者だったら怖いから ・外国人ばかりだから関わりたくない ・無神経な人が多すぎて助けられないのが当然(お互い様という意味合いで)だから

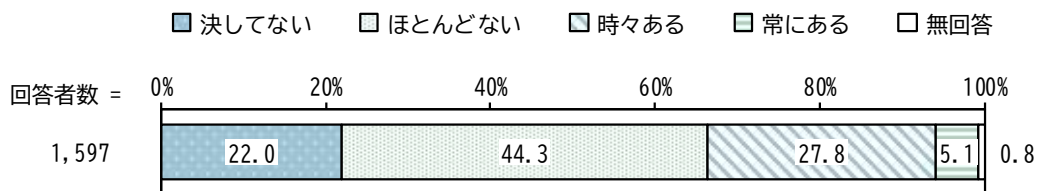
問12 あなたは、自分には人とのつきあいがないと感じることはありませんか。(○は1つ)

「ほとんどない」の割合が35.4%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が33.2%、「決してない」の割合が20.9%となっています。



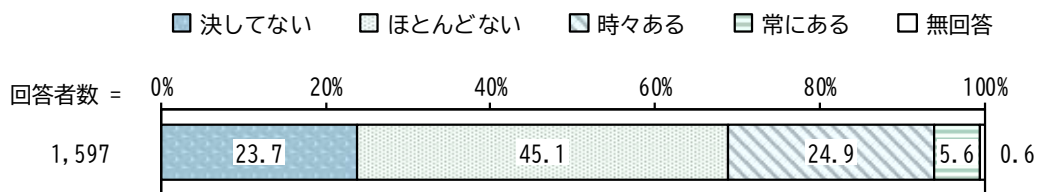
問13 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(○は1つ)

「ほとんどない」の割合が44.3%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が27.8%、「決してない」の割合が22.0%となっています。



問14 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(○は1つ)

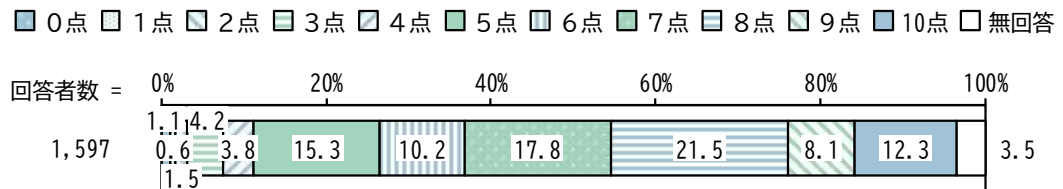
「ほとんどない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が24.9%、「決してない」の割合が23.7%となっています。



3 生活状況についてうかがいます

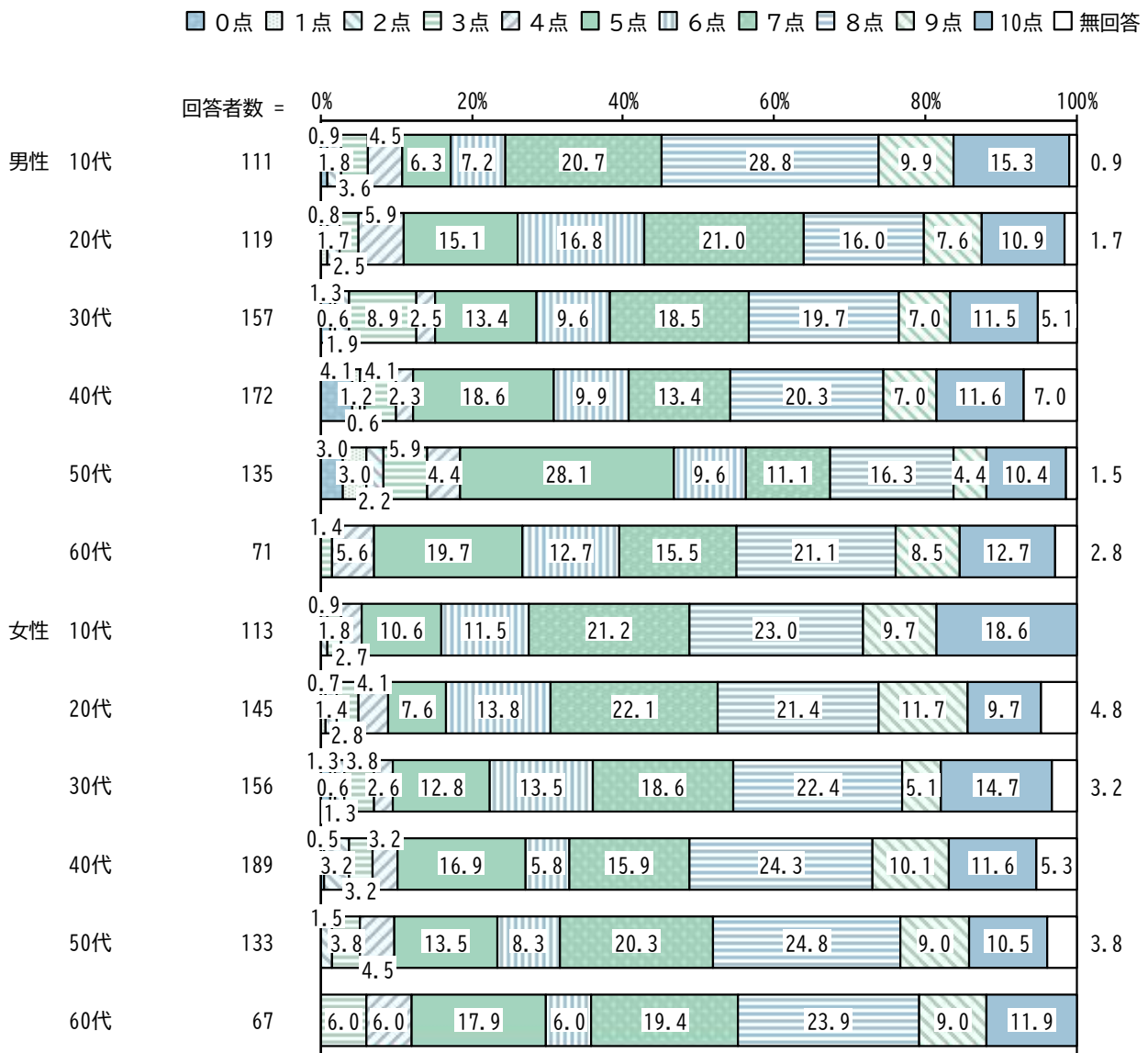
問15 あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

「8点」の割合が21.5%と最も高く、次いで「7点」の割合が17.8%、「5点」の割合が15.3%となっています。



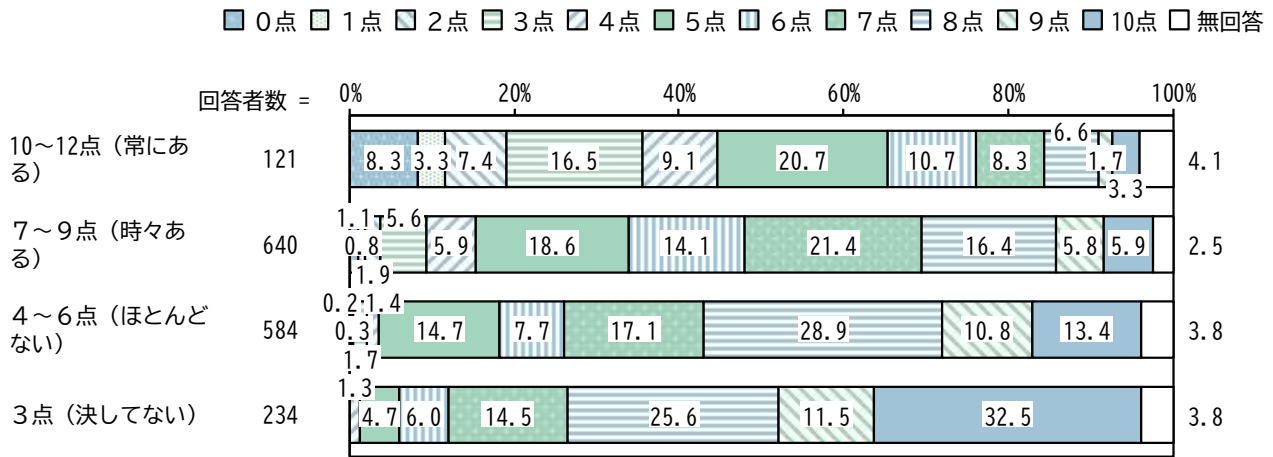
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では10代から50代まで年齢が上がるほど「5点」の割合が高い傾向にあります。



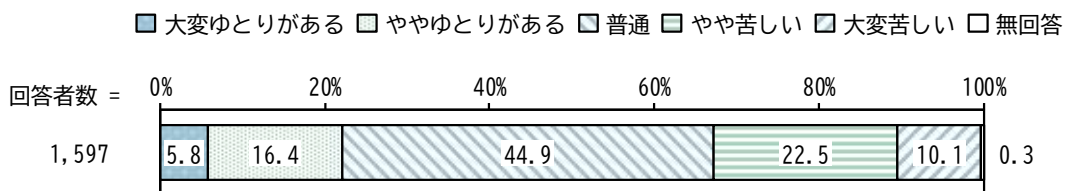
【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、点数が下がるほど「9点」「とても幸せ 10点」の割合が高く、「3点」「5点」の割合が低く、7～9点（時々ある）から3点（決してない）まで点数が上がるほど「6点」「7点」の割合が高くなっています。また、3点（決してない）で「10点」の割合が高く、10～12点（常にある）で「8点」の割合が低くなっています。



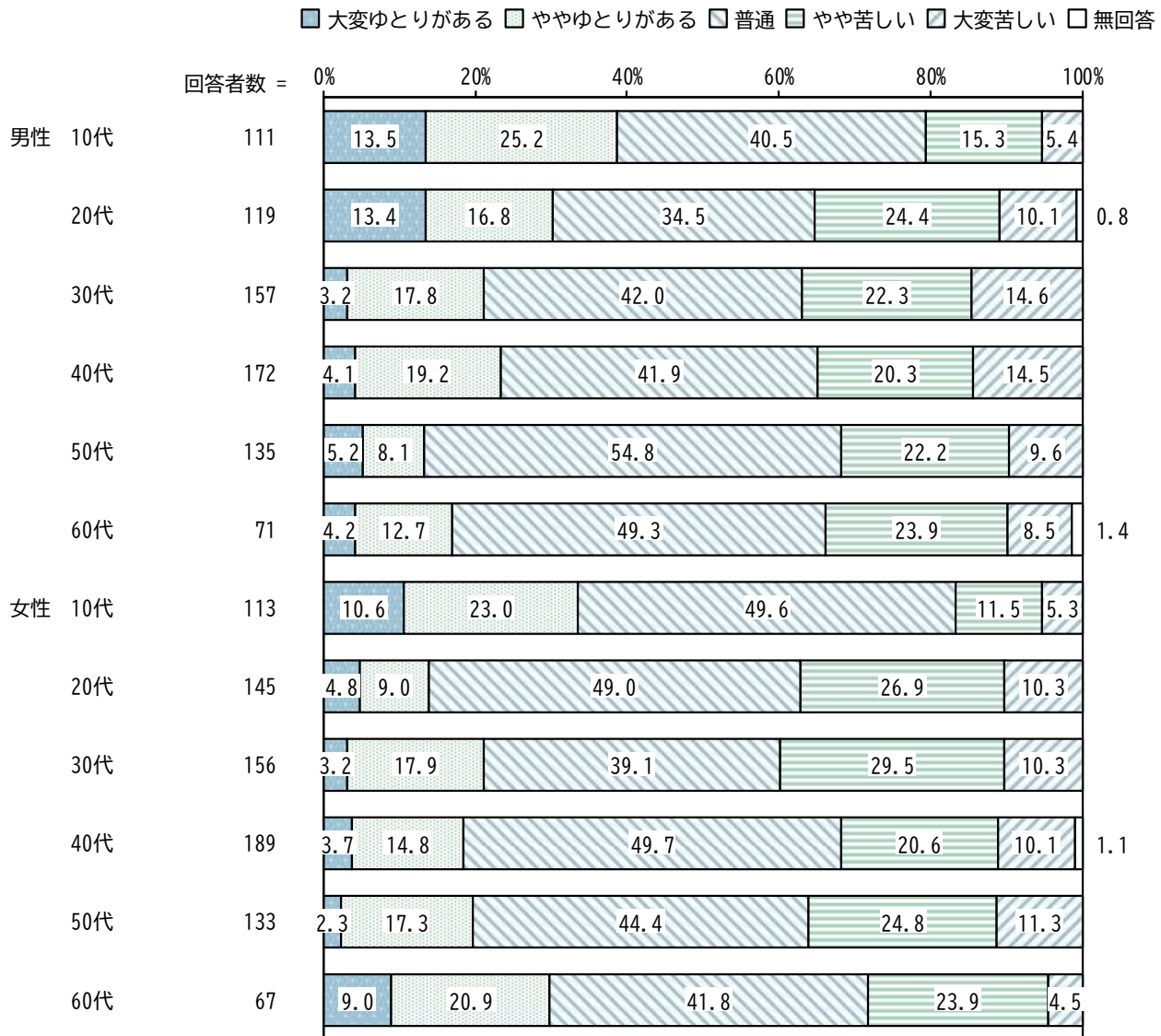
問16 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。（○は1つ）

「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が 22.2%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が 32.6%となっています。



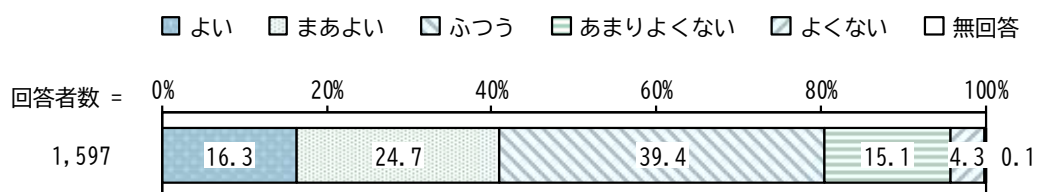
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では50代から10代まで年齢が下がるほど“ゆとりがある”の割合が高い傾向にあります。また、女性10代で“苦しい”の割合が低くなっています。



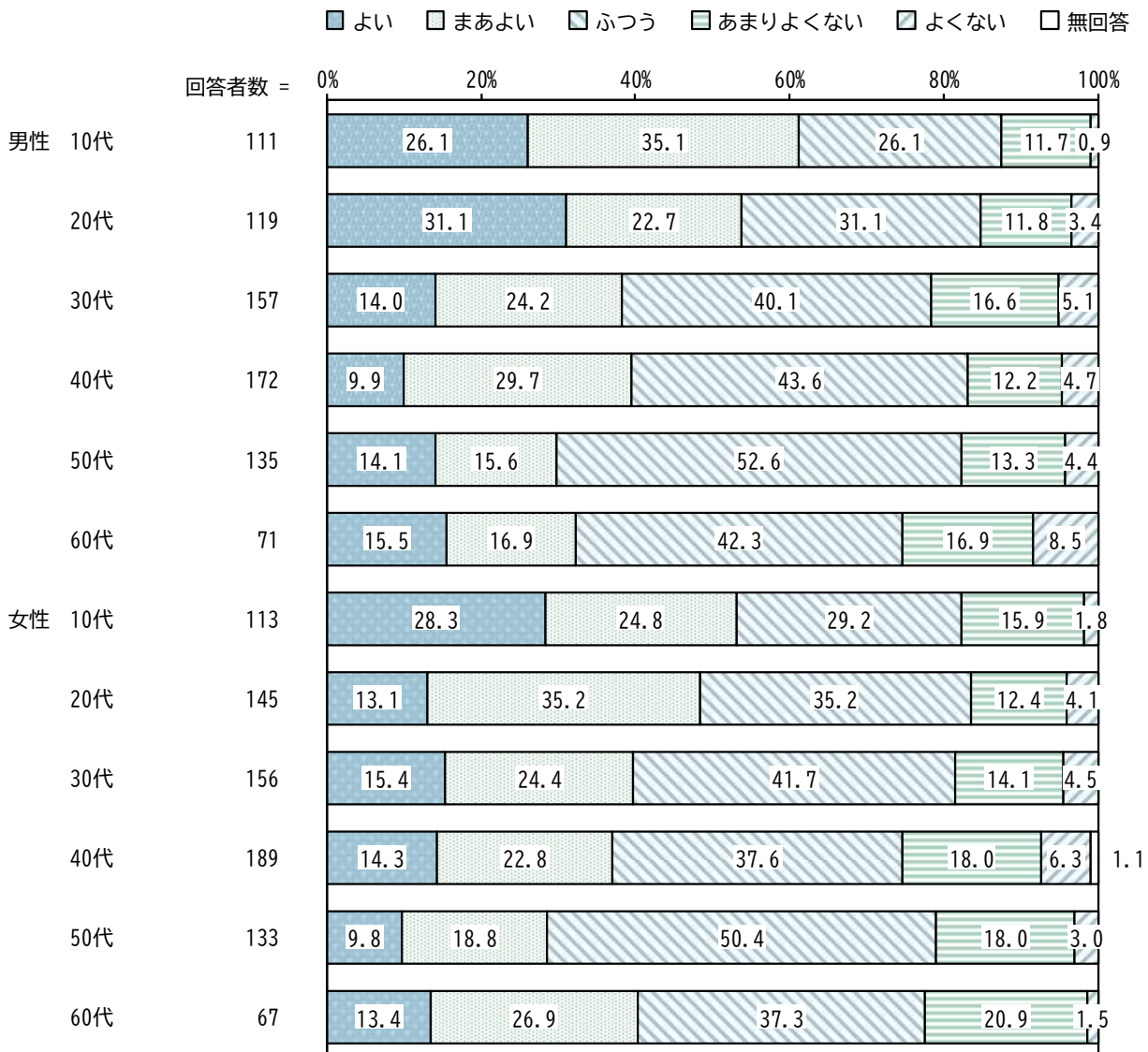
問 17 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。(○は1つ)

「よい」「まあよい」を合わせた“よい”の割合が41.0%、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”の割合が19.4%となっています。



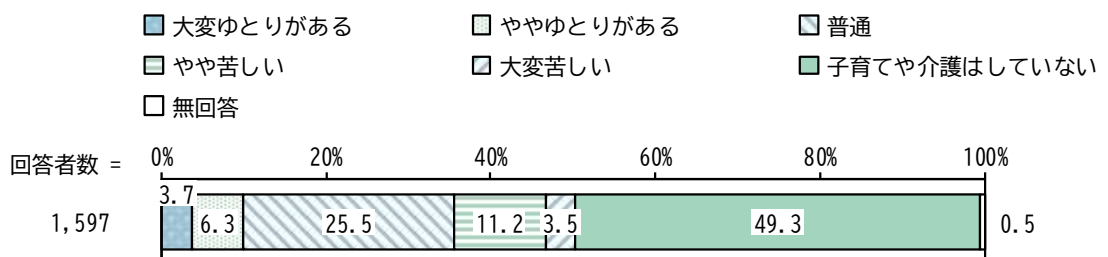
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに50代から10代まで年齢が下がるほど“よい”の割合が高くなっています。また、男性20代、女性10代で「よい」、男性10代、女性20代で「まあよい」、男性50代、女性50代で「ふつう」の割合が高くなっています。



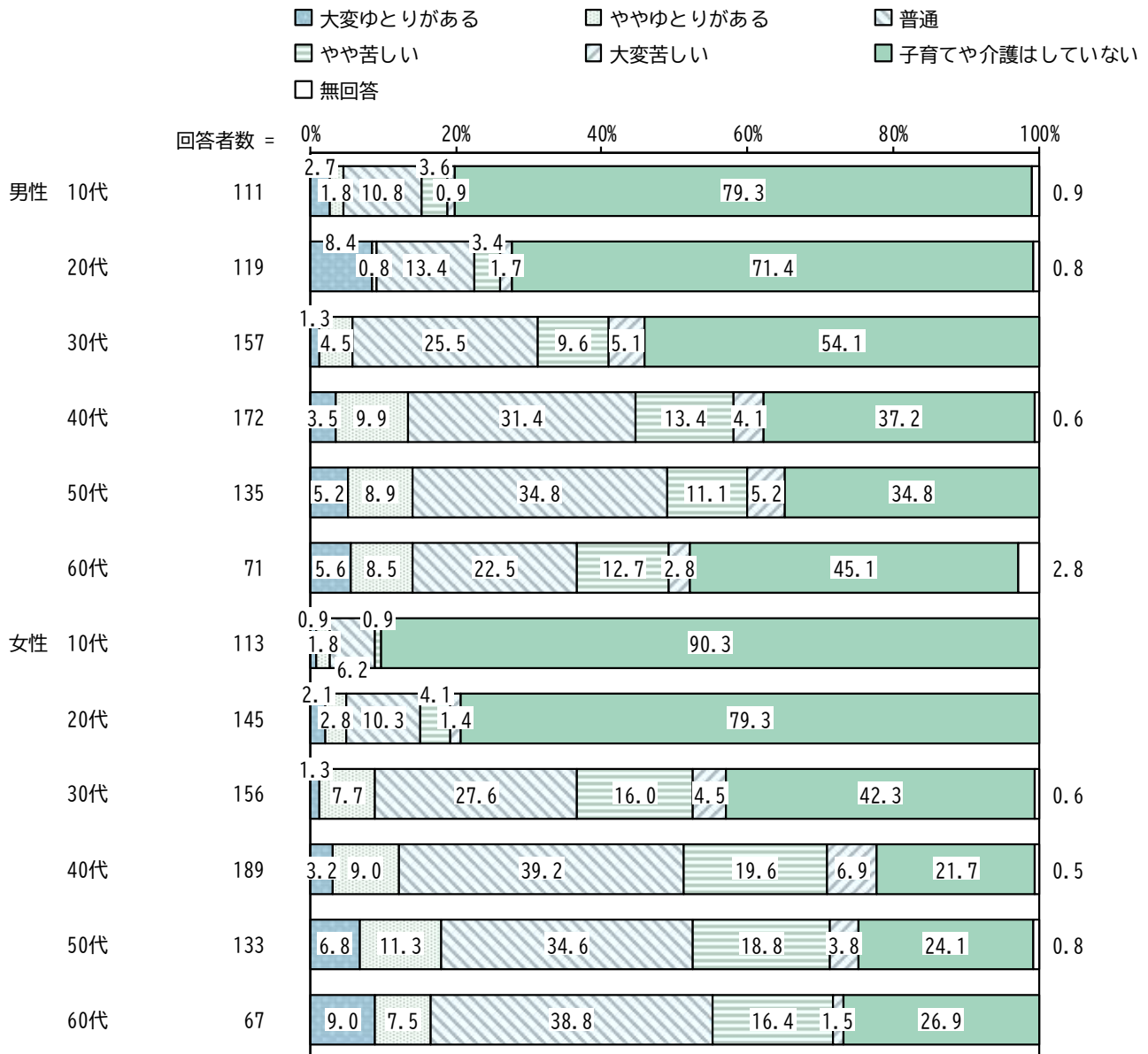
問18 あなたの現在の子育てや介護の負担感は、いかがですか。(○は1つ)

「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が10.0%、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が14.7%となっています。



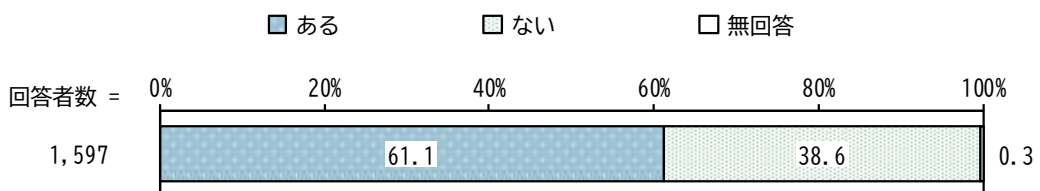
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では10代から40代まで年齢が上がるほど“苦しい”の割合が高く、女性では10代から50代まで年齢が上がるほど“ゆとりがある”の割合が高くなっています。また、女性40代、女性60代で「普通」、女性10代で「子育てや介護はしていない」の割合が高く、女性10代で「やや苦しい」の割合が低くなっています。



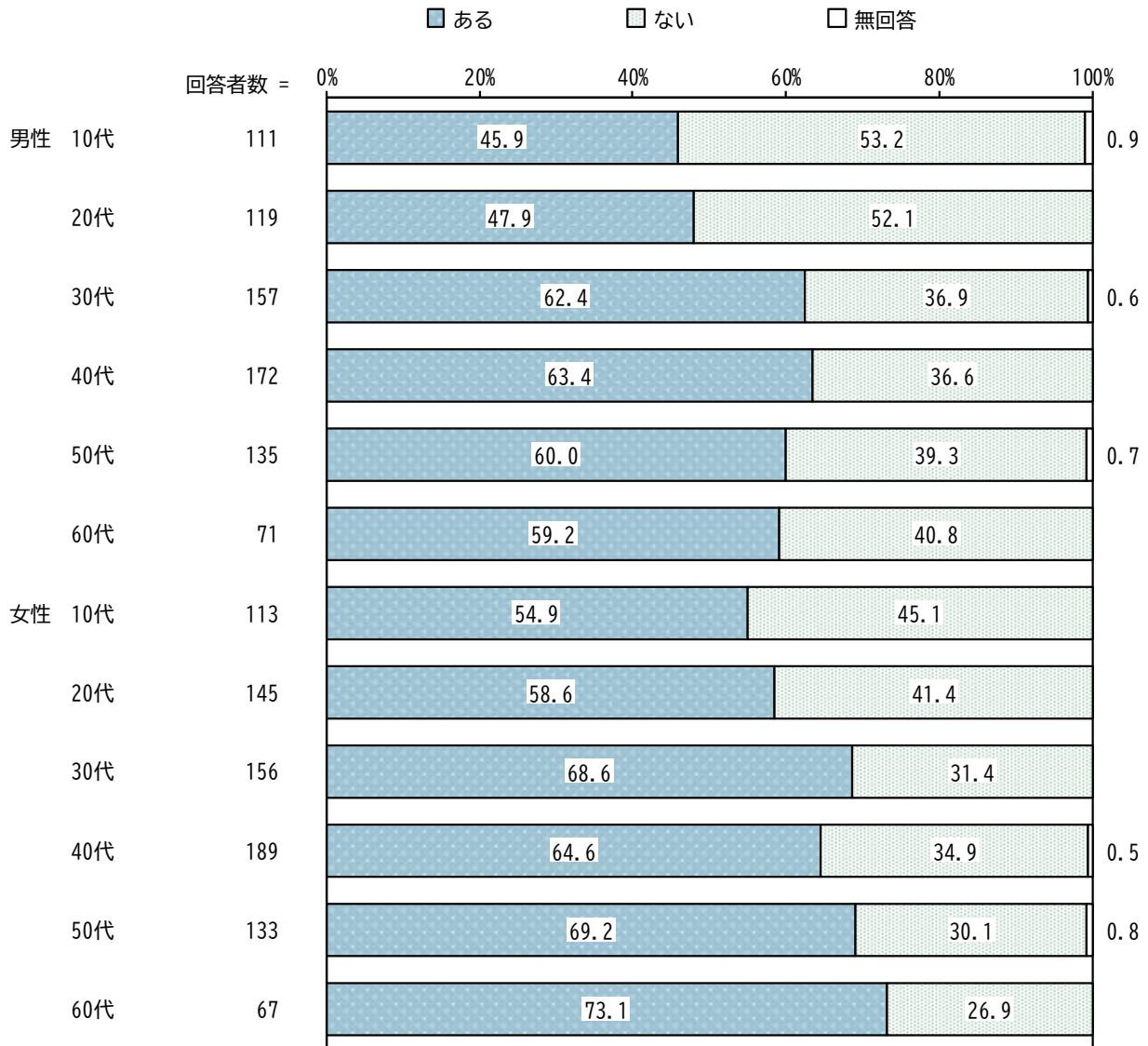
問19 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか（既に相談機関等に繋がっている場合も含む）。（○は1つ）

「ある」の割合が61.1%、「ない」の割合が38.6%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性 60 代で「ある」、男性 10 代、男性 20 代で「ない」の割合が高くなっています。

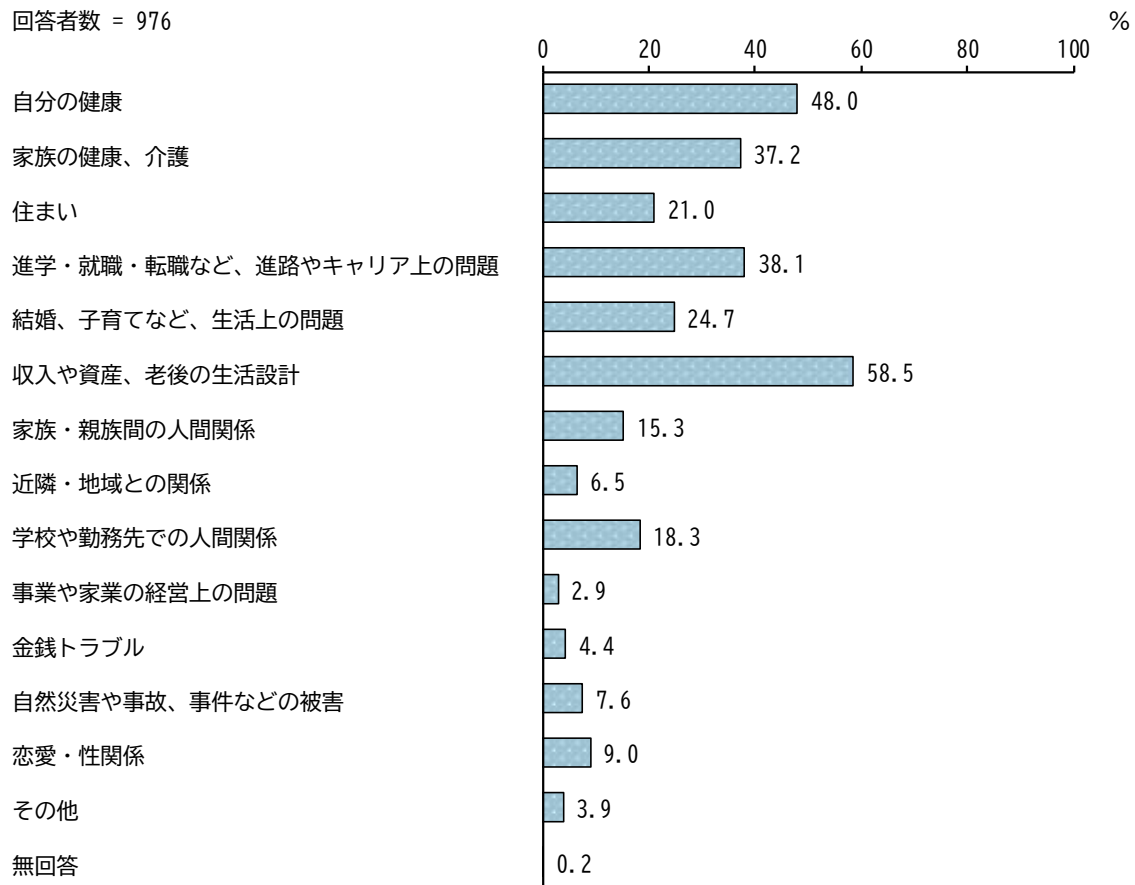


問 19 で「ある」と答えた方にうかがいます。

問 19-1 不安や悩みはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

「収入や資産、老後の生活設計」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「自分の健康」の割合が 48.0%、「進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題」の割合が 38.1%となっています。

回答者数 = 976



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、年齢が上がるほど、男性では「自分の健康」の割合が高い傾向にあり、女性では「家族の健康、介護」の割合が高く、「進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題」の割合が低くなっています。また、女性30代で「結婚、子育てなど、生活上の問題」、男性30代、男性40代、男性50代、女性60代で「収入や資産、老後の生活設計」、女性10代で「学校や勤務先での人間関係」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の健康	家族の健康、 介護	住まい	進学・就職・転職な ど、進路やキャリア 上の問題	結婚、子育てなど、 生活上の問題	収入や資産、老後の 生活設計	家族・親族間の人間 関係
全 体	976	48.0	37.2	21.0	38.1	24.7	58.5	15.3
男性 10代	51	27.5	15.7	11.8	74.5	2.0	21.6	17.6
20代	57	35.1	24.6	8.8	42.1	24.6	56.1	5.3
30代	98	43.9	31.6	28.6	51.0	32.7	70.4	17.3
40代	109	60.6	44.0	28.4	31.2	26.6	69.7	15.6
50代	81	60.5	37.0	21.0	21.0	9.9	69.1	11.1
60代	42	64.3	33.3	21.4	4.8	4.8	64.3	7.1
女性 10代	62	32.3	11.3	6.5	77.4	1.6	16.1	17.7
20代	85	27.1	11.8	14.1	57.6	34.1	57.6	8.2
30代	107	43.9	37.4	26.2	38.3	52.3	65.4	18.7
40代	122	56.6	56.6	21.3	33.6	41.8	59.0	20.5
50代	92	55.4	59.8	22.8	17.4	12.0	60.9	16.3
60代	49	59.2	61.2	22.4	10.2	2.0	71.4	22.4

区分	近隣・地域との関係	学校や勤務先での 人間関係	事業や家業の経営 上の問題	金銭トラブル	自然災害や事故、事 件などの被害	恋愛・性関係	その他	無回答
全 体	6.5	18.3	2.9	4.4	7.6	9.0	3.9	0.2
男性 10代	2.0	31.4	2.0	3.9	3.9	23.5	2.0	0.0
20代	3.5	15.8	1.8	1.8	7.0	19.3	7.0	0.0
30代	11.2	19.4	4.1	11.2	11.2	16.3	4.1	0.0
40代	7.3	19.3	8.3	6.4	9.2	6.4	2.8	0.0
50代	7.4	21.0	4.9	4.9	7.4	3.7	1.2	0.0
60代	7.1	7.1	4.8	2.4	9.5	4.8	2.4	0.0
女性 10代	4.8	35.5	0.0	0.0	1.6	16.1	4.8	0.0
20代	7.1	18.8	2.4	2.4	4.7	14.1	4.7	0.0
30代	6.5	20.6	1.9	6.5	8.4	8.4	4.7	0.0
40代	6.6	9.8	0.8	3.3	3.3	3.3	4.1	0.8
50代	4.3	15.2	1.1	2.2	13.0	1.1	2.2	1.1
60代	6.1	10.2	2.0	2.0	10.2	2.0	6.1	0.0

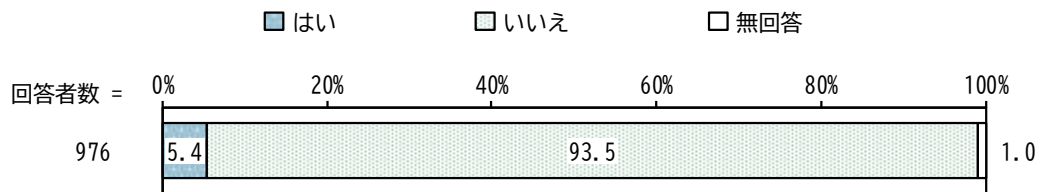
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来 ・ 自身の老後 ・ 施設への入所 ・ 同性パートナーとの暮らし、老後 ・ 生きがいがない（熱中、情熱をかけるものがない） ・ 仕事 ・ 子供の発達 ・ 子供の学費 ・ 学業と部活の両立 ・ 自分の人となり ・ 借金 ・ 外国人の増加、治安の悪化 ・ 権力による監視 ・ 社会の閉塞感 ・ 資本による暴走暴力

問 19 で「ある」と答えた方にうかがいます。

問 19-2 あなたは、問 19-1 でお答えした不安や悩みの相談を希望しますか。(○は1つ)

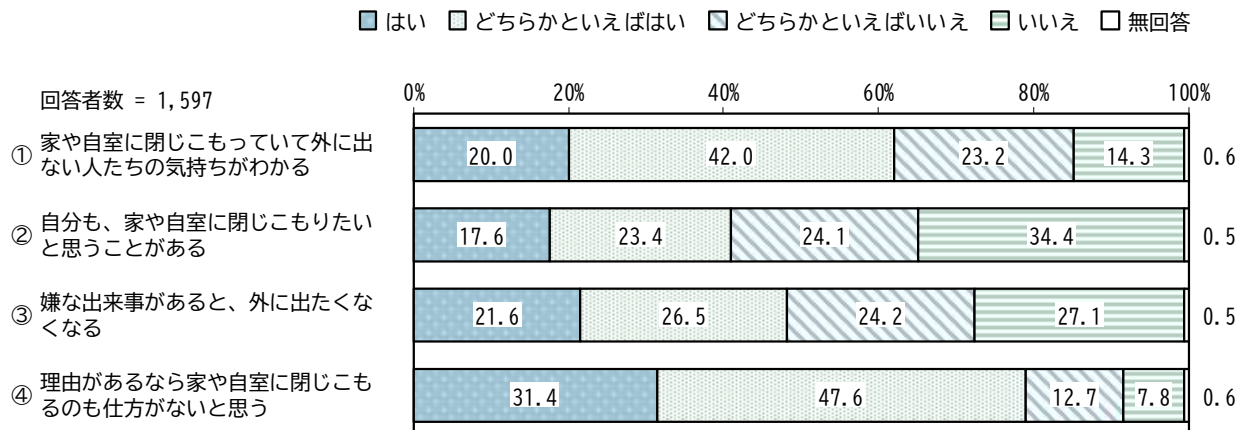
「はい」の割合が 5.4%、「いいえ」の割合が 93.5%となっています。



4 ひきこもりや孤立に対する考えについて

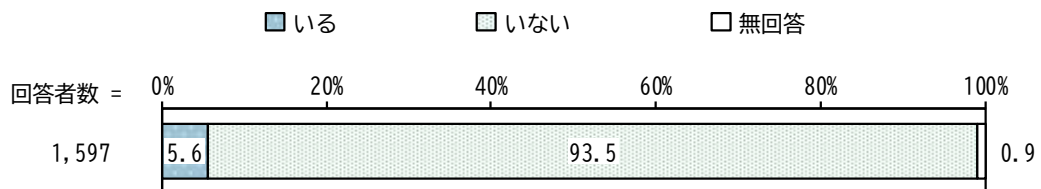
問 20 次にあげられたことについて、あなた自身に当てはまる数字に○をつけてください。
 (①～④について、それぞれ○は1つ)

『④理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う』で「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”が高くなっています。一方、『②自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある』で「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”が高くなっています。



問 21 あなたのご家庭で仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない人はいますか。(○は1つ)

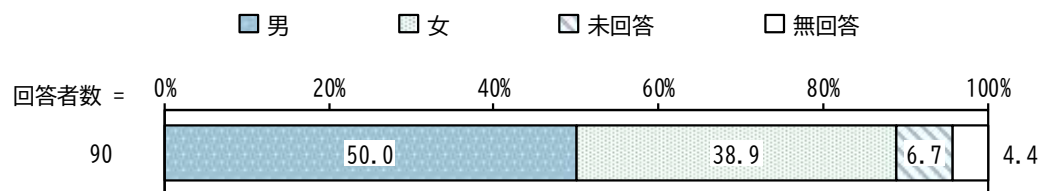
「いる」の割合が5.6%、「いない」の割合が93.5%となっています。



問 21で「いる」と答えた方にうかがいます。

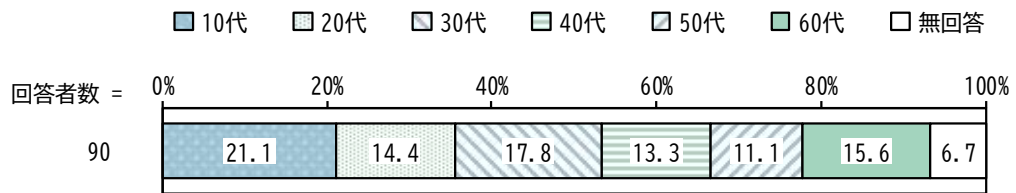
問 21-1 その方の性別はどちらですか。(○は1つ)

「男」の割合が50.0%、「女」の割合が38.9%、「未回答」の割合が6.7%となっています。



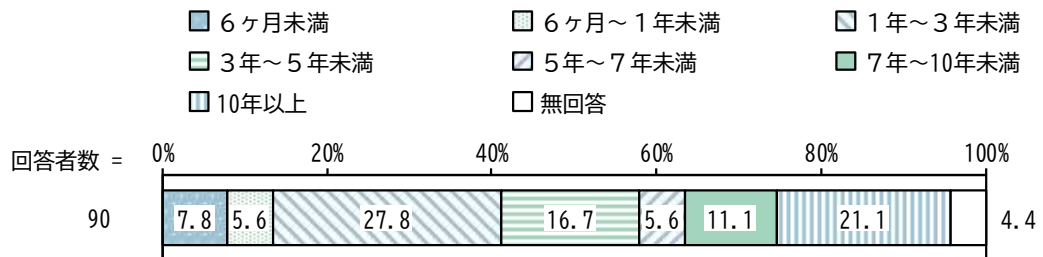
問 21-2 その方の年齢はいくつですか。(○は1つ)

「10代」の割合が21.1%と最も高く、次いで「30代」の割合が17.8%、「60代」の割合が15.6%となっています。



問 21-3 その方が現在の状況になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

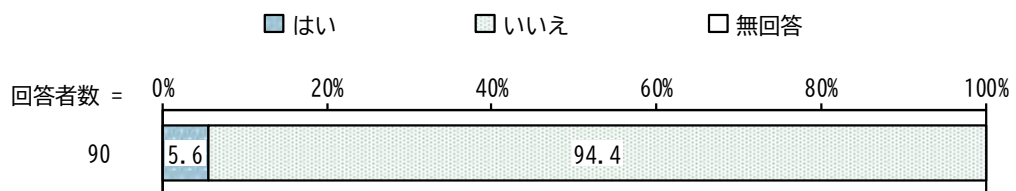
「1年～3年未満」の割合が27.8%と最も高く、次いで「10年以上」の割合が21.1%、「3年～5年未満」の割合が16.7%となっています。



問 21 で「いる」と答えた方にうかがいます。

問 21-4 あなたは、問 21 の内容の相談を希望しますか。(○は1つ)

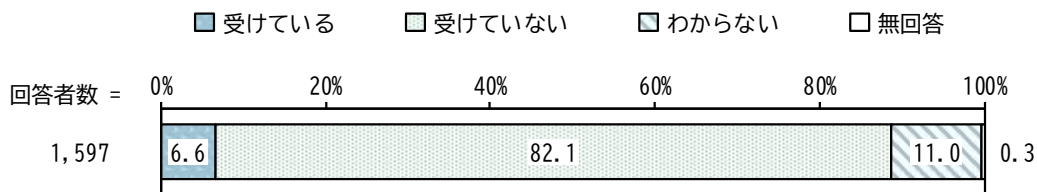
「はい」の割合が5.6%、「いいえ」の割合が94.4%となっています。



5 行政等の支援について

問 22 あなたは、行政機関やNPO等の民間団体から支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（○は1つ）

「受けている」の割合が6.6%、「受けていない」の割合が82.1%となっています。



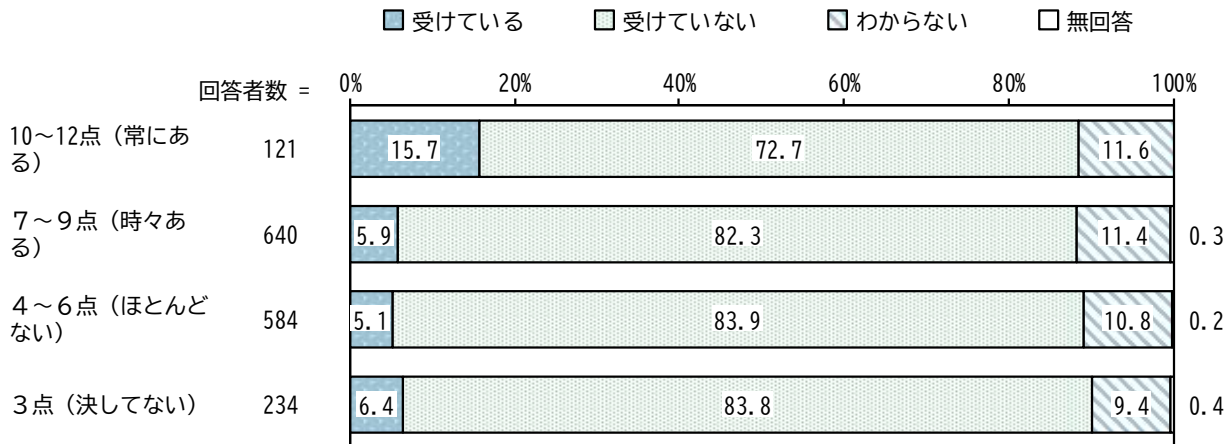
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では年齢が上がるほど「受けていない」の割合が高くなっています。



【孤独感スコア別】

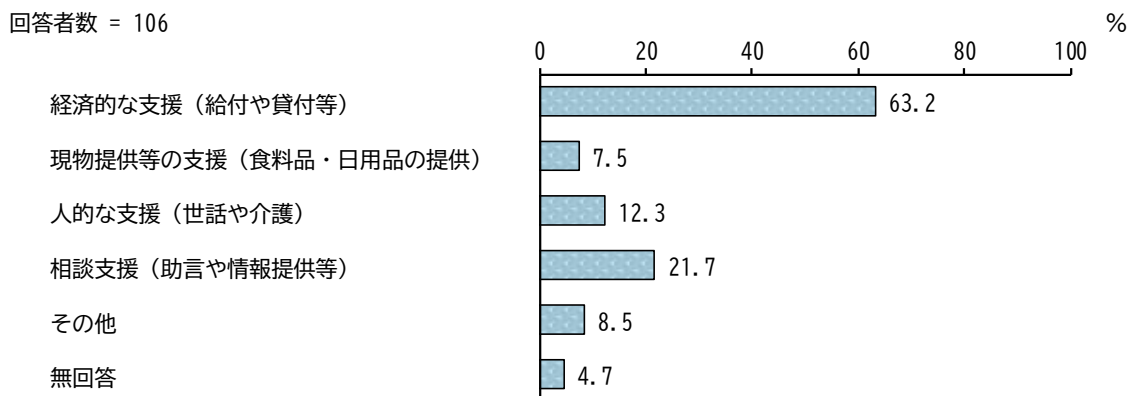
孤独感スコア別にみると、4～6点（ほとんどない）から10～12点（常にある）まで点数が下がるほど「受けていない」の割合が高くなっています。



問22で「受けている」と答えた方にうかがいます。

問22-1 あなたはどのような支援を受けていますか。(〇はいくつでも)

「経済的な支援（給付や貸付等）」の割合が63.2%と最も高く、次いで「相談支援（助言や情報提供等）」の割合が21.7%、「人的な支援（世話や介護）」の割合が12.3%となっています。



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では20代から60代まで年齢が上がるほど、女性では40代から10代まで年齢が下がるほど「経済的な支援（給付や貸付等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	経済的な支援 (給付 や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の 提供)	人的な支援(世話や 介護)	相談支援(助言や情 報提供等)	その他	無回答
全体	106	63.2	7.5	12.3	21.7	8.5	4.7
男性 10代	9	77.8	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0
20代	9	44.4	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0
30代	7	57.1	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0
40代	9	55.6	33.3	22.2	22.2	0.0	0.0
50代	7	85.7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
60代	4	100.0	25.0	75.0	50.0	25.0	0.0
女性 10代	8	87.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
20代	10	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
30代	11	63.6	0.0	0.0	36.4	9.1	0.0
40代	15	40.0	6.7	6.7	26.7	6.7	13.3
50代	13	53.8	15.4	0.0	15.4	7.7	23.1
60代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、10～12点（常にある）から4～6点（ほとんどない）まで点数が上がるほど「経済的な支援（給付や貸付等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	経済的な支援 (給付 や貸付等)	現物提供等の支援 (食料品・日用品の 提供)	人的な支援(世話や 介護)	相談支援(助言や情 報提供等)	その他	無回答
全体	106	63.2	7.5	12.3	21.7	8.5	4.7
10～12点（常にある）	19	68.4	10.5	21.1	21.1	5.3	0.0
7～9点（時々ある）	38	60.5	5.3	5.3	28.9	10.5	2.6
4～6点（ほとんどない）	30	56.7	10.0	16.7	13.3	6.7	6.7
3点（決してない）	15	80.0	0.0	6.7	20.0	6.7	6.7

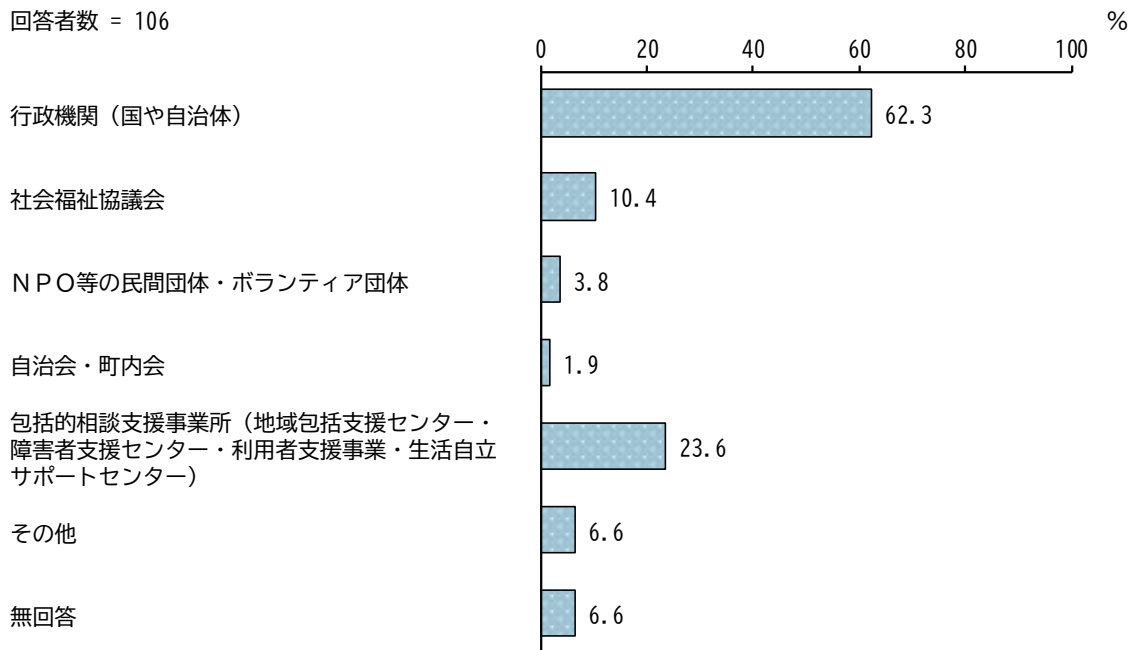
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者手帳 ・ 障害者年金の支給 ・ B型事業所 ・ B型就労支援施設 ・ 就労継続支援

問 22-2 あなたはどこから支援を受けていますか。(〇はいくつでも)

「行政機関（国や自治体）」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「包括的相談支援事業所（地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター）」の割合が 23.6%、「社会福祉協議会」の割合が 10.4%となっています。

回答者数 = 106



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では50代から20代まで年齢が下がるほど、女性では10代から40代まで年齢が上がるほど「包括的相談支援事業所（地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア団体	自治会・町内会	包括的相談支援事業所(地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター)	その他	無回答
全体	106	62.3	10.4	3.8	1.9	23.6	6.6	6.6
男性 10代	9	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0
20代	9	55.6	0.0	11.1	0.0	44.4	11.1	0.0
30代	7	85.7	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	0.0
40代	9	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	33.3
50代	7	42.9	42.9	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
60代	4	75.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
女性 10代	8	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
20代	10	90.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0
30代	11	54.5	18.2	0.0	0.0	18.2	18.2	0.0
40代	15	60.0	0.0	0.0	6.7	26.7	0.0	13.3
50代	13	69.2	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	15.4
60代	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、点数が上がるほど「社会福祉協議会」の割合が高い傾向にあり、10～12点（常にある）から4～6点（ほとんどない）まで点数が上がるほど「行政機関（国や自治体）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	行政機関(国や自治体)	社会福祉協議会	NPO等の民間団体・ボランティア団体	自治会・町内会	包括的相談支援事業所(地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター)	その他	無回答
全体	106	62.3	10.4	3.8	1.9	23.6	6.6	6.6
10～12点(常にある)	19	68.4	15.8	5.3	0.0	31.6	0.0	10.5
7～9点(時々ある)	38	60.5	13.2	0.0	2.6	21.1	10.5	2.6
4～6点(ほとんどない)	30	60.0	6.7	10.0	3.3	26.7	3.3	6.7
3点(決してない)	15	66.7	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7

【その他の主な回答】

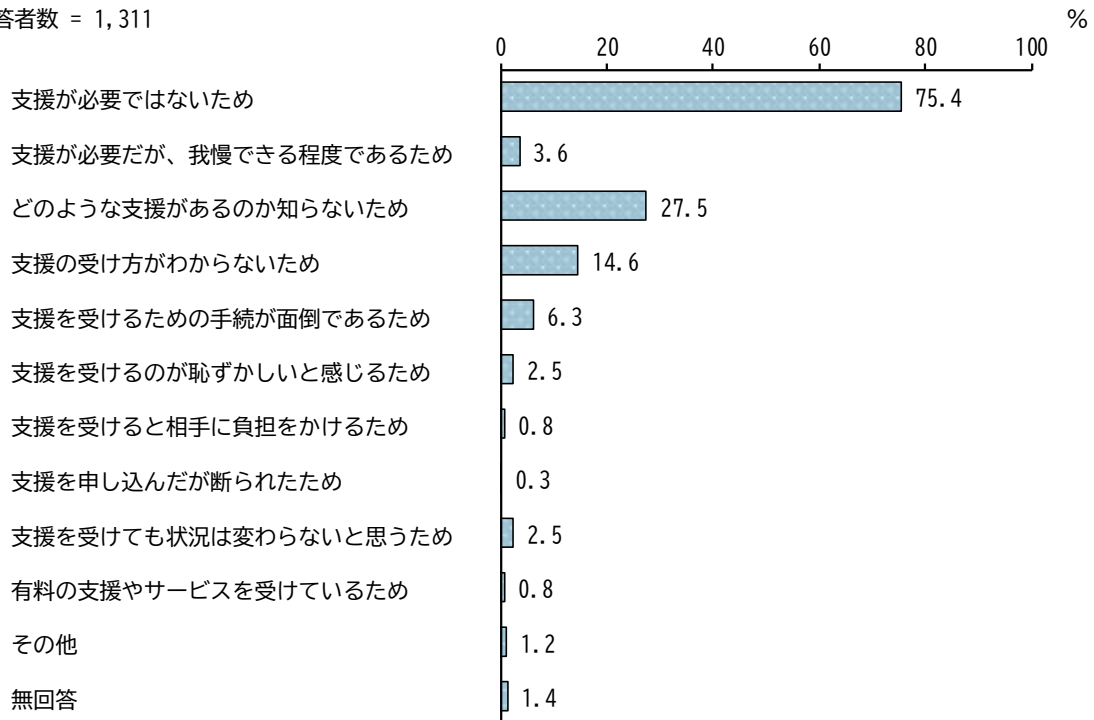
記載内容
・ 社会福祉法人 ・ 川口教育研究所

問 22 で「受けていない」と答えた方にうかがいます。

問 22-3 その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「支援が必要ではないため」の割合が 75.4%と最も高く、次いで「どのような支援があるのか知らないため」の割合が 27.5%、「支援の受け方がわからないため」の割合が 14.6%となっています。

回答者数 = 1,311



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では 60 代から 30 代まで年齢が下がるほど「どのような支援があるのかわからないため」の割合が高く、女性では 30 代から 60 代まで年齢が上がるほど「支援が必要ではないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	支援が必要ではないため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	どのような支援があるのかわからないため	支援の受け方がわからないため	支援を受けるための手続きが面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため	支援を受けても状況は変わらないと思うため	有料の支援やサービスを受けているため	その他	無回答
全体	1,311	75.4	3.6	27.5	14.6	6.3	2.5	0.8	0.3	2.5	0.8	1.2	1.4
男性 10代	58	74.1	5.2	19.0	12.1	1.7	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	5.2	3.4
20代	93	76.3	4.3	22.6	11.8	4.3	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	2.2	1.1
30代	143	69.9	7.0	33.6	18.2	9.1	4.9	2.1	0.0	6.3	1.4	1.4	2.1
40代	151	72.8	2.6	33.1	22.5	11.3	2.6	0.7	0.0	3.3	0.7	1.3	2.0
50代	120	75.8	3.3	28.3	15.0	5.0	3.3	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.8
60代	67	71.6	0.0	25.4	13.4	9.0	4.5	1.5	3.0	0.0	1.5	0.0	0.0
女性 10代	68	83.8	1.5	14.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0
20代	117	80.3	2.6	28.2	13.7	7.7	1.7	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.9
30代	127	69.3	6.3	33.9	16.5	11.0	3.1	0.8	0.0	2.4	0.8	1.6	1.6
40代	164	75.6	2.4	25.0	10.4	3.7	3.7	0.6	1.2	2.4	1.2	1.2	1.8
50代	118	77.1	4.2	25.4	16.9	2.5	2.5	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	1.7
60代	63	87.3	1.6	23.8	7.9	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0

【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、点数が下がるほど「支援が必要ではないため」の割合が高く、「支援の受け方がわからないため」の割合が低く、7～9点（時々ある）から3点（決してない）まで点数が上がるほど「どのような支援があるのか知らないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	支援が必要ではないため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	どのような支援があるのか知らないため	支援の受け方がわからないため	支援を受けるための手続が面倒であるため	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため	支援を受けても状況は変わらないと思うため	有料の支援やサービスを受けているため	その他	無回答
全体	1,311	75.4	3.6	27.5	14.6	6.3	2.5	0.8	0.3	2.5	0.8	1.2	1.4
10～12点（常にある）	88	52.3	8.0	35.2	30.7	9.1	6.8	1.1	0.0	9.1	4.5	6.8	0.0
7～9点（時々ある）	527	69.4	4.2	36.1	20.3	8.7	3.8	1.3	0.6	2.8	0.6	0.9	0.8
4～6点（ほとんどない）	490	82.2	2.7	22.4	9.0	4.1	1.2	0.4	0.0	1.4	0.4	0.6	1.8
3点（決してない）	196	85.7	2.6	13.3	6.1	4.1	0.5	0.5	0.5	1.5	1.0	1.0	2.0

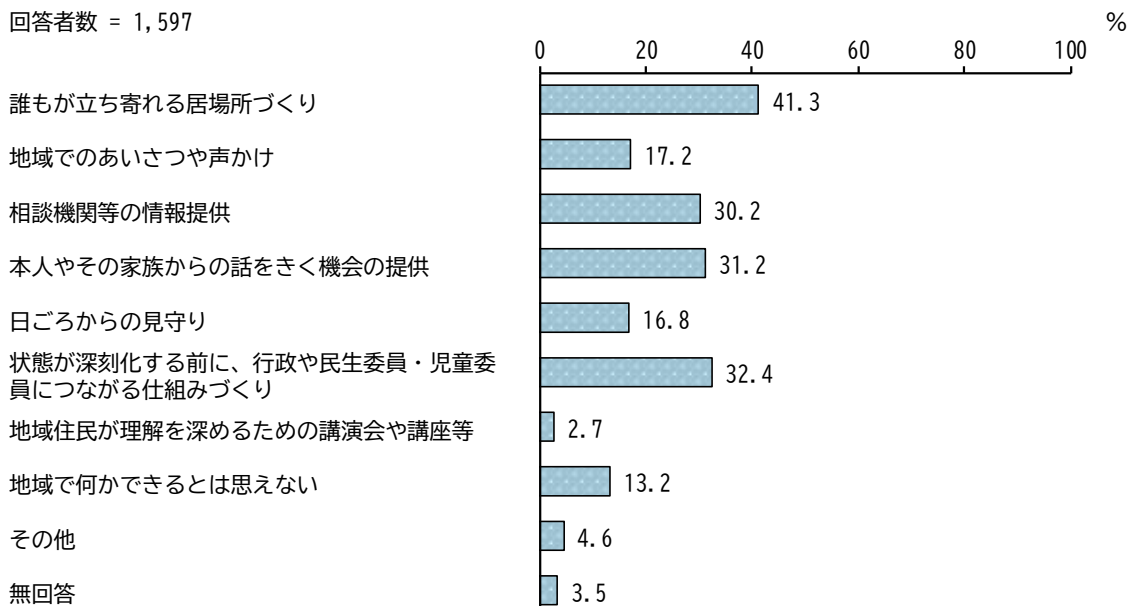
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・受けていたことがあるが、今は必要なくなったため受けていない ・行政機関に関する内容をよく知らないため ・民間のクレジット会社の借り入れ等で不足分を補っているため ・信用していない ・色々な産後支援があったけど結局お金がかかる。無料で受けれるのがあれば心の負担も軽かった ・特にない

問 23 社会的孤立やひきこもりが社会問題となっていますが、地域として、これらの問題に対してどのようなことが必要だと考えますか。（○は主なもの3つまで）

「誰もが立ち寄れる居場所づくり」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員につながる仕組みづくり」の割合が 32.4%、「本人やその家族からの話をきく機会の提供」の割合が 31.2%となっています。

回答者数 = 1,597



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では年齢が下がるほど「誰もが立ち寄れる居場所づくり」の割合が高い傾向にあり、女性では年齢が上がるほど「相談機関等の情報提供」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数(件)	誰もが立ち寄れる居場所づくり	地域でのあいさつや声かけ	相談機関等の情報提供	本人やその家族からの話をきく機会の提供	日ごろからの見守り	状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員につながる仕組みづくり	地域住民が理解を深めるための講演会や講座等	地域で何かできるとは思えない	その他	無回答
全体	1,597	41.3	17.2	30.2	31.2	16.8	32.4	2.7	13.2	4.6	3.5
男性 10代	111	47.7	8.1	19.8	36.0	16.2	34.2	7.2	13.5	8.1	4.5
20代	119	41.2	10.9	22.7	27.7	13.4	29.4	2.5	15.1	5.9	2.5
30代	157	39.5	20.4	24.8	27.4	13.4	36.9	3.2	18.5	4.5	1.9
40代	172	41.3	24.4	19.8	30.8	18.0	30.2	1.7	13.4	5.2	4.7
50代	135	39.3	25.2	34.8	29.6	18.5	26.7	1.5	9.6	7.4	3.0
60代	71	32.4	19.7	36.6	28.2	14.1	29.6	5.6	12.7	0.0	5.6
女性 10代	113	51.3	14.2	26.5	28.3	22.1	25.7	1.8	11.5	4.4	2.7
20代	145	43.4	11.0	31.0	26.2	14.5	31.7	2.8	20.7	2.8	1.4
30代	156	40.4	13.5	32.7	37.8	18.6	41.0	2.6	11.5	5.1	3.2
40代	189	36.5	16.4	39.2	34.4	16.9	35.4	1.1	12.7	5.3	4.2
50代	133	36.8	18.0	38.3	32.3	19.5	30.8	3.8	6.0	1.5	5.3
60代	67	46.3	22.4	40.3	35.8	16.4	34.3	1.5	10.4	1.5	3.0

【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、点数が下がるほど「地域でのあいさつや声かけ」「本人やその家族からの話をきく機会の提供」「日ごろからの見守り」の割合が高い傾向にあり、「地域で何かできるとは思えない」の割合が低く、4～6点（ほとんどない）から10～12点（常にある）まで点数が下がるほど「誰もが立ち寄れる居場所づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	誰もが立ち寄れる居場所づくり	地域でのあいさつや声かけ	相談機関等の情報提供	本人やその家族からの話をきく機会の提供	日ごろからの見守り	状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員につながる仕組みづくり	地域住民が理解を深めるための講演会や講座等	地域で何かできるとは思えない	その他	無回答
全体	1,597	41.3	17.2	30.2	31.2	16.8	32.4	2.7	13.2	4.6	3.5
10～12点（常にある）	121	33.9	10.7	28.9	23.1	9.9	31.4	2.5	19.8	5.8	5.8
7～9点（時々ある）	640	39.7	17.2	30.2	29.8	16.3	32.0	3.0	15.0	4.1	3.1
4～6点（ほとんどない）	584	44.0	17.1	31.0	33.0	18.0	33.4	3.1	11.8	4.1	2.6
3点（決してない）	234	42.3	21.8	29.1	35.9	19.2	32.5	1.3	9.4	6.8	2.6

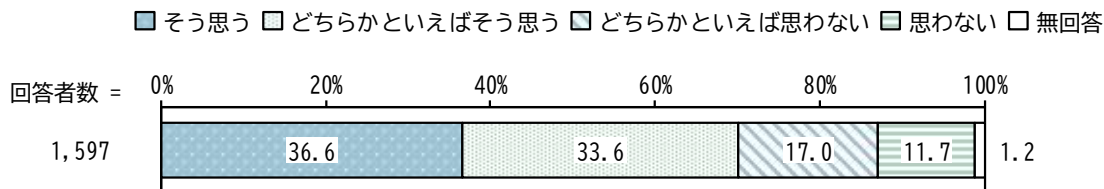
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 治安改善 ・ 外国人の治安の問題や増加も外出したくなくなる要因、スーパーいっても外国人ばかりだと普通の人もこわくていきたくなくなる ・ 経済的な支援 ・ 金銭的余裕を作り、交流や外出に出かけられるようにする取組 ・ 沢山勉強をして、沢山働かせて、沢山稼げるようにする ・ 本人が人と接触するチャンスや同じイメージの人達との集いの場 ・ 自分自身の心を保つために、近くにあつて、だれでも、不安になつても、家族にも話したくない事をすべて話せる場所があれば、なか変わるのかなあ？人つて心になにかを抱えてる時つて自分からは基本いかない。相手が気づいてくれて、話せる時がある。だから、気づくと引きこもりになってしまうのでは？ ・ 外出が難しい人にも対応できる様な仕組みづくり インターネット申し込みとか ・ 孤立しているか、ひきこもりか、納税状況で把握できるのではないかと感じる。より積極的に介入して外へ出させて欲しい ・ やる気があるから行動するのではなく、行動するからやる気が出る、ということが広く知られるべき。「まずはやってみる」が大事。 ・ 近代社会はコンプライアンスやハラスメント強化によって精神的に窮屈な時代なのでベクトルがインサイドへ向いてしまい、孤立やひきこもりになっているのではないか？また、行政の相談窓口が全く認知されていないので改善すべき。 ・ ひきこもっている本人が居場所や相談機関や講演会など行きたがらないので地域でできる事はその先の話だと思う。まずは本人がその気になってくれないと難しい問題だと思います ・ 親の躰 ・ 子がひきこもる場合の多くは夫婦間や親の状態の影響が大きいように思うので、子を変えようとする前に親自身がかわれるきっかけや機会があると良いと思います ・ 昔のように隣の家の人とのコミュニケーションが必要だと思います ・ 声かけ。ただし、マンションは同棟と関わらないようにいわれている ・ とんりの家でも家族構成を知らない事が普通になってしまいひきこもりしている方がいるのも知らない世の中になってしまっている 事件がおきてから家族構成を知る事になり、何か解決できる手立てはないのでしょうか ・ 本人に電話をかけて話す ・ SNSやネットなどで不幸になるのなら年齢制限で25歳以上にならないと使えないようにする。 ・ インターネットなどでひきこもりから立ち直るドラマなどの配信をたくさんする。 ・ 学校などいたるところに監視カメラなどを使っていじめを撲滅する。叱つてもわからないなら相応の罰を与えるか、分からないならそいつら専用の学校を用意し、監獄のような場所(少年院)で脳と体に叩き刻み込む。 ・ 資本主義による暴走、暴力が格差社会を生みだし社会的弱者の人達が精神疾患からひきこもりなどになっている。大きな政府が一部分市場へ介入し、ひきこもり等の人達が働ける場所を提供して社会参加できる仕組を政府が行うべきだと思う。 ・ 人に迷惑をかけている人に支援することで我々の税金を使ってほしくない。特に大人は自己責任、迷惑かけるなら、一生ひきこもつてほしいです。無駄な金を使うな！市役所の皆様！ ・ 個人の問題なので放っておけばよい。そんな事に税金を使わないでほしい。自分の子供のために稼いでいるのに他人に使う税金ばかりとられて非常に不満。自分の判断で家にいるのだから、それでいいのでは ・ 必要以上に接触しない ・ 知的障害があるため考えられない(母) ・ わからない

6 居場所についてうかがいます

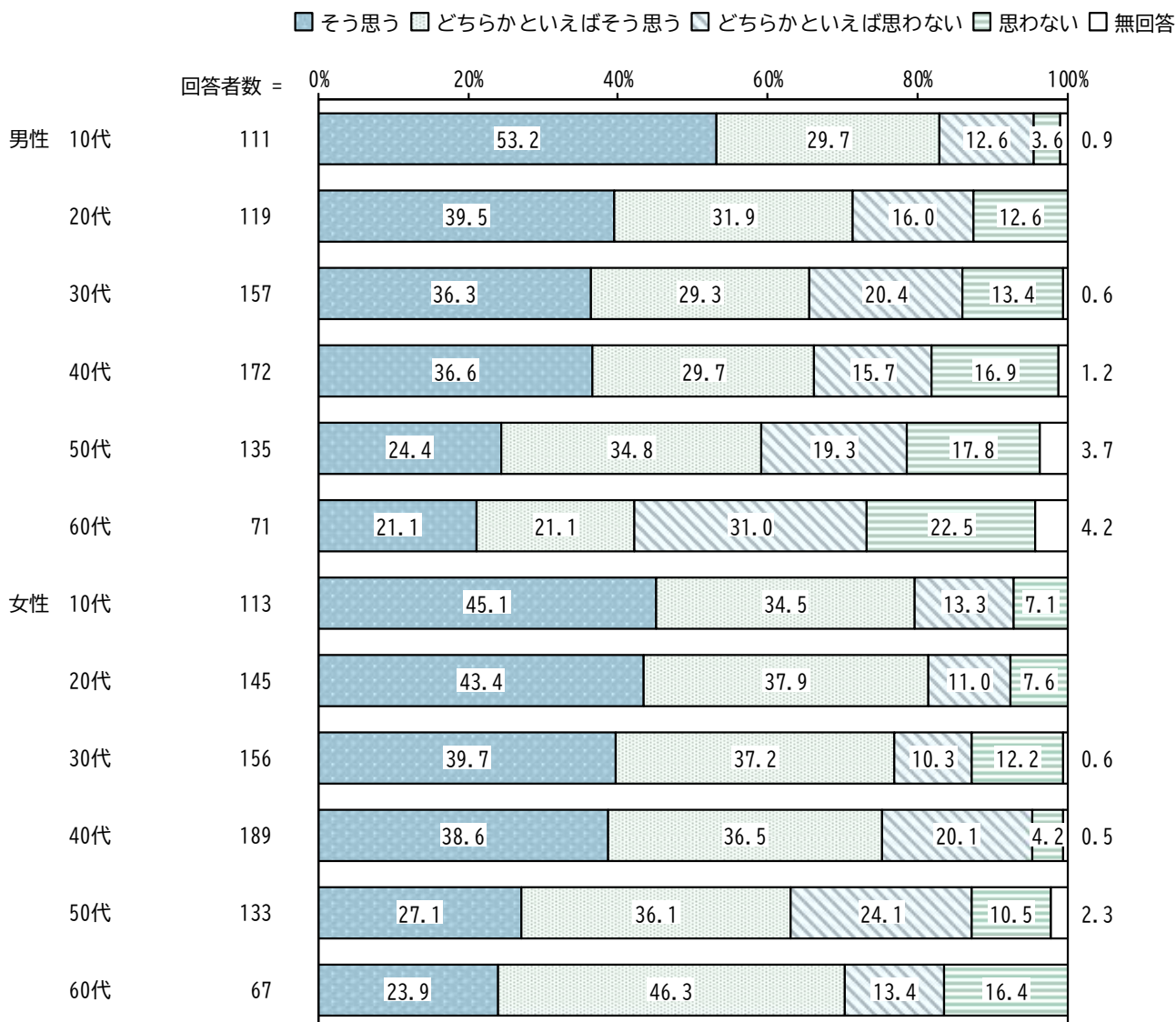
問 24 あなたは「第三の居場所」を持ちたいと思いますか。

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が70.2%、「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合が28.7%となっています。



【性・年齢別】

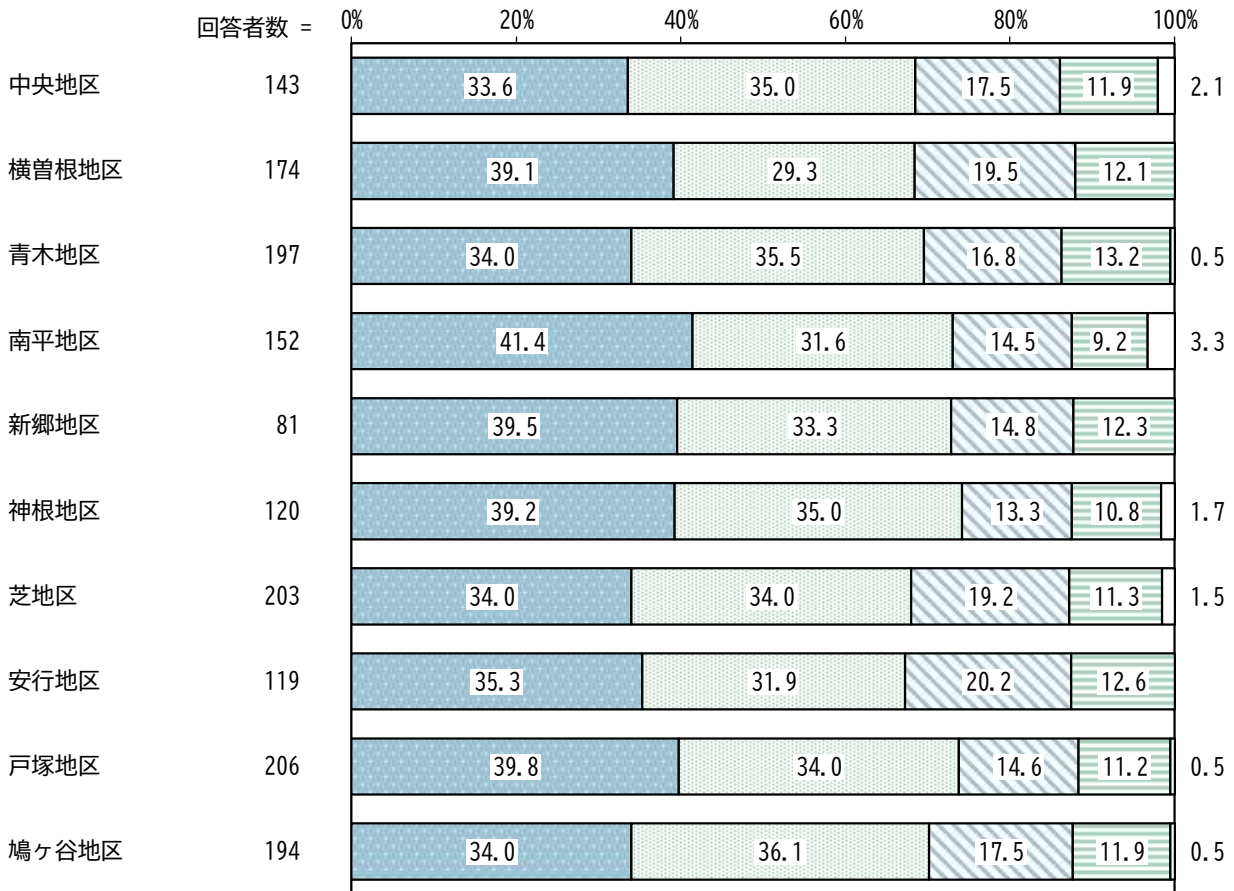
性・年齢別にみると、男性では年齢が上がるほど、女性では20代から50代まで年齢が上がるほど“思わない”の割合が高い傾向にあります。また、男性10代で「そう思う」、女性60代で「どちらかといえばそう思う」、男性60代で「どちらかといえば思わない」「思わない」の割合が高くなっています。



【地区別】

地区別にみると、南平地区、新郷地区、神根地区、戸塚地区で“思う”の割合が高くなっています。

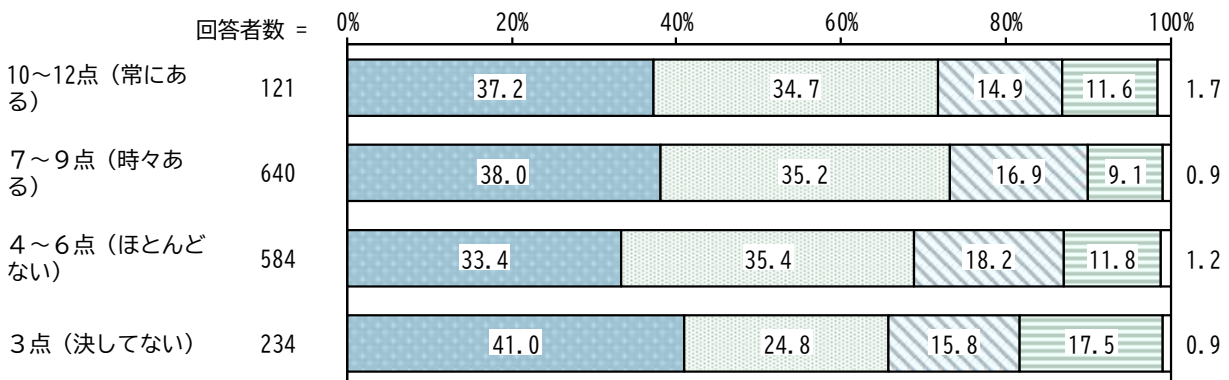
■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえば思わない □ 思わない □ 無回答



【孤独感スコア別】

孤独感スコア別にみると、3点（決してない）から7～9点（時々ある）まで点数が下がるほど“思わない”の割合が高くなっています。

■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえば思わない □ 思わない □ 無回答

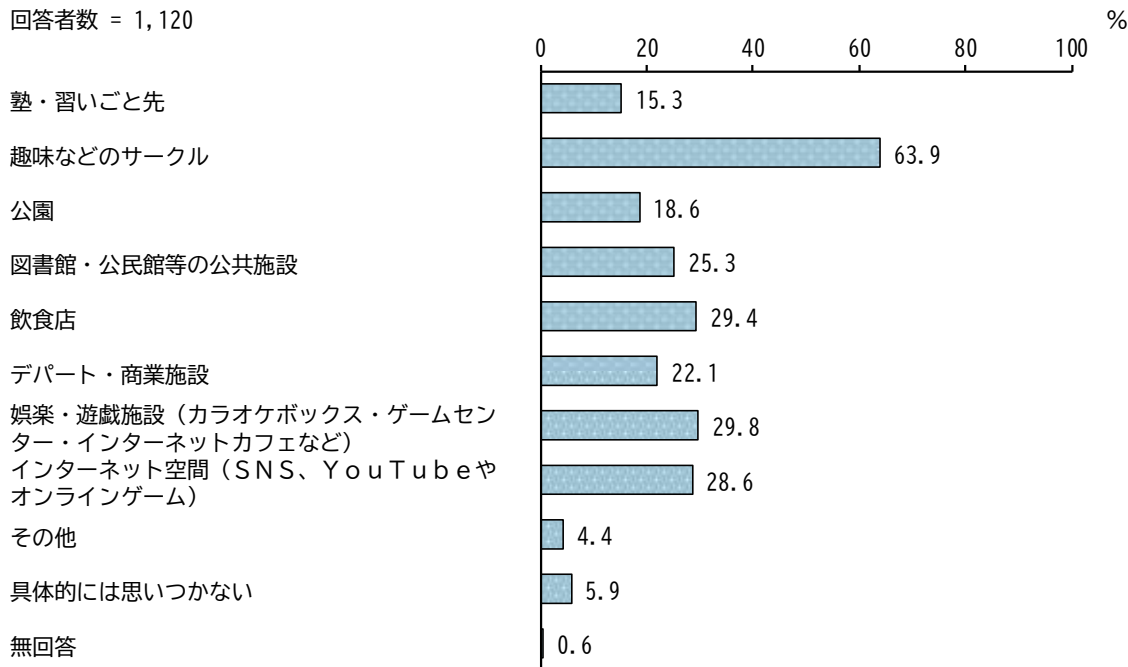


問 24 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方にうかがいます。

問 24-1 そこはどのような場所ですか。(○はいくつでも)

「趣味などのサークル」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」の割合が 29.8%、「飲食店」の割合が 29.4%となっています。

回答者数 = 1,120



【性別】

性別にみると、男性で「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲーム）」の割合が、女性で「塾・習いごと先」「図書館・公民館等の公共施設」「デパート・商業施設」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	塾・習いごと先	趣味などのサークル	公園	図書館・公民館等の公共施設	飲食店
全体	1,120	15.3	63.9	18.6	25.3	29.4
男性	505	12.1	65.9	20.4	21.4	29.5
女性	603	17.7	62.2	17.1	28.0	29.2

区分	デパート・商業施設	娯楽・遊戯施設 (カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど)	インターネット空間 (SNS、YouTubeやオンラインゲーム)	その他	具体的には思いつかない	無回答
全体	22.1	29.8	28.6	4.4	5.9	0.6
男性	18.4	36.4	31.3	4.6	5.7	0.4
女性	25.4	24.5	25.7	4.3	6.1	0.8

【年齢別】

年齢別にみると、年齢が下がるほど「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲーム）」の割合が高く、10代から40代まで年齢が上がるほど「飲食店」の割合が高くなっています。また、30代で「趣味などのサークル」、60代で「図書館・公民館等の公共施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	塾・習いごと先	趣味などのサークル	公園	図書館・公民館等の公 共施設	飲食店
全体	1,120	15.3	63.9	18.6	25.3	29.4
10代	183	21.3	51.9	21.9	19.1	19.7
20代	206	9.7	57.8	12.6	16.5	29.1
30代	224	15.2	77.2	18.8	29.0	33.0
40代	258	18.2	69.0	20.5	25.6	34.1
50代	168	13.1	60.7	14.9	28.6	27.4
60代	77	11.7	62.3	27.3	45.5	31.2

区分	デパート・商業施設	娯楽・遊戯施設（カラ オケボックス・ゲーム センター・インターネ ットカフェなど）	インターネット空間 (SNS、YouTube やオンラインゲ ーム)	その他	具体的には思いつか ない	無回答
全体	22.1	29.8	28.6	4.4	5.9	0.6
10代	13.7	37.7	39.9	5.5	7.7	0.0
20代	22.3	35.4	37.9	3.9	6.3	0.5
30代	26.8	35.3	37.5	2.2	2.2	0.0
40代	22.9	26.0	20.5	3.9	5.8	0.8
50代	23.8	19.6	16.1	6.5	7.7	1.8
60代	23.4	15.6	5.2	5.2	6.5	1.3

【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では60代から30代まで年齢が下がるほど「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲーム）」の割合が高く、女性では年齢が下がるほど「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」「インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲーム）」の割合が高く、「デパート・商業施設」の割合が低い傾向にあります。また、男性30代で「趣味などのサークル」、女性60代で「公園」「図書館・公民館等の公共施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	塾・習いごと先	趣味などのサークル	公園	図書館・公民館等の公共施設	飲食店
全体	1,120	15.3	63.9	18.6	25.3	29.4
男性 10代	92	21.7	56.5	27.2	18.5	21.7
20代	85	5.9	55.3	12.9	15.3	28.2
30代	103	9.7	83.5	18.4	26.2	31.1
40代	114	13.2	74.6	22.8	19.3	33.3
50代	80	10.0	56.3	18.8	23.8	31.3
60代	30	10.0	60.0	23.3	33.3	33.3
女性 10代	90	21.1	46.7	16.7	20.0	17.8
20代	118	12.7	60.2	12.7	16.1	29.7
30代	120	19.2	71.7	19.2	31.7	35.0
40代	142	21.8	64.8	18.3	30.3	33.8
50代	84	15.5	63.1	11.9	31.0	23.8
60代	47	12.8	63.8	29.8	53.2	29.8

区分	デパート・商業施設	娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）	インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲーム）	その他	具体的には思いつかない	無回答
全体	22.1	29.8	28.6	4.4	5.9	0.6
男性 10代	10.9	32.6	37.0	6.5	7.6	0.0
20代	22.4	41.2	36.5	2.4	7.1	1.2
30代	26.2	47.6	39.8	1.9	0.0	0.0
40代	17.5	36.8	28.9	3.5	5.3	0.0
50代	18.8	27.5	20.0	10.0	7.5	1.3
60代	6.7	20.0	10.0	3.3	10.0	0.0
女性 10代	16.7	42.2	43.3	4.4	7.8	0.0
20代	22.0	31.4	38.1	5.1	5.9	0.0
30代	27.5	25.0	35.8	2.5	4.2	0.0
40代	26.8	17.6	12.7	4.2	6.3	1.4
50代	29.8	13.1	10.7	3.6	8.3	2.4
60代	34.0	12.8	2.1	6.4	4.3	2.1

【地区別】

地区別にみると、新郷地区で「趣味などのサークル」「公園」「娯楽・遊戯施設（カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど）」、戸塚地区で「図書館・公民館等の公共施設」、神根地区で「デパート・商業施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	塾・習いごと先	趣味などのサークル	公園	図書館・公民館等の公 共施設	飲食店
全 体	1,120	15.3	63.9	18.6	25.3	29.4
中央地区	98	19.4	67.3	16.3	29.6	31.6
横曽根地区	119	15.1	65.5	17.6	22.7	30.3
青木地区	137	14.6	65.7	18.2	21.2	27.7
南平地区	111	18.0	69.4	16.2	23.4	32.4
新郷地区	59	10.2	72.9	28.8	20.3	30.5
神根地区	89	11.2	53.9	14.6	27.0	23.6
芝地区	138	17.4	61.6	18.1	24.6	27.5
安行地区	80	10.0	56.3	16.3	17.5	30.0
戸塚地区	152	12.5	64.5	25.0	34.9	32.9
鳩ヶ谷地区	136	19.9	63.2	15.4	25.7	27.2

区分	デパート・商業施設	娯楽・遊戯施設（カラ オケボックス・ゲーム センター・インターネ ットカフェなど）	インターネット空間 （SNS、YouT ubeやオンラインゲ ーム）	その他	具体的には思いつか ない	無回答
全 体	22.1	29.8	28.6	4.4	5.9	0.6
中央地区	24.5	30.6	24.5	2.0	4.1	2.0
横曽根地区	23.5	22.7	27.7	3.4	5.9	0.0
青木地区	24.1	24.8	28.5	2.9	8.8	0.0
南平地区	20.7	27.9	33.3	4.5	1.8	0.0
新郷地区	22.0	50.8	23.7	3.4	6.8	0.0
神根地区	28.1	27.0	27.0	4.5	5.6	1.1
芝地区	18.8	29.0	29.0	5.1	6.5	0.7
安行地区	16.3	35.0	28.8	7.5	10.0	0.0
戸塚地区	27.0	33.6	30.3	6.6	3.3	0.0
鳩ヶ谷地区	16.2	28.7	28.7	3.7	7.4	2.2

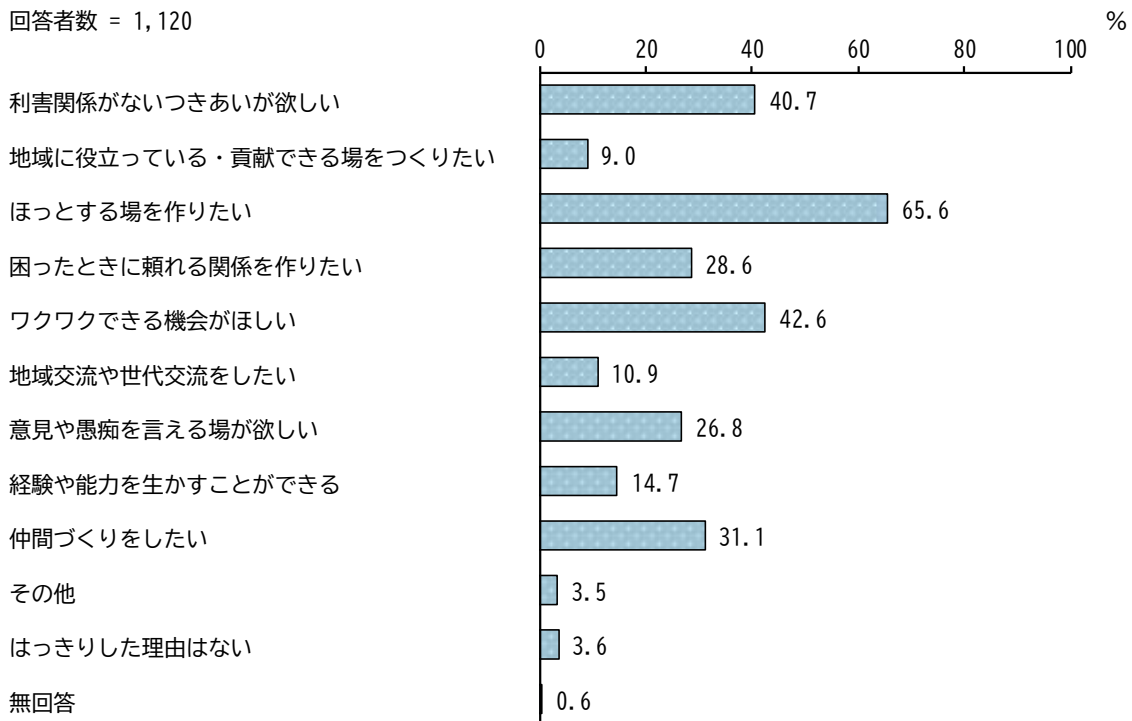
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の居る環境 ・ 学生時代までの友人達との集まり ・ 友人と会って話す場、「どこ」ではなく「だれと」が大切 ・ 誰にも邪魔されない場所 ・ 子供食堂のような専用空間 ・ 子育て世代が利用出来る、出入り自由な働き場 ・ デイサービス ・ 銭湯等の入浴施設 ・ 美容院 ・ 文化施設（博物館等） ・ 推し活に関連する場所 ・ キャンプ場（無料） ・ 車中泊→（登山口や道の駅） ・ 海外のホテルとか、別荘などの空間 ・ お気に入りの旅先 ・ NPO ・ 保護猫活動 ・ 政治等について、世の中を良くする内容を話しあえる人、場所

問 24-2 なぜ居場所を持ちたいと思いますか。（〇はいくつでも）

「ほっとする場を作りたい」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「ワクワクできる機会がほしい」の割合が 42.6%、「利害関係がないつきあいが欲しい」の割合が 40.7%となっています。

回答者数 = 1,120



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性では10代から40代まで年齢が上がるほど「利害関係がないつきあいが欲しい」の割合が高く、女性では50代から10代まで年齢が下がるほど「意見や愚痴を言える場が欲しい」の割合が高い傾向にあります。また、女性60代で「ほっとする場を作りたい」、男性40代で「仲間づくりをしたい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	利害関係がないつきあいが欲しい	地域に役立っている・貢献できる場をつくりたい	ほっとする場を作りたい	困ったときに頼れる関係を作りたい	ワクワクできる機会がほしい	地域交流や世代交流をしたい	意見や愚痴を言える場が欲しい	経験や能力を生かすことができる	仲間づくりをしたい	その他	はっきりした理由はない	無回答
全体	1,120	40.7	9.0	65.6	28.6	42.6	10.9	26.8	14.7	31.1	3.5	3.6	0.6
男性 10代	92	27.2	10.9	68.5	32.6	42.4	6.5	31.5	16.3	39.1	5.4	2.2	0.0
20代	85	42.4	10.6	60.0	23.5	38.8	9.4	28.2	15.3	28.2	4.7	2.4	0.0
30代	103	46.6	11.7	56.3	30.1	43.7	17.5	30.1	17.5	36.9	3.9	2.9	1.0
40代	114	55.3	9.6	64.9	23.7	45.6	14.0	32.5	21.9	43.0	0.9	2.6	0.0
50代	80	40.0	7.5	58.8	16.3	30.0	15.0	12.5	11.3	25.0	2.5	10.0	1.3
60代	30	43.3	23.3	60.0	16.7	26.7	20.0	10.0	13.3	23.3	3.3	3.3	3.3
女性 10代	90	28.9	4.4	68.9	34.4	43.3	3.3	42.2	16.7	33.3	2.2	2.2	1.1
20代	118	30.5	1.7	65.3	30.5	44.1	9.3	26.3	11.9	35.6	1.7	3.4	0.0
30代	120	46.7	8.3	68.3	37.5	42.5	15.0	29.2	16.7	36.7	4.2	1.7	0.8
40代	142	45.8	9.2	67.6	25.4	45.1	7.7	22.5	11.3	21.8	5.6	6.3	0.0
50代	84	36.9	14.3	69.0	34.5	48.8	7.1	17.9	13.1	14.3	3.6	2.4	2.4
60代	47	38.3	8.5	83.0	21.3	46.8	6.4	23.4	4.3	23.4	4.3	2.1	0.0

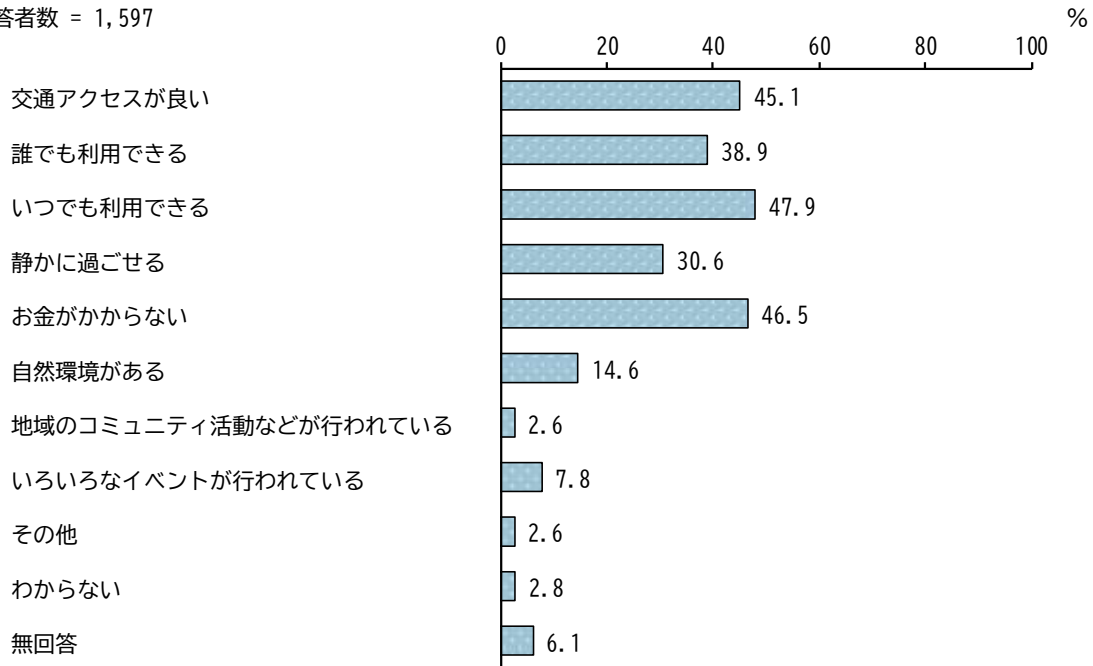
【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食しながら勉強したり、読書できる場所が欲しい ・ 知識の吸収 ・ 趣味を極めたい! ・ 何かに没頭して忘れたかったり、気分転換 ・ 心のリフレッシュになるため ・ 心の休息のため ・ 動植物、鳥を観て生命力を受ける ・ 温泉 ・ 夏の暑い日、電気代がかかるから(クーラー) ・ 人に役立っている、貢献できる場をつくりたい ・ 人(外人が特に)多くて邪魔で、物理的に空間が足りないから ・ 独りになりたい ・ 1人でのんびりできる時間 ・ 誰にも思われず、自分をさらけ出せるような不安を忘られる場所が欲しい ・ 父親とあわず、毎日言い争っている ・ 人はみな年をとります。人と人とのつながりを早い内に築くことが自分、みんなにとって大事。そしてそれが公民館でもゴミを出しているときに話す会話でも、たった1日に誰とでもいいのでその場所があれば、生きていけると思う

問 25 どのような条件が揃った場所が居場所として魅力的だと思いますか。(○は3つまで)

「いつでも利用できる」の割合が47.9%と最も高く、次いで「お金がかからない」の割合が46.5%、「交通アクセスが良い」の割合が45.1%となっています。

回答者数 = 1,597



【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男女ともに年齢が下がるほど「いつでも利用できる」の割合が高い傾向にあります。また、男性20代で「交通アクセスが良い」、女性10代で「お金がかからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	交通アクセスが良い	誰でも利用できる	いつでも利用できる	静かに過ごせる	お金がかからない	自然環境がある	地域のコミュニティ活動などが行われている	いろいろなイベントが行われている	その他	わからない	無回答
全体	1,597	45.1	38.9	47.9	30.6	46.5	14.6	2.6	7.8	2.6	2.8	6.1
男性 10代	111	41.4	36.0	50.5	31.5	53.2	15.3	1.8	6.3	2.7	0.9	7.2
20代	119	55.5	31.9	47.9	37.0	42.0	11.8	0.0	7.6	1.7	1.7	5.0
30代	157	49.7	40.8	50.3	35.7	42.7	10.8	2.5	8.9	1.9	3.8	3.8
40代	172	40.7	38.4	47.7	32.0	41.3	18.0	0.6	6.4	2.9	3.5	8.7
50代	135	42.2	34.8	40.0	33.3	39.3	18.5	5.9	7.4	3.7	2.2	5.9
60代	71	32.4	36.6	39.4	29.6	40.8	14.1	5.6	9.9	1.4	5.6	8.5
女性 10代	113	31.9	41.6	58.4	30.1	60.2	5.3	0.0	5.3	5.3	2.7	3.5
20代	145	53.1	41.4	53.8	23.4	49.0	14.5	0.0	6.9	4.8	2.1	3.4
30代	156	53.2	42.3	48.7	29.5	47.4	14.1	5.1	7.7	1.9	2.6	5.8
40代	189	45.0	40.2	49.7	34.4	46.6	17.5	2.1	9.5	2.6	2.6	4.2
50代	133	40.6	38.3	45.1	24.8	48.9	12.0	4.5	5.3	1.5	3.0	9.0
60代	67	44.8	44.8	34.3	22.4	44.8	23.9	3.0	14.9	0.0	3.0	11.9

【その他の主な回答】

記載内容
<ul style="list-style-type: none"> ・自分を受け入れてくれる場所 ・障害があるなしにかかわらず利用できる ・リラックスできる ・明るくてたのしい人が多い ・人の目がない ・他人とのコミュニケーションが義務ではなく好きに過ごせる ・安心できる安全な場所 ・防犯対策がなされている ・設備が整っている、清潔である、古い庁舎の角では意味がない ・お金は、100円200円でも払うべき。無料だと変な人が集まるし汚すので、無料はやめて欲しい ・川口市で、バスのフリーパスを作ってほしい ・そのお金は何で使用する。また税金ですか？ ・さみしい ・人それぞれ違うと思う ・特定の場所など必要ない、好きな所へいけばよろしい ・必要ない

問 26 居場所に、あったらいいと思うサービスや機能、設備、講座やイベントなどはありませんか。(例、カフェや食事できる場、ワークスペース、Wi-Fi、セミナー、アートのイベント、など) (ご自由にお書きください)

カフェ飲食スペース	244件
ワークスペース・自習室	121件
イベント・交流促進スペース	73件
子育て・ファミリー向け施設	57件
公園・自然環境・レクリエーション	41件
健康・リラクゼーション・運動施設	65件
文化・講座	121件
ICT環境(Wi-Fi)・情報アクセス	166件
その他	128件

【主な回答】

記載内容
<p>●カフェ飲食スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェや食事できる場 ・手ごろな値段のカフェや食堂、静かで居ごこちがよく、優しい感じの店 ・飲食などができるフリースペース 子供がいても気づかいが不要な場所と反対に静かに過ごせるスペースが仕切られている場所 ・無料で利用できて、社会人が勉強できる場所(飲食可) ・インターネット環境が良い。飲食できる。他者を分けて過ごせるよう個室やパーテーション ・子どもを連れて、さわいでも気にせずいれて、WiFi やテレビ、こども向けの部屋、(転倒)しても大丈夫なフロアマット ・立川マンガばーくのような、食事もできてマンガをたくさん読める公的施設がほしい。屋内で子供が体も頭も使えて親も安心しながら遊ばせられる大きな屋内施設がほしい ・赤ちゃんや未就学児を連れて行ける食事場所(靴を脱いで過ごせる小上がりや、個室) ・子連れでも行きやすいカフェ ・気軽に立ち寄れるセルフカフェ

- ・ 1人でゆっくりできるカフェや自然の中でゆったりできるスペース。犬や猫とふれあえる場所
- ・ 誰でも安心して気兼ねなく居られるカフェ
- ・ 持ち込み可能で、食事や談話のできる、カフェスペースのような場所
- ・ 24時間食事できる場所、なるべく無料で利用できる所
- ・ 広い空間のカフェ
- ・ 対面コミュニケーションの場（相席カフェなど交流ができる場）
- ・ 駅近以外にも、皆が集えるカフェを作る。
- ・ 子供と一緒に過ごせるエリアや子供を遊ばせながら地域の方たちと親がお茶出来る場所、サービス。
- ・ 公園や森の緑が見えるところにブックカフェがあったら嬉しいです。グリーンセンターの中に図書館があったら理想。運動施設などもあったら理想。
- ・ 自販機カフェ食堂など
- ・ 映画が見れて本が読めて、おいしいごはんが食べられるところ
- ・ カフェや子供食堂のような食事出来る所。犬猫、ハムスターなどの動物とふれあえるスペースなど。
- ・ 保護猫と一緒に食事ができる場
- ・ 犬と一緒に遊べる、食事ができるスペース(カフェ併用のドッグランなど)
- ・ 公園の中にカフェや食事できる場（パン屋）

●ワークスペース・自習室

- ・ 無料で利用できて、社会人が勉強できる場所（飲食可）
- ・ 飲食可の自習室（個室）
- ・ カフェのようなスタイル、雰囲気でも個室も利用できて勉強ができる※個室は一人90分まで
- ・ しゃべりながら勉強したり飲食しながら勉強・おしゃべりできるスペース
- ・ 学生が無料でいつでも使える自習室
- ・ 静かに勉強できる自習スペースのある公共施設をもっと増やしてほしいです
- ・ フリーWi-Fi、壁で机がひとつひとつ仕切られている自習室、自販機、ゴミ箱
- ・ 図書館に仕切りがある月額制の個人専用スペースが欲しいです
- ・ みんなで勉強できる場
- ・ 話しながら勉強のできる場所
- ・ 図書館のような静かでないといけない場所ではなく、グループワークが出来るような施設。
- ・ テレワークの人達が集まれるところがあるといい。
- ・ 個室がありWEB会議など自由に個室が利用出来ると便利。
- ・ のんびりできる個室
- ・ 人混みが苦手な人の為の個室
- ・ 個人ブースなどのリモートワークできるスペース
- ・ ゆったり座れる椅子
- ・ 工作のできる機材（UVプリンタ、レーザー彫刻機、3Dプリンター、切削機など）
- ・ ミシンの貸し出し
- ・ 東川口駅前などにカフェやワークスペースがないのであったらうれしい。チャージできてWi-Fiもあるような施設があれば理想。

●イベント・交流促進スペース

- ・ 在日外国人との共生を目指すようなイベント
- ・ 中国、ベトナム、ネパール、トルコ(クルド)人など、ご近所にたくさん住んでいらっしゃいますが、交流の場がありません。川口市が国籍をのり越え、多国籍の町として仲よく発展できたら、日本全国の見本となると思います。
- ・ 海外在留者との交流
- ・ アートイベントなど見れる場所がもっと多くあると良いと思います。
- ・ アートを学ぶスペースや施設 気軽に立ち寄れるセルフカフェ 習いごとができる公共施設 趣味を生かしたコミュニティ活動
- ・ 音楽のイベントができるホール
- ・ 謎解きイベント、ハンドメイドの展示会
- ・ 音楽イベント、スポーツイベント、アニメカルチャーイベント、
- ・ 地域の芸能活動（タイコや踊り）のイベント
- ・ 共通の趣味によるマッチングサービスなど（ランニング、登山などの趣味）
- ・ eスポーツやカードゲームなどスポーツなどで目立たない子達が輝けるような大会
- ・ 若い闘病経験者が集まったら嬉しい。闘病しながらの、恋愛、婚活、妊活、子育て、そんな話しができれば、いいと思う。
- ・ ハンデを持った同士の婚活イベント

- ・同世代の同じ業種の人達が集まれるイベント
- ・若い人、若い親向けの場所、スペース、イベントなど
- ・サークルやイベントなど一人参加OKの所があれば良いと思います。すでにグループが出来ている所に入っていくのが嫌だなんて思う人も居ると考えます。
- ・イベントの主催者が指定して、即席のグループで何かをする 強制的に知らない人と話すことになるので人脈が広がると思った
- ・地下鉄などのフロアで、イベント、セミナーを行なって欲しい。行きやすく、参加し易い環境がよい。SNSで参加登録できる環境がよい。
- ・SNSの知り合いと交流できる場。
- ・誰しものが交流や社会参加をしたいと思ったときに 短時間で大きな責任なく、楽しくできるようなこと
- ・もっと気軽に社会貢献したりできる場所があればいいと思います。例えば川口市やそれに関連するNPOなど詐欺など危険がない事が前提で、ネットでボランティア募集。ただのボランティアでなくやることでの景品などのインセンティブもあり。
- ・屋外飲食イベント(グルメ・フードフェス、ビアガーデン、BBQ等)
- ・のみの市、ファーマーズマーケットなどイベントをやってほしい。
- ・ウォーキング大会やマラソン大会、フェスなど定期的に地域が開催するイベント
- ・地元企業とのコラボ企画(SDGsとからめて)
- ・テーマパークのショー(地域にまわってきてくれる公演等) イベント。
- ・お祭り
- ・アコースティックライブ等が可能なイベントスペース
- ・自然やアート、フードのイベントなど
- ・アートのイベントやミニコンサートで音楽も楽しめたらいいなあと思います。
- ・飲食店でのイベント開催、毎回テーマが変わり幅広い層が利用できたら嬉しい。飲食店へ補助金が出され、参加する人が手頃な価格で利用できたら参加しやすい。

●子育て・ファミリー向け施設

- ・新郷地区(峯)に児童館が欲しい。最近、新築も増えて若年層も多くなり、子どもも増えて、年代を越えた交流の場に出来そう。
- ・子供の室内あそびば。夏雨の日の遊ぶ場所がない。
- ・子供がうんと遊べる場所や勉強できる場所を増やしてほしい。児童センターなど無料で室内で遊べる場所を増設するなどしてほしい。
- ・川口市は小さい子供を連れて遊びに行ける無料の施設が無さすぎる。さいたま市のあいぱれっとまでわざわざ電車で行ってる。
- ・戸田公園のような大きな子供の施設(こどもの国)。もっと外、中で動き回れるような、土日楽しく遊べる施設。
- ・ボードゲームスペース、屋内かつ子供用遊具。
- ・(親が)一人の時間が持てるようなサービス。
- ・子どもを連れて行けて少しでも目を離せる時間がある空間があると助かる。
- ・子供預り(引退された元保育士や元教員の方であればより安心)。
- ・子連れで行けるママが一息できるもの(例: ネイルケア、マッサージ、おいしいコーヒーをいれてもらえるなど)。
- ・児童センターをよく利用させて頂いていましたが、遊びスペースに加えて持ち込みの飲食スペースがあるとママたちの交流の場が増えてよいなあと思いました。
- ・子どもを連れて、さわりでも気にせずいれて、WiFiやテレビ、こども向けの部屋、(転倒)しても大丈夫なフロアマット。昼食もでき、ゆっくりくつろげる。
- ・赤ちゃんや未就学児を連れて行ける食事場所(靴を脱いで過ごせる小上がりや、個室) ママ友と子供達で安心してゆっくり会える場所が少ない。
- ・子供食堂みたいなので年齢制限をなくすところ。
- ・子育て中の母親の孤食を防ぐスペース 例えば子育て広場での持ち込み食事ができる様な場所、時間帯の確保。
- ・年寄りと子供のつながれる場所。
- ・ボランティアが、食事提供する公民館などに子供から高齢者まで集まってお話をしたり、体操したりする場所。
- ・子供とシニアが交流できたり、気軽に学べる場や参加できるイベントなどがあると良いと思う。
- ・地域のママさん達が活躍できるような、チャレンジショップ、ハンドメイドショップなど。
- ・子供と一緒に過ごせるエリアや子供を遊ばせながら地域の方たちと親がお茶出来る場所、サービス。
- ・中高生がグループ勉強会などをできる会話可の勉強スペース、中高生が静かに勉強できる自習室。
- ・学校の体育館や公民館をもっと自由に利用できるようにしてほしい。

- ・幼児が遊べるスペース 図書。
- ・小中学生程度まで自由に使える室内空間。

●公園・自然環境・レクリエーション

- ・大きな公園
- ・豊かな自然
- ・公園の整備。球技禁止。大声禁止など、息苦しい空間ではなく、ちゃんとした所を整備するのが必要である。
- ・公園のベンチの拡充（子供用）
- ・大きめの公園にたくさんのベンチと自販機が何台かあって、大人が友人とおしゃべりできるような場所があればいいと思います
- ・公園トイレの衛生管理（電気などで明るく）
- ・日本人が安心して過ごせるコンビニ、公園
- ・自然の豊かな、すずしい木かげの清けつなベンチのある公園
- ・居心地が良くコーヒーの美味しいカフェを、公園の中に作って欲しい。イイパークやグリーンセンターの中など。
- ・公園の中にカフェや食事できる場（パン屋）
- ・落ちつける庭園のようなもの。
- ・1人でゆっくりできるカフェや自然の中でゆったりできるスペース。犬や猫とふれあえる場所
- ・アウトドアや屋外での活動が行える場所。川口市内にはないと思う。
- ・散歩が出来る森林、水辺・農業体験
- ・たくさんの遊具のある公園（BBQ等も行える）
- ・室内だけでなく、ウォーキングや外での体操など、近場でも外出をとまなうイベントもあつたらいいと思います。
- ・定期的に公演やイベントをしている公園
- ・短時間で利用できる仮眠スペース
- ・静か景観を眺めながらまったりできる場所 ・静かな曲が流れている空間
- ・木など近くのきゆうけいスペース（自然を感じられるところ）
- ・公園まで歩いて行きゆっくりと過ごす事で気持ちもリフレッシュできる。
- ・公園とか温泉とか
- ・ロンドンのような無料の美術館や、緑豊かな公園の中に無料で立ち寄れる屋内施設等があると良いなと思います。

●健康・リラクゼーション・運動施設

- ・1日ゆっくり過ごせる大型の入浴施設
- ・足湯や銭湯など、リラックスのできるスペースがあつたらいいなと思います。
- ・温泉施設やおしゃれなカフェなど
- ・プラネタリウム、スーパー銭湯
- ・気軽に参加できる中年の体そう、運動、エアロビクスなどがあるといいなと思います（腰痛、膝痛など年齢とともに筋肉が少なくなり、医師に筋力をつけるように話されることが多いため）
- ・高齢化が進んでいる中お年寄はなかなか外に出る機会がないと思うので公民館などで体操教室など長期間、開催していただけるといいと思う。
- ・ワンコインくらいでいつでも参加できる体を鍛えられる講座がある。
- ・運動や体操が出来る場所
- ・子どもをつれて行けるピラティスとかジムとかヨガとか。
- ・手軽、安価な運動ジム
- ・マッサージ プラネタリウム 演奏会などの一人でもリラックスできる場
- ・私はマッサージ師です。会社で働いていますが、独立して働きたいため、おためしでマッサージを受けてもらえる場所があるといいなと考えてます。
- ・清潔で管理がされているマッサージチェア
- ・ハンドマッサージ、肩もみなど声を掛けソフトタッチ等で安心することがあると思います
- ・軽く汗をかけるダンスやジムてきなイベント
- ・体調が悪くなった時に対処してくれるサービスや施設。
- ・お散歩支援 障害者のための運動支援
- ・畑や田んぼ、お花など土いじりが出来るグループ、絵手紙や編み物などの講座、体操やヨガ教室、お風呂やサウナ。安く利用出来たら行きやすい。
- ・健康維持・介護予防の運動講座、防犯のための定期的な武術指導、救急救命のための定期的な講座、ボランティア活動の参加案内など日常生活に役立つ講座

・簡単なハンドメイド・フラワー・書道・料理 短時間の花散策、ヨガ、ダンス

●文化・講座

- ・図書館。川口市の図書館は余り魅力がない。魅力ある施設にして欲しい。
- ・席数の多い図書館（フリーで利用できる。館内のいろんな場所にある）
- ・図書館が中央図書館以外は、とても貧弱なので拡張して欲しい。
- ・本や漫画とそれが落ち着いて読めるスペース
- ・誰でもフラッと立ち寄る事が出来、自由に会話をしたり本やマンガ等を見る事が出来る環境と場所
- ・立川マンガぱーくのような、食事もできてマンガをたくさん読める公的施設がほしい。
- ・図書館もいいけど、個人の好きだったけど、処分せざるをえない本を置く場所があって、誰でも出入りできて、おしゃべりできる場所があれば。
- ・戸塚安行駅や東川口駅近辺に図書館が欲しいです。
- ・漢方、薬膳などの東洋医学を学べる講座が増えてくれると嬉しいです。
- ・大人になってから改めて初級から学びたい数学や英語などの講座。
- ・年齢問わず、学べる講座 月変わりイベント 手芸用品販売、同人誌販売など。
- ・大学で履修科目を選択するように開講しているセミナーやサークル、イベントなどを網羅的にチェックでき、このサイトを通じて参加登録や仲間との交流ができるようなサイトがあれば。
- ・歌声や声の出し方、ハッキリと喋る方法、コミュニケーションの取り方が学べる講座。
- ・金融やパソコン、SNSなどのセミナー
- ・専門家や学者による様々な講習や質問会
- ・SNSなどを活用した（インスタ、Xなど）主婦でもできる副業やアカウント運営の講座などがあれば興味があります
- ・大きな政府による社会保障や福祉で芸術に接する施設機会を作り、(例)(宝塚、歌舞伎、日本芸能や外国芸能又はアイドルのコンサート、アーティストのライブ)を行う。
- ・格安な映画館や舞台観劇施設。
- ・ロンドンのような無料の美術館や、緑豊かな公園の中に無料で立ち寄れる屋内施設等があると良いなと思います。
- ・アートイベントなど見れる場所がもっと多くあると良いと思います。
- ・アートを学ぶスペースや施設。趣味を生かしたコミュニティ活動。
- ・自由な掲示板や展示、発表場所等
- ・カルチャースクールみたいなもの（陶芸、絵画教室、アマチュア音楽サークル）、カラオケボックス、ボーリングセンター、ビリヤード場、家族で行ける釣り堀やバーベキューのあるキャンプ場
- ・クリエイターの間。手芸や裁縫の教室。
- ・映画館や図書館や公民館を、若者や子育て世代やミドル世代でも、活用できる施設があるといいと思います。

●ICT環境(Wi-Fi)・情報アクセス

- ・自由に使えるWi-Fi、Free-WiFi
- ・充電が出来る場（CHARGE SPOTなど）
- ・充電器、コンセント、プロジェクター、スピーカー、ケーブル類、タブレット
- ・全店舗にWi-Fi導入して欲しい

●その他

- ・中国人やクルド人の車の運転や行動を見とこわくて外室（車や徒歩）をためらう事があります。特に駅やその周辺、コンビニなど日本人が住やすい川口市にして下さい。
- ・ルールを知らない外国人が多く迷惑していますが、すぐに非難して排除するのではなく、まずは日本の文化やルールを正しく伝えて理解してもらおう努力が必要と感じるので、彼らと交流する場が必要。
- ・外国人を交えた交流を企画してほしい。外国人は数万人が住んでいると言われ、市の人口の数パーセントにあたる。彼らを見ない行政サービスの拡充を望む。
- ・誰でも気軽に利用できる施設は、目を光らせないと、ルール違反をする人が出てきます。自分本位な方々を放置されることがストレスなので、駄目なものは駄目だと言ってほしい
- ・2025年の不景気の真っ真っ只中、新たな大きな箱物：市営の美術館は必要なのでしょうか？現存する公民館やスポーツ施設のメンテナンス体制を万全に整えて欲しいと願います。
- ・居場所、うんぬんの前に精神で痛んでる人の病院や、まともに受診できる病院を建ててほしいです。
- ・税金を使わないサービス。
- ・余計なサービスなどせず減税
- ・アンケートを取って多数の意見が正しいとは思わない。人々のつながりとあるがいざとなればみんな自分が最優先、他人に構ってるひまはない。表むきだけの人とのつながりはいらない。

- ・全てにおいて無料はダメです。必要がない人や無料目当ての人の居場所にはしてほしくないです。
- ・カフェ、ファミレスいっても外国人、子供ががやがやうるさいし、静かにリフレッシュする場所がない。
- ・川口市はどこに行っても子供が多くてうるさい。静かに過ごしたい人がゆっくり居れる公共の場がほしい。
- ・いろいろな年齢の人が一人で何もせず座っていても不自然に思われないような場所
- ・受付や管理人など常駐する人がいると人の目が気になる。
- ・トイレの個室や 24h ジムの更衣室のような、狭くて何もなくていいからパーソナルスペースが欲しい。
- ・誰かと話す必要のないプライベートスペースがあると感じられる空間
- ・新郷エリアへの鉄道延長、交通機関の増設を切望
- ・川口駅のエレベーターの増設や広さの改善、また動線の見直しなど、誰もが使いやすい環境整備をお願いしたいです。
- ・安心して自転車を置いておくスペースがほしいです。バイクラックや防犯カメラを設置するなど。
- ・電池を土日でも捨てられる場所を増やして告知してほしい。
- ・猛暑でも気軽に立ち寄れる避難場所としてお使い下さい、みたいな公共の場所
- ・公園などの公共スペースについても、タイルやデザイン性を重視した舗装だけでなく、車椅子やベビーカーでもスムーズに通行できる地面づくりを進めていただけると助かります。
- ・老後、お金のかからない娯楽施設（マーじゃん、パチンコ、ゲームなど）
- ・グリーンセンター新駐車場にスケートボードパーク新設
- ・自分の場合は麻雀が趣味なので、第三の居場所は雀荘です。麻雀が快適に打てればそれで大丈夫です。
- ・心をいやしてくれる犬や猫などの生き物と触れ合える
- ・気持ちを書き表せるノート。人と話すのが苦手な人でも、紙でなら気楽に日常のことや悩み事を書いたり、人との関わりを少しでも持てると思ったため。

川口市人々のつながりに関するアンケート調査 ご協力をお願いします

市民の皆様には、市政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。川口市では、令和6年度から重層的支援体制整備事業^(※1)を開始し、個々の状況に応じて必要なサービスや相談支援機関につなげるなどの支援に取り組んでいます。

本調査は、今後の施策や事業を効果的に推進することを目的としており、皆さまの率直なご意見を集めることで、より良い施策の検討に活かす所存です。

このたび、15歳以上64歳以下の市民の皆様から4000人の方を無作為に抽出させていただきます。いただいた結果、あなたが対象となりました。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年10月

(※1については11ページに記載しています。)

川口市長 奥ノ木 信夫

【ご記入にあたって】

1. 記入は、原則としてあて名のご本人にお願いします。ただし事情により、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方等がご本人の回答として、ご記入ください。
2. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。答えが「その他」の場合には、番号を○で囲み()に具体的な内容を記入してください。
3. 回答数が質問により異なりますので注意書きに従ってご記入ください。
4. アンケート用紙は、**令和7年10月27日(月)**までに同封の返信用封筒にてご返送ください。(切手は不要です。)



【本アンケートはインターネットの回答が可能です】

・右二次元コードから専用フォームにアクセスしてください。

URL : <https://questant.jp/q/ZARH6705>

・回答ページに、下記のID番号を入力したら、【回答を始める】を押ししてください。

ID番号

ID番号は、対象者を識別するためのもので、個人を特定することはできません。

川口市役所 福祉総務課

〒332-8601 埼玉県川口市青木2-1-1

この調査は株式会社名豊に委託して行っています。本調査について、ご不明な点やご質問があれば、右記までご連絡ください。電話番号：0120-756-555

1 あなた自身のことについてうかがいます

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. 未回答

問2 あなたの年齢はいくつですか。(○は1つ)

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代

問3 あなたは現在どなたと住んでいますか。(○はいくつでも)

1. 一人暮らし 2. 配偶者・パートナー 3. 子ども
4. 父母 5. 祖父母 6. 孫
7. 兄弟姉妹 8. その他()

問4 あなたの住んでいる地区は川口市内のどちらですか。(○は1つ)

1. 中央地区 2. 横曽根地区 3. 青木地区 4. 南平地区
5. 新郷地区 6. 神根地区 7. 芝地区 8. 安行地区
9. 戸塚地区 10. 鳩ヶ谷地区

地区	町名
中央	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1~3丁目
横曽根	川口4~6丁目、鵜塚、西川口、仲町、鵜原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
青木	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
南平	朝日、米広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
新郷	大字赤井、大字東本郷、大字蓮沼、大字前野宿、大字東貝塚、大字大竹、大字釜、大字新堀、大字橋松、赤井、江戸、江戸袋、本蓮、東本郷、新堀町、橋松
神根	大字安行領根岸、大字安行領根家、大字連合、大字神戸、大字木曾呂、大字東内野、北園町、柳根町、大字源左衛門新田、大字石神、大字赤芝新田、大字西新井宿、大字新井宿、大字赤山、在家町、
芝	大字芝、大字伊刈、大字小谷塚、芝中田、芝新町、芝下、芝、芝鏡ノ爪、芝高木、芝宮根町、芝東町、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
安行	大字安行原、大字安行領家、大字安行慈林、大字安行、大字安行吉岡、大字安行藤八、大字安行吉蔵、大字安行北谷、大字安行小山、大字安行西立野、安行出羽
戸塚	大字西立野、大字長蔵新田、大字久左衛門新田、大字藤兵衛新田、大字行衛、大字差間、東川口、北原台、戸塚、戸塚飯町、戸塚境町、戸塚東、差間、長蔵、戸塚南
鳩ヶ谷	坂下町、桜町、大字里、大字辻、鳩ヶ谷本町、大字前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和

問5 あなたは、川口市に何年住んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

問6 あなたの現在の仕事をお答えください。複数の仕事に従事している場合は、主な仕事についてお答えください。(○は1つ)

※「主な仕事」とは一番長い時間を指します。

1. 正規の職員・従業員
2. 非正規の職員・従業員
(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト (学生アルバイトを除く))
3. 会社などの役員
4. 自営業主
5. 家族従業者・内職
6. 学生・生徒
7. 収入をともなう仕事をしていない (仕事を探している)
8. 収入をともなう仕事をしていない (仕事を探していない)
9. その他

2 地域とのつながりについてうかがいます

問7 あなたは日頃どの程度、外出していますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日程度 | 3. 週1～2日程度 |
| 4. 週1日未満 | 5. 外出しない | |

問7で「1」～「3」(週1日以上)と答えた方へうかがいます。

問7-1 最近1週間の外出の目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事・学校
2. 人とのつきあい・交流
3. 趣味や娯楽、散歩や運動
4. 地域活動・ボランティア活動
5. 食事・買い物・日常の用事
6. 通院
7. その他 ()

問8 あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について、①～③ごとにそれぞれお答えください。(①～③について、それぞれ○は1つ)

週 4 5 回以上	週 2 3 回程度	週 1 回程度	2 週間に1 回程度	月 1 回程度	月 1 回未満	全 く な い	
①直接会って話す	1	2	3	4	5	6	7
②電話(ビデオ通話含む)	1	2	3	4	5	6	7
③SNSや電子メールなど	1	2	3	4	5	6	7

※SNSでのコミュニケーションは、アプリケーションによるチャットなど、テキストベース(文字情報)でのやりとりを指します。また、電子メールには、SMS(ショートメッセージサービス)も含まれます。

問9 あなたに不安や悩みが生じた場合、相談相手はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問9で「1. いる」と答えた方へうかがいます。

問9-1 あなたは誰に相談をしますか。(○はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 自治会・町内会・近所の人
4. 仕事・学校関係者(職場の同僚・学校の先生等)
5. 行政機関(国や自治体)
6. NPO等の民間団体・ボランティア団体
7. 社会福祉協議会
8. 病院・診療所の医師
9. 包括的相談支援事業所^{※2}(地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター)
10. その他 ()

(※2については1ページ目をご覧ください)

問10 あなたは現在、どのような活動に参加をしていますか。人と交流する活動についてお答えください。(○はいくつでも)

1. P.T.A・自治会・町内会などの活動
2. 子ども・障害者・高齢者など、家族以外の人の手助けをする活動
3. 上記以外のボランティア活動
4. スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)
5. その他の活動(同窓会活動・宗教や信仰上の活動など)
6. 特に参加はしていない

問 11 あなたは、まわりに不安や悩みを抱えている人がいたら、積極的に声掛けや手助けをしようと思いますか。(○は1つ)

1. しようと思う
2. しようと思わない
3. わからない

問 12 へ

問 11 で「2. しようと思わない」「3. わからない」と答えた方に向かっています。

問 11-1 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 自分には役に立てることがない
2. 自分が何をすればよいかわからない
3. 手をかけたくない
4. 自分で解決すべきだと思う
5. 人に声をかけづらい
6. どのように接したらよいかわからない
7. 不安や悩みの内容によると思う
8. 負担を感じる
9. 面倒である
10. 誰かがやってくれると思う
11. 興味・関心がない
12. そのような余裕がない
13. その他 ()

問 12 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。(○は1つ)

1. 決してない
2. ほとんどない
3. 時々ある
4. 常にある

問 13 あなたは、自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(○は1つ)

1. 決してない
2. ほとんどない
3. 時々ある
4. 常にある

問 14 あなたは、自分は取り残されていると感じることがありますか。(○は1つ)

1. 決してない
2. ほとんどない
3. 時々ある
4. 常にある

3 生活状況についてうかがいます

問 15 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

とても不幸
 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
 とても幸せ

問 16 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。(○は1つ)

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい

問 17 あなたの現在の心身の健康状態をお答えください。(○は1つ)

1. よい
2. まあよい
3. ふうとう
4. あまりよくない
5. よくない

問 18 あなたの現在の子育てや介護の負担感は、いかがですか。(○は1つ)

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 大変苦しい
6. 子育てや介護はしていない

問 19 あなたは現在、日常生活において不安や悩みを感じていることはありますか(既に相談機関等に繋がっている場合も含む)。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 19 で「1. ある」と答えた方に向かっています。

問 19-1 不安や悩みはどのような内容ですか。(○はいくつでも)

1. 自分の健康
2. 家族の健康、介護
3. 住まい
4. 進学・就職・転職など、進路やキャリア上の問題
5. 結婚、子育てなど、生活上の問題
6. 収入や資産、老後の生活設計
7. 家族・親族間の人間関係
8. 近隣・地域との関係
9. 学校や勤務先での人間関係
10. 事業や家業の経営上の問題
11. 金銭トラブル
12. 自然災害や事故、事件などの被害
13. 恋愛・性関係
14. その他 ()

※すべての質問の最後に、相談先について紹介しています。

問19で「1. ある」と答えた方に向かいます。

問19-2 あなたは、問19-1でお答えした不安や悩みの相談を希望しますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

※「1. はい」と答えた方は、すべての質問の最後(P.10)にある記入欄に、氏名・住所・電話番号・E-mailアドレスをご記入ください。ご記入いただいた内容、個人情報 は本目的以外に利用することはございません。

4 ひきこもりや孤立に対する考えについてうかがいます

問20 次にあげられたことについて、あなた自身に当てはまる数字に○をつけてください。

(①~④)について、それぞれ○は1つ)

	はい	どちらかといえは	どちらかといえは	いいえ
①家や自室に閉じこもって外に出ない人たちの気持ちがわかる	1	2	3	4
②自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある	1	2	3	4
③嫌な出来事があると、外に出たくなる	1	2	3	4
④理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う	1	2	3	4

問21 あなたのご家庭で仕事や学校に行かず、家族以外の人との交流をほとんどしない人はいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない → 問22へ

問21で「1. いる」と答えた方に向かいます。

問21-1 その方の性別はどちらですか。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. 未回答

問21-2 その方の年齢はいくつですか。(○は1つ)

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代

問21-3 その方が現在の状況になってどのくらい経ちますか。(○は1つ)

1. 6ヶ月未満 2. 6ヶ月~1年未満 3. 1年~3年未満
4. 3年~5年未満 5. 5年~7年未満 6. 7年~10年未満
7. 10年以上

※すべての質問の最後に、相談先について紹介しています。

問21で「1. いる」と答えた方に向かいます。

問21-4 あなたは、問21の内容の相談を希望しますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

※「1. はい」と答えた方は、すべての質問の最後(P.10)にある記入欄に、氏名・住所・電話番号・E-mailアドレスをご記入ください。ご記入いただいた内容、個人情報は本目的以外に利用することはございません。

5 行政等の支援についてうかがいます

問22 あなたは、行政機関やNPO等の民間団体から支援(対価を直接支払うものを除く。)を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている → 問22-3へ
2. 受けていない → 問23へ
3. わからない

問22で「1. 受けている」と答えた方に向かいます。

問22-1 あなたはどのような支援を受けていますか。(○はいくつでも)

1. 経済的な支援(給付や貸付等)
2. 現物提供等の支援(食料品・日用品の提供)
3. 人的な支援(世話や介護)
4. 相談支援(助言や情報提供等)
5. その他(支援内容:)

問22-2 あなたはどこから支援を受けていますか。(○はいくつでも)

1. 行政機関(国や自治体)
2. 社会福祉協議会
3. NPO等の民間団体・ボランティア団体
4. 自治会・町内会
5. 包括的相談支援事業所(地域包括支援センター・障害者支援センター・利用者支援事業・生活自立サポートセンター)
6. その他(支援者:)

(※2については11ページに記載しています。)

問 22 で「2. 受けていない」と答えた方にかがいます。
問 22-3 その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 支援が必要ではないため
2. 支援が必要だが、我慢できる程度であるため
3. どのような支援があるのかわからないため
4. 支援の受け方がわからないため
5. 支援を受けるための手続が面倒であるため
6. 支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため
7. 支援を受けると相手に負担をかけるため
8. 支援を申し込んだが断られたため
9. 支援を受けても状況は変わらないと思うため
10. 有料の支援やサービスを受けているため
11. その他（理由： _____）

問 23 社会的孤立やひきこもりが社会問題となつていますが、地域として、これらの問題に対してどのようなことが必要だと考えますか。(○は主なもの3つまで)

1. 誰もが立ち寄れる居場所づくり
2. 地域でのあいさつや声かけ
3. 相談機関等の情報提供
4. 本人やその家族からの話をきく機会の提供
5. 日ごろからの見守り
6. 状態が深刻化する前に、行政や民生委員・児童委員につながる仕組みづくり
7. 地域住民が理解を深めるための講演会や講座等
8. 地域で何かできるとは思えない
9. その他（ _____）

6 居場所についてうかがいます

家庭（第一の居場所）、学校や職場（第二の居場所）とは別に、自分にとって心地よいと感じられる場所、いわゆる「第三の居場所」は、生活の質の向上に有効であると言われています。「第三の居場所」について、以下の質問にお答えください。

問 24 あなたは「第三の居場所」を持ちたいと思いますか。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえば思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. 思わない |
- 問 25 へ

問 24 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」と答えた方にかがいます。
問 24-1 ここはどのような場所ですか。(○はいくつでも)

1. 塾・習いごと先
2. 趣味などのサークル
3. 公園
4. 図書館・公民館等の公共施設
5. 飲食店
6. デパート・商業施設
7. 娯楽・遊戯施設
8. カラオケボックス・ゲームセンター・インターネットカフェなど
9. インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲーム）
9. その他（ _____）
10. 具体的には思いつかない

問 24-2 なぜ居場所を持ちたいと思えますか。(○はいくつでも)

1. 利害関係がないときあいが欲しい
2. 地域に役立っている・貢献できる場をつくりたい
3. ほっとする場を作りたい
4. 困ったときに頼れる関係を作りたい
5. ワクワクできる機会がほしい
6. 地域交流や世代交流をしたい
7. 意見や愚痴を言える場が欲しい
8. 経験や能力を生かすことができる
9. 仲間づくりをしたい
10. その他（ _____）
11. はっきりとした理由はない

問 25 どのような条件が揃った場所が居場所として魅力的だと思いますか。(○は3つまで)

1. 交通アクセスが良い 2. 誰でも利用できる 3. いつでも利用できる 4. 静かに過ごせる 5. お金がかからない 6. 自然環境がある 7. 地域のコミュニティ活動などが行われている 8. いろいろなイベントが行われている 9. その他 () 10. わからない

問 26 居場所に、あったらいいと思うサービスや機能、設備、講座やイベントなどはありませんか。(例、カフェや食事できる場、ワークスペース、Wi-Fi、セミナー、アートのイベント、など) (ご自由にお書きください)




《記入欄》

問 19-2 または問 21-4 もしくは両方で「1. はい」と答えた方は、記入欄に、氏名・住所・電話番号・E-mail アドレスをご記入ください。ご記入いただいた内容、個人情報 は本目的以外に利用することはございません。

お名前	電話番号
住所	
E-mail	

ご協力ありがとうございました

川口市の取り組み

<p>○重層的支援体制整備事業について ※1 地域住民のさまざまな支援ニーズに対応するため、「属性や世代を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施していく取り組みです。</p>	
<p>○ひきこもり本人のつどいオンラインラウンジ “e_場所” https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01070/010/kodo/kukoritsutaisaku/48024.html</p>	
<p>○つながりサポーター養成講座 https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01070/010/kodo/kukoritsutaisaku/46664.html</p>	

相談窓口について

<p>○福祉に関する相談窓口 ※2 市内35か所の相談支援機関が、属性や世代に関わらず相談の受け止めを行っています https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01070/010/zyuusou/tekisetaiseiseibizigyohenoikouzyumbizigyoyou_1/44891.html</p>	
<p>○ひきこもりに関する相談窓口 埼玉県のみきこもり支援に関する相談窓口のご案内 https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/hikikomori.html</p>	
<p>○若者のための相談窓口 「こころサポーターステーションSODA（そーだ）かわぐち」（予約制） 電話：080-7307-2766 https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01090/020/seishin/hokenhukushi/38985.html</p>	
<p>○若者LINE相談 川口市社会福祉協議会かわぐちボランティアセンター https://kawaguchisyakyo.jp/volun/jigyocsw/</p>	

川口市人々のつながりに関するアンケート調査報告書

発行：福祉総務課 福祉相談支援担当

埼玉県川口市青木2-1-1

電話 048-259-7947

WEB サイト

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01070/010/index.html>